brother

取扱説明書

職業用刺しゅうミシン <u>PRT20 シリーズ</u>



商標について

IBMは International Business Machines Corporation の登録商標または商標です。 Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびそのほかの国における登録商標または 商標です。

本製品および本取扱説明書に記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。 ただし本文中には[®] および ™ 等のマークは明記しておりません。

オープンライセンス公開

オープンライセンスに関する記述は、弊社サポートサイト(ブラザーソリューションセンター) (http://s.brother/cpbac)の製品マニュアルをご覧ください。

はじめに

このたびは、当社の製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。 お使いになる前に「安全にお使いいただくために」をよくお読みいただき、本取扱説明書で機能や使い方 を十分にご理解のうえ、末永くご愛用ください。

また、お読みになった後はいつでもご覧になれるところに保証書とともに保管してください。

安全にお使いいただくために

取扱説明書および本製品で使われている表示や絵文字は、本製品を安全に正しくお使いいただき、お使い になる方や他の人々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。その表示や意味は次のとおりです。



取扱説明書で使用している絵文字の意味は次のとおりです。





電源プラグを抜いてください

本製品を安全にお使いいただくために、以下のことがらを守ってください。

	▲警告
$\bigotimes \bigotimes \bigotimes$	● 一般家庭用電源AC100Vの電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電・故障の原因 となります。
	 ●以下のようなときは電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。火災・感電・故障の原因となります。 ● ミシンのそばを離れるとき ● ミシンを使用したあと ● 運転中に停電したとき ● 接触不良、断線などで正常に動作しないとき ● 雷が鳴りはじめたとき

	▲注意
$\bigotimes \bigotimes \bigotimes$	● 延長コードや分岐コンセントを使用した、たこ足配線はしないでください。火災・感電の原因とな ります。
	● ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
Ă	
	● 電源プラグを抜くときはまず電源スイッチを切り、必ずプラグの部分を持って抜いてください。電源コードを引っ張って抜くとコードが傷つき、火災・感電の原因となります。
	●電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。傷んだプラグ・緩んだコンセントは使用しないでください。
	●電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードまたは電源プラグが破損したときはミシンの使用をやめて、お買い上げの販売店または「PR/VR専用ダイヤル」にご連絡ください。
	●長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となります。

	▲注意
	● 直射日光の当たるところや、ストーブ、アイロンのそばなど温度の高いところでは使用しないでください。ミシンの使用温度は5~40℃です。ミシン内部の温度が上がったり、ミシン本体や電源コードの被膜が溶けて火災・感電の原因となります。
$\bigotimes_{}$	●火気(火の消えていないたばこ、ろうそくなど)の近くでは使用しないでください。刺しゅう枠の 移動によって縫製物へ引火し、火災の原因となるおそれがあります。
$\bigotimes_{\mathbb{A}}$	●野外でのご使用は避けてください。雨などが降り、本体がぬれて感電の原因となります。また、ぬれたときはお買い上げの販売店または「PR/VR専用ダイヤル」にご連絡ください。
\bigotimes	 ●以下の場所に設置、保管をしないでください。故障の原因になります。 ・温度が著しく高くなる場所 ・温度が著しく低くなる場所 ・急激に温度が変化する場所 ・湿気、湯気の多い場所 ・火気や熱器具、冷暖房機器などに近い場所 ・屋外や直射日光の当たる場所 ・ほこり、油煙の多い場所
$\bigotimes_{}$	 ● スプレー製品などをご使用の部屋では使用しないでください。 スプレーへの引火によるやけどや火災の原因となります。
\bigotimes_{\bigstar}	● ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所には置かないでください。バランスが崩れて 倒れたり、落下などしてケガをする原因となります。ミシンは安定した平らなテーブルや机の上で ご使用ください。
$\bigotimes_{}$	● ミシン本体の換気口をふさがないでください。また、換気口に糸くずやほこりがたまらないように してください。火災の原因となります。
	● ミシン本体の上に花びんや水の入った容器を置くなどして、ミシン本体に水をこぼさないでください。万一、内部に水などが入った場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店または「PR/VR専用ダイヤル」にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	●換気口や内部に異物を入れたり、ドライバーなどを差し込まないでください。高圧部に触れて感電のおそれがあります。万一、異物が入った場合は、使用をやめてお買い上げの販売店または「PR/ VR専用ダイヤル」にご連絡ください。

	▲注意
$\bigotimes_{\blacksquare}$	● ミシン本体の重さは約38kgあります。ミシン本体を持ち運びする際は急激、または不用意な動作をしないでください。腰や膝を痛める原因となります。
0	● ミシン本体は、必ず底部の指定箇所を持って持ち運びをしてください。他の部分を持つとこわれた りすべって落としたりして、ケガの原因となります。
0	● ミシンを移動させるときは、操作パネルや糸案内、その他の部品に接触しないように注意してください。ケガをするおそれがあります。
0	● ミシン本体には取扱説明書に記載されている正規の部品を使用してください。他の部品を使用する とケガ・故障の原因となります。
	●お客様ご自身での分解、修理および改造は行わないでください。火災・感電・ケガの原因となります。指定以外の内部の点検・調整・掃除・修理は、お買い上げの販売店または「PR/VR専用ダイヤル」にご依頼ください。
	● 取扱説明書に記載されている整備は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。ケガ・感電の原因となります。
	● ミシン操作中は、針の動きに十分注意してください。また、針、プーリー、キャリッジなど、動いているすべての部品に手を近づけないでください。
\bigcirc	● 縫製中、布地を無理に引っ張ったり、押したりしないでください。ケガ・針折れの原因となります。
	● <u>針の下などに指を入れないでください。</u> ケガをするおそれがあります。
0	● 上糸、下糸等に関する操作については、取扱説明書の指示に従って正しく行ってください。取り扱いを誤ると、縫製中に糸がらみ等が発生し、針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。
\bigcirc	● 曲がった針は絶対に使用しないでください。針折れの原因となります。
	● 万一、ミシン本体が水に浸かったり、誤って落としたりして破損または故障した場合は、ただちに使用をやめてお買い上げの販売店または「PR/VR専用ダイヤル」にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	● 万一、煙が出ている、異臭がする、異常音がするなどの状態のときはすぐに電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または「PR/VR専用ダイヤル」にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。お客様による修理は危険ですから絶対に行わないでください。
0	● ミシン本体が入っていた袋は、お子様がかぶって遊ばないように、お子様の手の届かないところに 保管するか廃棄してください。かぶって遊ぶと窒息のおそれがあります。
\bigcirc	● 同梱のはさみやリッパーは、本来の目的以外で使用しないでください。また、リッパーで穴を開ける方向に、手や指を置かないでください。すべったときにケガをするおそれがあります。

	▲注意
0	● 針などの交換およびそのほかの機能に関する使用については、取扱説明書の指示通りに正しく行ってください。
0	● 上糸、下糸などに関する操作については、取扱説明書の指示通りに正しく行ってください。取り扱いを誤ると、縫製中に糸がらみなどが発生し、針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。
\bigcirc	●お子様の玩具として使用しないでください。お子様が使用するときや、お子様の近くで使用するときは、お子様がけがをしないよう十分注意してください。
0	● ミシンとパソコンを接続するときは、本製品に付属のUSBケーブルを使用してください。
\bigcirc	● ミシン稼動中は、針棒ケースや針棒ケース周辺の動く部品に手を近づけないでください。ケガの原因となります。
0	● ミシンとマウスを接続するときは、本製品専用のマウスを使用してください。

◇ 「クロシンは日本国内向け、職業用です。日本国外では使用できません。 This sewing machine can not be used in a foreign country as designed for Japan. ● 仕様および外観は品質改良のため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。 ● 取扱説明書の内容を許可なく無断で複製することは禁じられておりますのでご了承ください。 ● 取扱説明書の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。 ● 取扱説明書の内容について、万一不審な点や誤りなどお気づきの点がありましたらお買い上げの販売店または「PR/VR 専用ダイヤル」にご連絡ください。

●本機をご使用になる方(お子様を含む)が、身体/知覚/精神的能力になんらかの障害を持つ場合、 あるいは経験や知識が十分でない場合には安全を保証できる責任者の監視の下でのみ本機を使用して ください。

●お子様が使用するときは、玩具として使用しないよう、十分な監視の下で使用してください。

ライセンス契約書

重要!:

本製品に含まれている刺しゅうデータ(以下、「刺しゅうデータ」)に関する著作権は、ブラザー工業株式 会社(以下、「ブラザー」)もしくはそのライセンサーが保有しています。ブラザーは、下記契約条件に従 い、お客様に刺しゅうデータの使用を許諾致します。

なお、お客様は、刺しゅうデータを使用することにより、下記契約条件に同意されたものとみなされます。

- ブラザーはお客様に対し、お客様が保有する一台の刺しゅうミシン上で、刺しゅうデータを使用して刺しゅうを縫製する権利を許諾致します。なお、お客様は、一度に複数台の刺しゅうミシン上で刺しゅうデータを使用することはできません。
- 2. お客様は、別途ブラザーから許諾を受けない限り、刺しゅうデータについて以下を行うことはできません。
- バックアップ目的以外の目的のために複製すること。
- ネットワークサーバーにアップロードすること。その他第三者に提供、貸与等すること。
- 逆コンパイル、逆アセンブルその他リバースエンジニアリングすること。
- 営利目的で改変すること。
- ブラザー以外の者が著作権者として表示されている刺しゅうデータ(例:©Disney)を使用して創作された刺しゅう製品を販売等すること。

お客様は、本契約に基づき刺しゅうデータを使用する権利を取得しますが、刺しゅうデータに関する著作 権そのものを取得するものではありません。

本契約は日本国法を準拠法とします。

本契約に関する問い合わせは郵便にて直接お送り願います。 〒467-8562 名古屋市瑞穂区河岸1丁目1-1 ブラザー工業株式会社 パーソナル・アンド・ホーム事業 営業企画部

警告ラベルについて

ミシンには下記の警告ラベルが表示されています。 各警告ラベルの内容を十分理解し、記載事項を守って作業を行ってください。 また、警告ラベルは、はがれたり、傷ついたりしないよう十分注意してください。 万ーラベルがはがれていたり、読みとれなくなった場合は速やかに弊社にご連絡ください。

1



2



毎日1回、釜のレース面に注油をしてか らお使いください。



ラベルの場所

取り扱い上の注意

著作権について

ミシンまたは別売の刺しゅうカードに内蔵されている刺しゅうデータのうち、当社が著作権を有するもの (「© Disney」等の他社著作権表示が付されているものを除きます)については、これらのデータを用いて縫 製された刺しゅう模様を一般家庭用としてのみならず、営利用または業務用としても、自由にご利用(販 売・譲渡等を含みます)いただけます。

ただし、これら刺しゅうデータ自体に関する著作権は弊社が留保し、(縫製された刺しゅうではなく)このデータ自体を、複製・改変・譲渡・公衆送信・送信可能化することは許諾いたしません。 また、当社以外の第三者の著作権表示が付されたもの(特に人気キャラクター)については、営利用また は業務用としてご利用いただくことはできません。ご注意ください。

さらに、有名ブランド品の図案、ロゴ、名称、マーク等については、無許諾での複製は法律上罰せられます。これらについては、勝手に複製、縫製しないようご注意ください。

製品のしくみと特長

6本針ミシンの縫製について

このミシンは、それぞれ違う色の糸を通した6本の針を替えながら自動的に糸色を替え、刺しゅうをぬいます。

針を上下に動かす機械部分を「針棒」と呼び、 それらは針棒ケースに収められています。針棒 は右から順に1番針棒、2番針棒、3番針棒、4番 針棒、5番針棒、6番針棒と呼びます。



- ① 1番針棒
- ② 1番の針
- ③ 針棒ケース

糸色の割り当て方は、2通りあります。 自動割り当て(購入時の設定)では、ミシンが 自動的に糸色を針棒へ割り当てます。すでに糸 がかけられている場合は、糸のかけ替えが最小 限ですむように、次の模様でも同じ糸色は現在 かけられている針棒に割り当てられます。 手動糸色割付機能を使うと、どの糸色をどの針 棒へ割り当てるか、手動で設定できます。針棒 設定画面で糸色順表示の糸番号を確認しながら、 針棒と糸色の組み合わせを簡単に管理でき、よ りプロフェッショナルな刺しゅう作業をするこ とができます。(P. 110「各針棒の糸色を選択す る/管理する(手動糸色割付)」参照)

お知らせ ●1番針棒から2番、3番と順にぬうとは限り ません。

糸色の針棒への割り当ては、液晶画面上で指示 されます。その指示に従って、糸をかけます。



① このようにかける糸が指示されます。

各針棒番号によって、上糸をかけるときに指定 されている糸立棒、糸調子つまみ、天びん、糸 道があります。



縫製は、6本の針で同時にぬうのではなく、縫 製位置にある1本の針でぬいます。ぬい順に従 い、針棒ケースが左右に動いてその色がかけら れた針棒・針が縫製位置に移動します。



ミシンをスタートすると、自動的に押えが下が り、ぬい始め/ぬい終わりの糸の処理や糸替え (縫製する針を交替)をしながら縫製し、ぬい終 わると止まります。7 色以上の糸色が使われて いる模様の場合は、糸こま交換が必要になった ときにミシンは止まり、その指示が表示されま す。

(ただし、手動糸色割付を「ON」に設定してい る場合は、糸こま交換時にミシンは自動的に止 まりません。詳しくは、P.110「各針棒の糸色を 選択する/管理する(手動糸色割付)」参照して ください。)

1本針ミシンとの違い

■6色以下の刺しゅう模様は糸こま交換不要

1本針ミシンは、糸色が変わるごとに糸こまを交換し、上糸をかけ直す必要があります。このミシンは、6色以下の刺しゅう模様は糸こま交換も上糸のかけ直しも必要ありませんし、糸替回数が7回以上でも6色以内であれば、前にぬった針に自動的に戻ってぬいます。

■ 自動縫製で縫製時間を短縮

7 色以上の刺しゅう模様の糸こま交換を除くと、 ミシンをスタートした後は、押えの上げ下げやぬ い始め/ぬい終わりの糸の処理、糸交換を、ミシ ンが自動的に行います。糸交換や糸始末をミシン がしてくれるので、縫製時間が短くなります。

■ ぬい始め/ぬい終わりの糸処理不要

ぬい始め/ぬい終わりの余分な糸端が出ないよう にぬえるので、めんどうな糸の始末はしなくてす みます。

■縫製位置は枠を移動して決定

1本針ミシンでは、多くの場合、刺しゅう模様を 刺しゅう枠の中心に配置し、縫製したい位置の中 心を刺しゅう枠の中心に正確に合わせて布地に張 る必要がありました。6針刺しゅうミシンでも、 同じ方法で希望する位置にぬうことができます が、刺しゅう枠を移動して縫製位置を決めると、 より容易に位置決めができます。また、位置を気 にせずに布地を枠に張ることができ、枠をミシン にセットした後でも自由に位置を合わせることが できます。

その他の特長

■大型10.1インチLCDディスプレイを 採用

ー般的なタブレット PC と同じくらい大きな 10.1 インチ LCD ディスプレイを搭載しました。 刺しゅう模様の色確認もより仕上がりに近い状態 で確認できます。

また、この画面はタッチパネルになっており、ここに表示されるキーで簡単に操作できます。



■ Link 機能(双方向通信)

刺しゅう PRO NEXT/10 などの Link 機能対応の刺 しゅうデータ作成ソフトで編集した模様データ を、パソコンからミシンへ転送することができま す。

同時に4台までのミシンを1台のパソコンに接続して、模様を送ることができます。

(P. 143「Link 機能~パソコンからミシンへ刺しゅ うデータを転送する~」参照)

■ 最小限の糸こま交換で刺しゅう

刺しゅうを始める前に、糸色並べ替えキー (●●●●) を押してぬい順を糸色で並べ替えます。 例えば、同じ模様を繰り返し並べて刺しゅうする 場合、模様をぬうたびに糸こまを交換する必要が あります。糸色並べ替え機能を使うと、同じ色を 一度にぬうように糸色が並べ替えられ、糸こま交 換が最小限で済みます。

糸色並べ替え機能は、模様が重なっている場合は 使用できません。



■ 模様編集時の利便性がさらに向上

糸色変更の際に、同じ糸色を一括して別の糸色に 変更できる、文字入力の際に、入力途中での文字 追加が可能である、など、編集時の利便性がさら に向上しました。



■ 縫製プログレスバー

新規搭載の縫製プログレスバーにより、刺しゅう の残り時間をひと目でイメージできるようになり ました。



■ 縫製スキップ機能

刺しゅう模様の一部や特定の色をぬわない設定に することができるため、模様を編集することな く、ぬいあがりをアレンジすることができます。



■ 安全設計

ミシンロック機構の採用で、誤操作によるケガを 防ぎます。通常、ミシンはスタートできない (ロックされた)状態になっており、ロック解除 キーを押して、ロックを解除するとミシンをス タートできる状態になります。ミシンロックの状 態は、スタート/ストップスイッチが色を変えて お知らせします。

赤色点灯



緑色点滅

ミシンロック中

スタート可能

■ 内蔵糸色情報の選択

内蔵された糸色情報を見ることができるので、目 的に合った糸色を簡単に選ぶことができます。



■糸色情報表示機能採用で、より実際の色に近い色で表示

他社糸メーカーの糸色と糸番号がミシンに記憶さ れており、その糸ライブラリーから、自由に選ん で自分の色パレットを作ることができます。この パレットを使って模様の色を変えれば、お手持ち の糸色だけでの糸色表示が可能になります。また 刺しゅう模様の表示も、より実際の色に近い色で 表現されます。



■ 自動針穴糸通し装置

自動針穴糸通し装置で簡単に糸を針に通すことができます。

また、特定の針棒だけ糸通しを禁止する設定もで きます。



■ USB ポート/ SD カードスロットを 標準搭載

付属の USB ケーブルでパソコンと接続すれば、パ ソコンから模様を呼び出したり、パソコンに保存 したりすることができます。(P. 137「刺しゅう模 様をパソコンに記憶する」参照)



ミシンがパソコンから遠く、USB ケーブルで接続 することができない場合など、USB メディアや SD カードに一時的に模様データを保存して、ミシン に接続して模様を送ることができます。 (P. 137 「刺しゅう模様を USB メディア/ SD カードに記憶 する」参照)



■いつでも指定した針棒を移動/糸通 しできる

模様を選択中、編集中、縫製中など操作中いつで も、指定した針棒を縫製位置に移動したり、糸通 ししたりすることができます。

●Ⅲ━●を押して「針棒選択画面」を表示させ、移動/糸通ししたい針棒番号を選択してください。 (P.58「糸通しをする針棒を縫製位置に移動する」 参照)

こんなことができます

最大ヨコ 300mm× タテ 200mm の刺しゅうがで きます。

■手動糸色割付 - よりプロフェッショ ナルにミシンを使う

ミシン側で糸色を指定したり、DST ファイルを頻 繁に使う場合は、手動糸色割付機能を使うと便利 です。

(P. 110「各針棒の糸色を選択する/管理する(手動糸色割付)」参照)

■ 内蔵模様の充実

文字やワンポイント模様、枠模様などいろいろな 模様の刺しゅうがミシンに内蔵されていますの で、購入後、すぐに刺しゅうができます。



■ 刺しゅうの編集

文字や模様を組み合わせたり、文字の配列を変え たりして自由にアレンジできます。 同じ模様を繰り返してぬうこともできます。



この本の読み方

この本は次のような構成になっています。第2章の番号付きタイトルの説明は、基本的な操作手順です。ミシンを使用する前に、この手順を確認してください。

必ずお読みください

第1章 ミシンの準備

ミシンの設置のしかたや必要な準備について説 明します。

第2章 使ってみましょう【チュートリアル】 電源を入れるところから、1つの模様をぬい上 げ、作業を終了するまでの基本的な操作を、順 を追って説明します。実際に操作しながら読ん で、使い方をマスターしましょう。

第3章 その他の基本操作

7 色以上の模様をぬう場合など 2 章とは違う想 定での操作や、針を交換したいときなど状況に 応じた操作を、ケースごとに説明します。

必要に応じてお読みください

第4章 縫製設定

縫製設定について説明します。知っておくと便 利な機能です。

第5章 模様の選択/編集/記憶

刺しゅう模様の選び方、編集のしかた、記憶の しかたについて説明します。

第6章 基本設定とヘルプ機能

設定キー、ミシンの使い方キーの使用方法を説 明します。ミシンの基本設定の変更をしたり、 画面上で操作のしかたなどを調べたりできます。

第7章 付録

刺しゅうのいろいろなテクニックや、きれいな 刺しゅうに仕上げるためのポイント、ミシンの お手入れ、困ったときの対処方法などを紹介し ます。

知りたいことを調べるには

■ 取扱説明書で調べる

タイトルから

各章で説明されている内容を左記で確認し、目次 で調べます。

キーワードから

巻末に索引があります。キーワードを探して、参 照ページをご覧ください。

画面から

P.66 からは、液晶画面に表示される主な画面の表示やキーを、一覧でまとめて説明しています。

状況から

P. 75 からは、いろいろな場合を想定し、その対応 方法を示しています。

■ ミシンで調べる

このミシンにはヘルプ機能があります。

使い方がわからないとき

ミシンの使い方キーを押して、調べます。ミシン の使い方キーの使用方法は、P. 190 をご覧くださ い。

目次

商標について	
オープンライセンス公開	
はじめに	1
安全にお使いいただくために	1
ライセンス契約書	6
警告ラベルについて	7
取り扱い上の注意	8
著作権について	8
製品のしくみと特長	9
6本針ミシンの縫製について	9
1本針ミシンとの違い	10
その他の特長	11
こんなことができます	13
この本の読み方	14
必ずお読みください	14
必要に応じてお読みください	14
知りたいことを調べるには	14

第1章 ミシンの準備

各部の名前とはたらき	. 19
前面	19
右側面・背面	20
操作パネル	20
付属品を確認してください	. 21
付属品	21
下糸巻き装置と付属品	22
別売品	. 23
ミシンの設置のしかた	. 25
ミシンの設置のしかた 設置・移動に関する注意	. 25
ミシンの設置のしかた 設置・移動に関する注意 設置に適した場所	. 25 25 25
ミシンの設置のしかた 設置・移動に関する注意 設置に適した場所 ミシンを据え付ける	25 25 25 26
ミシンの設置のしかた 設置・移動に関する注意 設置に適した場所 ミシンを据え付ける 操作パネルの位置を調整する	25 25 26 27
ミシンの設置のしかた	25 25 26 26 27 28
ミシンの設置のしかた 設置・移動に関する注意 設置に適した場所 ミシンを据え付ける 操作パネルの位置を調整する	25 25 25 26 27 28 29

第2章 使ってみましょう 【チュートリアル】

【チュートリアル】	31
使用上の注意	31
電源に関する注意	31
針に関する注意	32
正しい針の見分け方	32
ボビンに関する注意	32
上糸に関する注意	33
布地に関する注意	33
画面に関する注意	33
基本手順	34
1. 下糸をセットする	35
ボビンケースを取り出す	35
下糸巻き装置の準備	35
電源と接続する	36
下糸を巻く	36
ボビンをセットする	39
ボビンケースをセットする	40
2. 電源を入れる	40
ミシンを初めて使うとき	41
画面の見方	42
操作画面の流れ	42

3. 模様を選ぶ	44
刺しゅう模様を選ぶ	44
4. 模様の編集	45
5. 仕上がりイメージを確認する	46
仕上がりイメージの見方	46
6. 刺しゅう枠に布地を張る	47
布地の張り方	47
7. 刺しゅう枠をミシンにセットする	49
刺しゅう枠のセットのしかた	49
縫製設定画面に進む	51
8. 縫製設定	51
9. 縫製範囲を確認する	52
枠の移動を止めながら確認する/確認を中止	
する	52
縫製画面に進む	52
10. 上糸をセットする	53
針棒と糸色を確認する	53
上糸をかける	54
糸を針穴に通す	57
11. 刺しゅうをぬう	60
ミシンをスタートする	60
途中でミシンをストップするには	62
12. 刺しゅう枠、布地を外す	63
刺しゅう枠の外し方	63
	64
13. 電源を切って終了する	64
画面早見一覧	66
キー表示について	66
	66
	67
	68
	70
縫製画面の見方	73
わからないことがあるときの参考	75
專門用語	75
模禄	75
刺しゆつ	75
	76
USB <ワスの使い方	77
3章 その他の基本操作	81

第

針を交換する 針を交換する	81 81
刺しゅう枠を上手に使うには	82
台枠について	82
刺しゅう枠が取り外しにくいときは	83
刺しゅう枠/台枠の種類と用途	84
布地に接着芯を貼る	86
布地の張り方	87
LL 枠、L 枠の布地の張り方	87
刺しゅうシートを使う	88
布地が大きい/小さいときは	88
刺しゅう枠の位置と動きについて	89
思い通りの位置にぬうには	90
角度を調整する	92
液晶画面上で糸色を交換する	93
7 色以上の模様をぬうときは	94
糸こま交換が必要かどうかを確認するには	95

7 色以上の模様で糸こま交換を指示された

ときは	. 96
	96
簡単な糸こま交換のしかた	96
途中で糸が切れた/下糸がなくなったときは	. 97
上糸が切れたとき	97
下糸が切れた/なくなったとき	99
始めまたは途中からぬいたいときは	100
停止後、途中からぬうときは	101
下糸と上糸の糸調子を調整する	103
下糸の調子を調整する	103
上糸の調子を調整する	. 104

107

第4章 縫製設定

刺しゅうのしつけぬい	107
アップリケピースを作る	108
アップリケピースを作る	108
各針棒の糸色を選択する/管理する	
(手動糸色割付)	110
手動糸色割付の利便性	110
手動糸色割付モードにする	111
手動糸色割付を使う	111
手動糸色割付の注意点	112
縫製スキップ設定	112
特定の糸色に縫製スキップ設定をする	112
縫製スキップ設定を解除する	114
自動止めぬい設定	114
ぬい始め/終わり位置設定	115
斜めに繰り返しぬいをする	116
文字をつなげて刺しゅうする	117
縫製最高速度設定	119
糸替え時停止設定	120
次の糸替え時に停止する	120
縫製前にポーズ位置を指定する	120
一時的針棒設定	121
連続した刺しゅう (1 色の場合)	122
手動針棒/縫製速度設定	122

第5章 模様の選択/編集/記憶 125

刺しゅう模様の記憶	125
刺しゅうデータに関する注意	125
USB メディア(市販品)について	126
刺しゅう模様を選ぶ	126
基本的な模様の選び方	126
刺しゅう模様	127
枠模様	128
実用刺しゅう模様/ボタンホール模様	129
モノグラムと枠デザイン	129
文字模様	131
装飾アルファベット	134
刺しゅう模様をミシンに記憶する	136
刺しゅう模様を USB メディア/ SD カード	-
記憶する	137
刺しゅう模様をパソコンに記憶する	137
ミシンに記憶した刺しゅう模様を呼び出す	138
USB メディア/ SD カードから	
刺しゅう模様を呼び出す	139
パソコンから刺しゅう模様を呼び出す	140
呼び出した模様を他の記憶先に記憶する	142
Link 機能〜パソコンからミシンへ	
刺しゅうデータを転送する~	143
刺しゅうデータを転送する~ Link 機能を使ってできる操作	143 143

Link 機能を使って刺しゅうする	143
Link 機能を解除する	146
ネーム刺しゅうをする(ネームモード)	146
1 色の糸でネーム刺しゅうする	146
2 色以上の糸を使ってネーム刺しゅうする…	149
ネームモードを解除する	151
刺しゅう模様を個別に編集する	101
(編集画面)	151
画面の模様を拡大表示する	151
	152
候像と組め口やとる	152
編末90侯ほど送ぶ	152
後奴送バした侯塚とノル ノルタる 位罢た移動する	153
1100001000000000000000000000000000000	155
	104
人ささを変んる(進吊モート)	154
糸密度を保持したまま大ささを変える (A)***エード)	
(針数冉計算七一ト)	156
	157
文字の配列を変更する	158
文字間隔を変更する	158
組み合わせた文字模様を分割する	159
文字間で糸を切る	159
文字模様を結合する	160
ー文字ずつ色を変える	160
文字フォントを変更する	161
個別に文字のサイズとフォントを変える	161
糸密度を変える	
(文字・枠模様の一部のみ)	161
模様の色を変える	162
カラーシャッフル機能を使って、	
新しい配色を設定する	163
糸色並べ替え	166
繰り返し模様(ボーダー模様)を作る	167
コーザーパレットを作ろ	171
ユーザーパレットから色を選ぶ	172
ユーザーパレットを保存する / m_1 、出す	173
ユージーバレジーを休行する/『し田す 描样た始制する	174
俣怺で後殺りる 増垟た判除する	174
候塚と別际りる	174
*リレゆノ俣怀王仲で編集9 る (悠制乳中両声)	175
(221) (221)	1/3
9 へ (凹 転 9 る	1/5
組み合わせの編集	1/5
第6章 基本設定とヘルプ機能	179
設定キーの使い方	170
	170
	110

設定キーの使い方	179
設定画面の見方	179
ガイド表示を切り替える	182
糸色表示を切り替える	184
「PES」形式データの糸色情報を	
優先させる	185
縫製エリアの表示色/模様キーの表示色を	
変更する	186
渡り糸切り/ DST 設定	186
小ピッチのステッチを削除する	187
糸残り量を設定する	187
エコモードまたは電源オフサポートモードを	
設定する	188
スクリーンセーバーの設定を変更する	188
ミシンの使い方キーの使い方	190
使い方を見る	190
操作説明の動画を見る	191
MPEG-4(MP4)動画を再生する	192

第7章 付録	193
アップリケぬい	193
アップリケ模様のぬい方	193
枠模様を使ってアップリケをするには(1)	194
枠模様を使ってアップリケをするには(2)	195
分割模様をぬう	196
豆知識	198
内蔵模様で糸調子を確認する	198
布地のラインに合わせて模様をぬう	199
色パレットについて	200
タジマフォーマット(.dst)の刺しゅうデー [,]	タ
の色について	200
きれいな刺しゅうに仕上げるために	201
糸	201
接着芯	201
枠張りのテクニック	202
布/接着芯の適合表	203
お手入れ	204
画面の汚れの掃除	204
本体表面の掃除	204
釜の掃除	204
針板まわりの掃除	205
ボビンケースの掃除	206
上糸の糸道の掃除	206
ミシンに注油する	208
メンテナンスメッセージについて	209
困ったとき	210
トラブルチェック機構	210
トラブルチェック	211
エラーメッセージ	216
キーを押しても反応しないときは	223
仕様	224
本体仕様	224
ミシンのソフトウェアをアップグレードする	224
アップグレード手順	224
索引	226

第 1^章 ミシンの準備

箱を開けたら、まず **P.21**の「付属品を確認してください」をご覧になり、付属品が揃っているか確認してください。すべて揃っていることが確認できたら、ミシンを準備します。 ここでは、ミシンの設置のしかたや必要な準備について説明します。

各部の名前とはたらき

ミシンの各部の名前とはたらきを説明します。ミシンを使用する前に、名前を覚えておきましょう。

前面



右側面・背面



- タッチペンホルダー
 タッチペンを使用していないときは、タッチペンホルダーに収納してください。
- ② SD カードスロット SD カードを SD カードスロットに差し込んで、刺しゅう模様 データをやりとりできます。
- ③ USB メディアポート USB メディアを USB ポートに差し込んで、刺しゅう模様デー タをやりとりできます。
- パソコン接続用 USB ポート
 USB ケーブルを USB ポートに差し込み、ミシンとパソコン間 での刺しゅう模様データのやりとりが可能です。
- ⑤ 電源スイッチ 電源を入れたり (Ⅰ側)切ったり (○側) するスイッチです。 電源を切った後はすぐに電源を入れないでください。5秒待っ てから電源を入れてください。
- ⑦ 換気口
- ③ プーリー 回すと針が上下に動きます。プーリーは操作パネルの方向(反時計回り)に回してください。

操作パネル



① スタート/ストップスイッチ

ミシンをスタートまたは停止します。ミシンの状態によって、 スイッチの状態・色が変わります。

赤色の点灯	: スタート不可能な状態のとき
緑色の点滅	: スタート可能な状態のとき
緑色の点灯	:縫製中
オレンジ色の点滅	: 糸切り可能な状態のとき
消灯	: 電源が入っていないとき

- ② 糸切りスイッチ 上糸と下糸を切るときに押します。
- 自動針穴糸通しスイッチ
 針に糸を通すときに押します。
- ④ スピーカー
- ⑤ 液晶画面 (タッチパネル) ここに表示されるキーを押して模様選択、編集をしたり、情報の確認をします。

付属品を確認してくださ い

このミシンには以下のものが付属されております。 付属品は必ずこのミシン専用の付属品を使用して ください。

付属品

箱を開けたら、まず以下の付属品が揃っているか 確認してください。不足しているときや破損して いるときは、お買い上げの販売店にお問い合わせ ください。

	部品名	
1.	付属品ケース	
2.	ミシン針セット(2 セット)	
3.	ボビン (6 個)	
4.	糸こまネット(6個)	
5.	リッパー	
6.	糸切りはさみ	
7.	ピンセット	
8.	タッチペン	
9.	針交換ツール	
10.	針板カバー	
11.	針板スペーサー(ミシンに取り付けてあり ます)	
12.	プラスドライバー	

	部品名
13.	小型ドライバー
14.	針交換ドライバー
15.	Z 型ドライバー
16. ô	丸型ドライバー
17.	スパナ
18.	油差し
19.	ミシンブラシ
20.	下糸おもり (L タイプ)
21.	糸こまフェルト (6個)
22.	糸こま押え (6 個)
23.	USB ケーブル
24.	刺しゅう枠(LL 枠) ヨコ 300mm× タテ 200mm
25.	刺しゅう枠(L 枠) ヨコ 180mm× タテ 130mm
26.	刺しゅう枠(M 枠) ヨコ 100mm× タテ 100mm
27.	刺しゅう枠 (S 枠) ヨコ 60mm× タテ 40mm
28.	刺しゅうシート(LL) ヨコ 300mm× タテ 200mm

	部品名	
99		
	刺しゅうシート(L) ヨコ 180mm× タテ 130mm	39
30.	刺しゅうシート(M) ヨコ 100mm× タテ 100mm	39
81. Hereitaria	刺しゅうシート(S) ヨコ 60mm× タテ 40mm	
32.	台枠 A(白いカバー付)	1
33.	台枠 B(薄いグレーのカバー付)	③ 39
34.	取扱説明書	
35.	操作早見表	39
36.	模様一覧	
37.	ミシン本体用フェライトコア付き電源コー ド	39
38.	ボビンケース(ミシンに取り付けてあります)	
Am ●付属 部に す。	らせ 属のタッチペンは、操作パネルの裏側上 こあるタッチペンホルダーに収納できま (P. 20 参照)	39
		39
		39

下糸巻き装置と付属品

39.	部品名
39-1.	
③ ③ ④ ④ ●	⑤ 下糸巻き装置 周穴 J端子
39-2.	下糸立棒
39-3.	糸こまクッション
39-4.	糸案内
39-5.	AC アダプター
39-6.	下糸巻き装置用電源コー ド
39-7.	金属ボビン(5 個)
39-8.	糸こま押え



	部品名		
10.	<u>ーー・ーー</u> 丸枠		
	(100mm 径)		
TT -	PRPRF100		
11.	丸枠		
	(130mm 径)		
(I.I.	PRPRF130		
12.	丸枠		
	(160mm 径)		
All States	PRPRF160		
13.			
14	亚 执		
	 ヨコ 300mm× タテ 200mm		
	PRF300J		
15.	金属ボビン		
	 MBN:5 個入り		
	B013:1 個		
16.	クランプ枠キット 1		
	PRCLP45B		
17.	クランプ枠キット 2		
	PRCLP45LR		
18.	クランプ枠セット M		
	PRCLPM1AP		
19. 	小型枠キット		
	PRHCK1AP 小型枠と台枠 E は単品でもご購入頂 けます。詳しくは、お買い上げの販 売店にお問い合わせください。		
20.	縦長枠		
	PRHSL200AP		

	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
04	セテル名
21.	マグネット枠セット
	PRMFA50AP
22.	マグネット枠
	PRMF50AP
23.	テーブル
	PRWT1
24.	専用スタンド
Contraction of the second seco	VRPRNSTD
25.	下糸おもり (S タイプ)
0	XC6631-051
26.	刺しゅうネームソフトウェア 「ネーム PRO 」
	_

えんし お知らせ

- ●別売品については、モデル名をご確認の上、 販売店にお問い合わせください。
- ●付属品や別売品は、指定のもの以外は使用 しないでください。
- ●仕様は、改良のために予告無く変更するこ とがあります。



ミシン本体を設置します。正しく設置しないと振動 や騒音が大きくなったり、刺しゅうがきれいにぬい 上がらないことがあります。別売の専用テーブルも あります。

設置・移動に関する注意 ▲ 注意 ● ミシンの使用温度は5~40℃です。低温 や高温はミシンの誤動作の原因となりま す。 ● 直射日光の当たらない環境で使用してく ださい。直射日光はミシンの誤動作の原 因となります。 ● しっかりとした机や台の上にレベル座を 接地させて、ミシンがガタつかないよう に設置してください。 ● ミシンの下に物を入れるなど、ミシン底 面後方および背面の換気口をふさがない でください。また、換気口に糸くずやほ こりがたまらないようにしてください。 ミシン内部の温度が上がり故障・火災の Â 原因となります。 ● ミシン本体の重さは約38kgあります。運 搬や設置は、必ず2人以上で行ってくだ さい。 ● ミシンを持ち運ぶ際は、必ず底部の指定 箇所(①)を持ってください。他の部分 を持つとこわれたり、手がすべって落と したりして、ケガの原因となります。 $^{(1)}$ ● 雷が発生しているときは電源を切り、電 源プラグを抜いてください。雷はミシン の誤動作・故障の原因となります。 ● 設置が完了するまで、電源プラグを接続 しないでください。誤ってスタート/ス トップスイッチを押すと、ミシンが作動

してケガの原因となります。







1





つまみボルトをゆるめて使いやすい向きに調整し、 つまみボルトを締めます。

向きを調整します。



① つまみボルト



左右のつまみボルトをゆるめて使いやすい角度に し、つまみボルトを締め付けます。

ി





きは、付属の丸型ドライバーを使用してく ださい。



スパナで締めます。

ら、つまみボルトを締めます。



糸案内を準備する

糸案内を立てます。付属のプラスドライバーを用 意します。

プラスドライバーで糸案内支持棒の左の2本 1 のネジをゆるめ、糸案内を起こします。

①のネジは外し、②のネジは3~4回、回してゆるめ ます。



- ① ネジを取り外します。
- ② ネジを3~4回、回してゆるめます。
- 糸案内を垂直になるまで起こし、左の② のネジを締めます。 1 で外した 1 のネジ で、糸案内支持棒の右から固定します。



①ネジを取り付けて、締めます。 ② ネジを締めます。

プラスドライバーで左右の案内のネジをゆ 3 るめ、水平になるように糸案内を持ち上げ ます。



① ネジをゆるめる



3)



① ネジを締める



内が固定されるよう、確実に締めてくださ 110

糸立台を準備する

糸立台を縫製位置で固定します。付属の丸型ドラ イバーを用意します。

つまみボルトをゆるめて、糸立台を左右に 開きます。



つまみボルト
 ・・・

② 糸立台



いっぱいまで開いたら、つまみボルトを締め付けます。



→ 糸立台が開いた状態で固定されます。

台枠をセットする

キャリッジに台枠をセットします。

使用する刺しゅう枠用の台枠を用意します。(P. 84 参照)





① フまみホル
 ② カバー





手順?で外したつまみボルトを使用し、台枠を固定します。 ① つまみボルトをゆるめたり締めたりするときは、付属の丸型ドライバーを使用してください。

●本製品には、2種類の台枠が付属されていま す。付属の4つの刺しゅう枠を使用すると きは、台枠Aを使用してください。(詳し くは、P.82「刺しゅう枠を上手に使うには」 を参照してください。)

これで、ミシンの準備は完了しました。

 $_{3}2_{2}$ 使ってみましょう 【チュートリアル】

電源を入れるところから、1 つの模様をぬい上げ、作業を終了するまでの基本的な操作を、順を追っ て説明します。実際に操作しながら、使い方をマスターしましょう。

使用上の注意

このミシンを正しく使っていただくために守って いただきたいポイントを説明します。

電源に関する注意

電源について気をつけなければいけないことを説 明します。



▲ 注意

- 必ずミシンに付属の電源コードを使用してください。
- 延長コードや分岐コンセントを使用した、たこ足配線はしないでください。 火災・感電の原因となります。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 電源プラグを抜くときはまず電源スイッチを切り、必ずプラグの部分を持って抜いてください。電源コードを引っ張って抜くとコードが傷つき、火災・感電の原因となります。
- ・電源コードを傷つけたり、破損したり、 加工したり、無理に曲げたり、引っ張っ たり、ねじったり、たばねたりしないで ください。また、重い物を載せたり、加 熱したりすると電源コードが破損し、火 災・感電の原因となります。電源コード または電源プラグが破損したときはミシ ンの使用をやめて、お近くの販売店また は「PR/VR専用ダイヤル」にご連絡くだ さい。
 - ●長期間ご使用にならないときは、必ず電 源プラグをコンセントから抜いてくださ い。火災の原因となります。
 - ●長時間ミシンから離れる際には、電源ス イッチを切るか、あるいは電源プラグを 抜いておいてください。
 - ミシンの点検を行う際や、外装を取り外 すときは、電源プラグを抜いてから行っ てください。

針に関する注意

針を取り扱うときの注意を説明します。以下の注 意を守らなければ、針が折れて飛び散るなど大変 危険です。よく読んで必ず守ってください。

たのまシンは一般の刺しゅう針を使用するように設計されています。メーカー推奨針はオルガン社製の "HAX 130 EBBR"です。その他の針を使用すると、針折れや糸切れ、自動針穴糸通し装置などの故障の原因となるだけでなく、ケガの原因にもなります。 曲がった針は絶対に使用しないでください。針折れの原因となるだけでなく、ケガの原因にもなります。

正しい針の見分け方

針が曲がった状態で使用すると、途中で折れてし まうことがあり非常に危険です。 針の平らな面を平らな板に合わせ、針と板のすき 間が平行である針を使用してください。曲がった り、針先がつぶれた針は、新しい針と交換してく ださい。(P.81「針を交換する」参照)







■ 悪い針

すき間が平行でない場合は、針が曲がっていま す。その針は使用しないでください。



③ 平らな面

ボビンに関する注意

ボビンに関して気をつけなければいけないことを 説明します。



上糸に関する注意

上糸に関して気をつけなければいけないことを説 明します。



●糸によっては、糸切れ、糸調子不良が発生 する場合があります。そのような場合は、 糸を交換してください。

布地に関する注意

布地に関して気をつけなければいけないことを説 明します。

- 刺しゅうの重ねぬいは、針が布地にささり にくくなり、針が折れたり、曲がったりす るおそれがありますのでご注意ください。
- ●薄地、伸びる布地などぬいにくい布地には、 接着芯を貼ってください。(P.86「布地に 接着芯を貼る」参照)
- ◆大きな布地に刺しゅうするときは、布地が キャリッジに巻き込まれないように注意し てください。

画面に関する注意

液晶画面の取り扱いに関する注意を説明します。



基本手順

刺しゅうの基本手順は次のとおりです。

操作を始める前に、どのような手順を踏んでいくか、全体の流れを確認してください。

手順	│ │	チュートリアル 参照ページ	使用上の注意 参照ページ
1	下糸をセットします。	P. 35	P. 32
2	電源を入れます。	P. 40	P. 31
3	刺しゅう模様を選びます。	P. 44	_
4	刺しゅう模様を編集します。	P. 45	-
5	仕上がりイメージを確認します。	P. 46	-
6	刺しゅう枠に布地を張ります。	P. 47	P. 33
7	刺しゅう枠をセットします。	P. 49	-
8	縫製のしかたを設定します。	P. 51	-
9	縫製範囲を確認します。	P. 52	-
10	上糸をセットします。	P. 53	P. 33
11	スタート/ストップスイッチを押してぬいます。 (ぬい終わると、自動的にミシンは停止します。)	P. 60	_
12	刺しゅう枠・布地を外します。	P. 63	_
13	電源を切って終了します。	P. 64	_

次のページから各手順を説明します。

ただし、模様の編集や縫製のしかたの設定はしないで進めます。模様の編集は P. 151 を、縫製のしかたの設定は P. 107 を参照してください。

P.66からは、液晶画面に表示される主な画面の表示やキーの説明を一覧でまとめて説明しています。 ご活用ください。

P.31 からは、基本操作に関する使用上の注意をまとめて記載してあります。ミシンを正しく使っていただくための重要な注意事項です。必ず読んでください。
1. 下糸をセットする

購入時は、ボビンケースのみが釜にセットされています。刺しゅう用の下糸を巻いたボビンをセットしてください。ボビンに関する注意については、P.32を参照してください。

、お願い

- ◆下糸の残量はミシンに表示されません。ぬい始める前に、下糸の量が十分かを確認してください。
 - ●ボビンを交換する度に、ボビンケースを掃除してください。(P. 206「ボビンケースの 掃除」参照)

ボビンケースを取り出す



ピッカーが手前に引き出されていない場合 は、手前に引きます。



- ピッカー
 ボビンが取り出しやすくなるように、ピッカーを釜から離します。
- お知らせ ●ピッカーはぬい始めるときや糸を切るとき に、糸を固定するための装置です。



3 ボビンケースのつまみを持って、ボビン ケースを取り出します。



① つまみ

■ ミシンに注油する

ボビンケースを取り出したら、ここで注油をして ください。レース部に注油が必要です。注油のし かたについては、P.208「ミシンに注油する」を参 照してください。



次に、下糸巻き装置を使用して、金属ボビンに下 糸を巻きます。

下糸巻き装置の準備

下糸立棒、糸こまクッション、糸案内を下糸巻き 装置に取り付けます。

下糸立棒と糸こまクッションを立てます。 受皿側を下にして、糸立棒用穴へ垂直に差し込んだ 後、糸こまクッションを差し込みます。



- ① 下糸立棒
- ② 受皿
- ③ 糸立棒用穴
- ④ 糸こまクッション

35



糸案内を立てます。

糸案内のピンと糸案内用穴の切り欠きを合わせて、 垂直に差し込みます。



- ① 糸案内のピン
- ② 糸案内用穴の切り欠き
- ③ 糸案内用穴
- 奥までしっかりと差し込み、ふらつきがないことを 確認してください。

電源と接続する

電源についての注意は、P.31を参照してください。

 電源コードのジャックを AC アダプターに 差し込みます。



AC アダプターのプラグを下糸巻き装置の DC 入力端子につなぎ、電源プラグを家庭 用電源コンセント(AC100V)に差し込み ます。



 AC アダプターのプラグは、下糸巻き装置の DC 入力 端子にしっかりと差し込んでください。



下糸を巻く

下糸用の糸こまと金属ボビンを用意します。下糸 は、綿またはポリエステル糸(#90~120)を使 用してください。



ボビンのミゾを下糸巻き台のバネに合わせ、ボビンを取り付けます。



① ボビンのミゾ ② 下糸巻き台のバネ



8 ボビン押えをカチッと音がするまでスライ ドさせます。



① ボビン押え





→ 下糸を巻き始めます。





<u>1</u>1 ボビンを外します。



と お願い

●ボビンを外すときは、下糸巻き台を引っ張らないようにしてください。下糸巻き台がゆるんだり外れたりして、下糸巻き装置が破損するおそれがあります。







ボビンをセットする



● 下糸調子の調整のしかたは、P.103「下糸の調子を 調整する」を参照してください。





画面の見方

電源スイッチを入れ、 で を押すと、模様選択画 面が表示されます。ここからは、操作パネル上で の操作に入ります。液晶画面の取り扱いに関する 注意は、P.33を参照してください。



* ここで説明しているキーは、これから説明する画 面で常に表示され、その機能を使うことができま す。

番	画面表示	当旧	参照
号	名称	あたりつ	ページ
1	ń	今までの作業を取り消し、最初 の模様選択画面に戻るときに押	-
	ホームキー	しまり。	
2	-	選択した模様が表示されます。	P. 182
	模様表示 エリア		
3	-	装着している刺しゅう枠の縫製 範囲を示します。刺しゅう枠の	P. 182
	刺しゅう 範囲表示	表示やグリッドライン、その他 のディスプレーの設定をミシン の設定画面で設定できます。	
9		(市いたち (空辺する ときに 押しま	P 190
G		伊い万を唯認9るとさに押しま す。 -	1.100
	ミシンの 使い方キー		
5	+11-+	選択した針棒を移動し、糸通し するときに押します。	P. 58 P. 83
	針棒/ 枠移動キー	また、刺しゅう枠の取り付け、 取り外しがしやすくなるよう、 キャリッジを移動するときや、 注油をするときにも押します。	
ര		時刻を設定するときに押しま	P 41
	¥	J.	
	時計キー		
7		ミシンの設定を変更するときに 押します。	P. 179
	設定キー		

操作画面の流れ

基本的な操作画面の流れは次のとおりです。

模様選択画面で、模様の種類を選びます。 (P. 44、66 参照)



模様一覧画面で、模様を選びます。 (P. 44、67 参照)



① 模様選択画面に戻ります。

② 編集画面に進みます。

編集画面で、個々の模様の編集をします。 (P. 45、 68 参照)



- ① 模様選択画面に戻り、模様を追加できます。
- ② 縫製設定画面に進みます。

縫製設定画面で、組み合わせをしている場合の模様全体の編集や縫製設定、縫製範囲の確認などをします。 (P. 51、70 参照)



- ① **編集画面**に戻ります。
- ② 縫製画面に進みます。

縫製画面で、針棒にかける糸色を確認し、上糸を かけます。

ロック解除キー (▲ ロック) を押すと、スタート/ ストップスイッチが緑色の点滅に替わり、ミシン がスタートできる状態になります。(P.60、73 参 照)



② ロック解除キー

縫製後、「(刺しゅう模様を)ぬい終わりました。」 とメッセージが表示されます。

・

を押すと、縫

製設定画面に戻ります。(P.51、70 参照)





5. 仕上がりイメージを確 認する

模様の仕上がりイメージを、よりぬい上がりに近い 画像で確認します。

仕上がりイメージの見方

希望通りのぬい上がりになるか、刺しゅうしたと きのイメージで見てみます。

- 】 ●を押します。 ^{■ 23.2mm} ・・・・・・
 - A 23.2 mm
 - → イメージが表示されます。



● を押すと、模様を拡大してみることができます。
 ● を押すと、模様が縮小表示されます。

🔊 お知らせ

●仕上がりイメージが横向きに表示されたとき、上下に余白があっても、表示方向を縦向きに変えることはできません。



枠表示を変更してみて、模様に最適な台枠や刺しゅう枠の大きさを決めたら、台枠や枠を交換してください。ミシンが自動で台枠と枠の種類を認識して画面表示が変わります。



■を押すと刺しゅうの順番を確認できます。



→ ステッチシミュレーター画面が表示されます。



- ① シミュレーションの速さを選べます。➡1 ➡2
 ➡3 を押すと、速度が変わります。再生途中でも 速さは変更できます。
- ② 再生操作キー
 - : 設定した速度で再生スタートします。
 : 再生中に押すと、シミュレーションが一時 停止します。
 を押すと、一時停止したところ から続けて再生できます。
 : 再生中、または一時停止中に押すと、シ ミュレーションが終了し、スタート前の状態に戻 ります。
- □ を押すと、台枠・枠表示選択画面に戻ります。



^{開じる}を押して、元の画面に戻ります。



お知らせ

●縫製画面では、仕上がりイメージを表示したまま刺しゅうを開始することができます。 縫製画面以外で仕上がりイメージを表示したときは刺しゅうを開始できません。

6. 刺しゅう枠に布地を張 る

ぬう模様が決まったら、使用可能な刺しゅう枠を確認し、その枠に布地を張ります。

刺しゅう枠に布地を張る前に、薄い布地や伸びる布 地は刺しゅう芯を貼っておいてください(P.86「布 地に接着芯を貼る」参照)。布地に関する注意につ いては、P.33を参照してください。

と お願い

●布地の張り方がゆるいと、模様くずれやぬい縮みの原因となります。次の手順に従い、 布地にたるみがないよう、しっかりと張ってください。また、布地を張るときは平らな場所で行ってください。。

布地の張り方

🚹 刺しゅう枠を選びます。

画面に表示されている刺しゅう枠を確認し、使用で きる刺しゅう枠を選びます。

 # 23.2mm
 Imm
 Imm

お知らせ



■ 刺しゅう枠の種類

4 種類の大きさの刺しゅう枠が同梱されています。 これらの刺しゅう枠は、付属の台枠 A をミシンに 取り付けて使用します。それぞれの用途について は、P.82「刺しゅう枠を上手に使うには」を参照 してください。

画面表示	名称			
縫製範囲(ヨコ × タテ)				
+	LL 枠			
	300mm×200mm			
+	L枠			
	180mm×130mm			
*	M 枠			
	100mm×100mm			
Ð	S枠			
	60mm×40mm			

別売の刺しゅう枠を使うときは、画面に次のア イコンが表示されます。

+ + +	: 台枠 B
$\textcircled{\bullet} \textcircled{\bullet} \textcircled{\bullet} \textcircled{\bullet}$: 台枠 C
+	: 台枠 D
+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++	:台枠 E

∕!`

▲ 注意

当社指定以外の刺しゅう枠や、誤った大きさの刺しゅう枠を使用すると、刺しゅう枠が押えに当たり、ケガ・故障の原因となります。(刺しゅう枠について詳しくは、P.82「刺しゅう枠を上手に使うには」を参照してください。)



■S枠に布地を張る

ここでは、S枠に布地を張ります。 M枠に張る場合も、同様の手順で布地を張ってく ださい。 LL枠、L枠に張る場合は、P.87「布地の張り方」

を参照してください。





調節ネジ

3 外枠の上に、布地をピッと伸ばしてのせます。



- 外枠の表裏はありません。どちらの面が表になって も構いません。
- ぬい縮みや模様くずれを防ぐため、刺しゅう用接着 芯の使用をお勧めします。(P.86「布地に接着芯を 貼る」参照)

🔼 内枠ではさみます。



 刺しゅう枠の内側に、はさみしわができないよう注 意してください。

5 調節ネジを軽く締め、布地の端を引っ張り ます。





調節ネジをしっかりと締め、布にたるみの

● 調節ネジは付属の丸型ドライバーで、しっかりと締

 \bigcirc

布地の種類によって、その布地に適した張り方や 刺しゅう芯の使い方があります。ちょっとした工

夫が、刺しゅうをきれいに仕上げます。いろいろ

試してみましょう。(P. 202「枠張りのテクニック」

6

① 内枠

② 外枠

③ 内枠の下部

① 丸型ドライバー

参照)

め付けることもできます。

7. 刺しゅう枠をミシンに セットする

刺しゅう枠に布地を張ったら、ミシンにセットしま す。台枠は、台枠Aと台枠Bの2種類が付属されて

付属の刺しゅう枠を使用する場合は、台枠Aを取り 付けてください。(台枠について詳しくは、P.82「刺 しゅう枠を上手に使うには」を参照してください。)



●刺しゅう枠をセットする前に、下糸残量が 十分あることを確認してください。

刺しゅう枠のセットのしかた

セットする刺しゅう枠の大きさに台枠の幅を合わ せてから、刺しゅう枠をセットします。ここでは、 S枠をセットします。





縫製設定画面に進む



■■■■■を押します。



→ 縫製設定画面に進みます。

8. 縫製設定

この画面で模様全体の編集と縫製のしかたの設定 をすることができます。また、縫製位置の確認、模 様の記憶も、この画面で行います。

縫製設定画面(画面の見方は P. 70 参照)



- ① 模様表示エリアの模様の大きさを示しています。
- ② 仕上がりイメージを確認するときに押します。
- ③ 模様の中心からの移動距離、回転角度、色替え数 を示しています。
- ④ 追加編集機能を使う場合はこれらのキーを使います。
- ⑤ 編集画面に戻る場合に押します。
- ⑥ 模様を記憶する場合はこのキーを使います。
- ⑦ 模様表示エリアの刺しゅう範囲表示は、実際に装着されている枠の大きさで表示されます。
- ⑧ 縫製のしかたを設定する場合はこれらのキーを使います。
- ⑨ 次の画面に進むときに押します。
- ⑩ 縫製範囲を確認するときに押します。

このチュートリアルでは、縫製設定は行いません。 次の手順に進みます。

、 お願い

◆設定画面で手動糸色割付を「ON」に設定すると、使用可能なキーが変更されます。 キーやその他の画面説明について詳しくは、 P. 72 を参照してください。

🔎 お知らせ

●縫製設定画面に進んだときに刺しゅう枠が 正位置にない場合、縫製設定画面が表示さ れると同時に刺しゅう枠が動き、正位置に 移動します。(P.89「刺しゅう枠の位置と 動きについて」参照)

9. 縫製範囲を確認する

刺しゅうしたい場所とずれていないか、押えが枠に 当たらないか、縫製範囲を確認します。 刺しゅう枠が正位置にない場合は、刺しゅう枠が正 位置に移動してから縫製位置が示されます。

🗊 を押します。



- → 押えが下がり、刺しゅう枠が動いて、縫製範囲を 示します。
- 刺しゅう枠が動き、縫製位置にある針の下 に模様が内接する8角形の角が順次示され ます。



刺しゅう枠の動きをよく見て、刺しゅうしたい場所 とずれていないか、刺しゅう枠と重なっていない か、確認してください。

枠の移動を止めながら確認する /確認を中止する

しっかり確認したい位置で刺しゅう枠を一時停止 したり、縫製確認を中止したりすることができま す。



→ 動作は一時停止し、次の画面が表示されます。



① 押すと、動作を再開します。

② 押すと、縫製確認を中止します。

縫製画面に進む

縫製設定画面で必要な操作が終わったら、縫製画 面に進みます。



→ 縫製画面が表示されます。

10. 上糸をセットする

縫製画面で、何番の針棒にどの糸色を通すか確認 し、上糸を通します。

針棒と糸色を確認する

経製設定画面で ●●●● を押すと、縫製画面が表示されます。糸こま交換が必要なときは、糸こまを交換するように指示画面が表示されます。 設定画面で手動糸色割付を「ON」に設定している 場合は、糸こま交換が必要なときでもこの指示画 面は表示されません。(P. 110「各針棒の糸色を選 択する/管理する(手動糸色割付)」参照)ここ で、糸色を確認します。



縫製画面(画面の見方は P. 73 参照)

- ① 1番針棒から6番針棒の糸替え表示
- ② 糸色名が表示されていない場合は、その針棒は使われません。

また、前回の縫製で使用された糸色がすでに針棒 に割り当てられていて、同じ色を次も使用する場 合、前回の針棒に引き続いて同じ糸色が割り当て られます。

③ 糸こま交換指示画面(P.96参照) この画面が表示されたときは、糸こま交換が必要です。
④ を押してこの画面を閉じるまで、 縫製に進むことはできません。

🔎 お知らせ

- ▲ ●糸こま交換が必要な針棒キーは、赤枠で囲まれます。糸通しボタンを押すと枠が消えます。
- ⑤ 糸色
- ⑥ 針棒番号

⑦ 糸色名や糸色番号 設定画面で糸色番号(#123)が選択されている場合は、ブランド名も表示されます。(P. 184「糸色 表示を切り替える」参照)

各針棒番号の下に示されている糸色名の糸を、その番号の針棒にかけます。ここでは、

- 1番針棒にキミドリ
 2番針棒にモスグリーン
 3番針棒にオレンジ
 4番針棒にアカ
 - 5番針棒にキイロ

の糸をかけます。糸色名が表示されていない場合 は、その針棒は使われません。この場合、6番針棒 は使われません。

ок を押します。

- → 現在の糸色割り当てがミシンに記憶され、糸こま 交換指示画面が閉じます。
- ・
 ・
 後製画面では糸色の確認のほかに、総針数や
 ・
 総製時
 間などの確認や、
 経製に関する
 設定ができます。



- ② 色替え数、針数、縫製時間、次にミシンが停止するまでの時間を示します。
- ③ 糸の色、糸色のぬい順、糸色が割り当てられている針棒番号を示します。縫製をするところには赤い三角が表示されます。また、縫製が終了したところはグレーになり、上へスクロールされます。
- ④ ▲、▼を押すと、画面に表示できない糸の色、ぬい順、針棒番号を見ることができます。
- ⑤ 縫製設定画面に戻る場合に使います。
- ⑧ ミシンをスタートするときや糸切りを行うとき、 このキーを押してミシンロックを解除してから、 スタート/ストップスイッチや糸切りスイッチを 押します。

⑦ 押すと、その番号の針棒が縫製位置に移動します。自動針穴糸通し装置で糸や糸切りスイッチを通すときに使います。

上、お願い

●設定画面で手動糸色割付を「ON」に設定している場合は、使用可能なキーが異なります。(画面のキーとその他の情報について詳しくは、P.73を参照してください。)



上糸をかける

刺しゅう用の糸を使用し、1番針棒から順に糸をか けていきます。



 お願い
 ●糸は、刺しゅう用のレーヨン糸またはポリ エステル糸 (den 120 x 2、# 50) を使用し てください。

河 お知らせ

 ●上糸を通す順番は、ミシン本体に線(-) で示されています。そちらも併せて見なが ら糸を通してください。



1番針棒に指定された糸色、キミドリの糸 こまを、1番の糸立棒に立てます。



- 糸立台がV字になっていることを確認してください。
- ●小さい糸こまを使用する場合、糸立棒に糸こまを立てる前に、糸立棒に付属の糸こまフェルトを取り付けてください。
- 糸こまから糸が正しく送られるように、また、糸が 糸立棒にからまないよう、糸こまは糸立台の中心に 立ててください。



糸立棒より低い糸こまを使用する場合、付属の糸こま押えを取りけてください。



- ① 糸こまフェルト
- ② 小さい糸こま
- ③ 糸こま押え
- 両つば付きの糸こまを使用する場合、糸立棒に糸こ まを立てた後に、糸こまの上から糸立棒に付属の糸 こま押えを取りけてください。

下図の番号は、その針棒番号の糸が通る場所を示 しています。まちがえないように注意して糸をか けてください。



2 糸こまの真上の糸案内の1番の穴に糸を通し、続けて手前の糸案内の1の穴に通します。



-② 手前の糸案内の1番の穴









① 糸道上の穴





① 糸道上の金具





- ① 回転調子皿
- ② 回転調子皿のこの部分に、時計回りで糸を巻く● 糸が回転調子皿にきちんとかかっていることを確認
- ボガロ転向う皿にとられていかっていることを確認してください。



4

 ラシン本体に示されている糸道に沿って糸 案内ピンに正しくかけながら糸を通しま す。

3

Q

1

7 1 番糸道中の金具に、糸を右側から通します。



手順 5 から 6 の糸道上から回転調子皿に巻き付け、糸道中までの糸の通り道は番号によって違いま

す。糸案内ピンの左右を通すことで、糸が絡まない ように設計されています。ミシン本体に示されてい る糸道に従ってそれぞれの糸を通してください。



1番のミゾにそって糸を通し、1番の天びんの穴へ右から通します。



① 天びん











■糸通しをする針棒を縫製位置に移動 する

縫製画面で、選んだ針棒を縫製位置に移動できま す。

1 針に糸を通したい針棒の番号を押します。



→ 針棒が縫製位置に移動します。



🏹 お知らせ

●上糸の1色を変える場合、現在かかっている 糸を糸こまと糸案内の間で切ると、簡単に 糸をかけ直すことができます。糸立棒に新 しい糸こまをセットし、新しい糸の端と前 の糸の端を結びます。そして、針の方向に 糸を引きます。(P.96参照)

■ 糸こまネットを使う

メタリック糸や強い糸を使用する場合、ぬい始め る前に、糸こまに付属の糸こまネットを取り付け てください。糸こまネットが長すぎるときは、糸 こまに取り付ける前に、一度糸こまのサイズに合 わせて折り曲げてください。また、糸こまネット を使用するときは、糸調子を調整する必要がある 場合があります。



① 糸こまネット
 ② 糸こま

11. 刺しゅうをぬう

それでは、ぬってみましょう。 ミシンをスタートすると、自動的に押えが下がり、 ぬい始め・ぬい終わりの糸の処理や糸替えをしなが ら縫製し、ぬい終わると止まります。



■ ミシンロック機構について

安全のため、このミシンはミシンロック機構が採 用されています。

通常、ミシンはスタートできない(ロックされ た)状態になっています。ロックを解除しない と、ミシンをスタートすることができません。 ロック解除の状態は1回の操作につき約10秒間 で、その間にミシンがスタートされなかった場合 は自動的にロック状態に戻ります。 ロック状態かロック解除状態かは、スタート/ス

ロック状態がロック解除状態がは、スタードクス トップスイッチで見分けることができます。赤色 の点灯はロック状態を、緑色の点滅はロック解除 状態をそれぞれ示しています。

ミシンをスタートする お願い ●刺しゅう枠が動く範囲に、物を置かないよ うにしてください。刺しゅう枠が当たり、 模様くずれの原因となります。 ▲ □>> を押し、ミシンロックを解除しま す。 1 ▶=== 6 1 2 モスグリーン キミドリ 3 オレンジ 15 2 +10 モスグリーン アカ 4 3 オレンジ 4 +10 5 -**₹**3 0. **(**≠0 **(**), *j*-/+ **1000** - +

→ スタート/ストップスイッチが緑色の点滅に変わり、ミシンをスタートできる状態になります。

+11-+

 (\mathbf{S})

?

🛕 💷 🖉

 ロック解除後、約10秒以内にスタート/ストップ スイッチを押さないと、ミシンはロック状態に戻り ます。 2 スタート/ストップスイッチを押します。

スタート/ストップスイッチが緑色に点滅している 間に押します。赤色の点灯に戻ってしまった場合 は、手順 1 からやり直してください。



→ スタート/ストップスイッチが緑色の点灯に変わ り、1 色目をぬい始めます。



- 現在縫製中あるいはすぐ後に縫製される針棒の糸 色が、ぬい順表示の先頭に表示されます。残りの 糸色は、ぬい順に上から並んで表示されます。
- ② 糸情報が青い枠で囲まれ、その針棒で縫製していることを示します。
- 縫製中は、模様表示エリアの緑色の十マークが現在 ぬっている位置を示します。また、針数、時間はカ ウントされていきます。



3 1色目がぬい終わると、自動的に止まって 糸を切ります。針棒を移動して、2 色目を ぬい始めます。



- → 画面のぬい順表示が2色目に進み、2番針棒の糸替 え表示が青い枠で囲まれます。
- 同様に最後の色までぬい、ぬい終わると自 Δ 動的に止まります。
 - → 画面は、その模様をぬう前の縫製設定画面に戻り ます。
 - → スタート/ストップスイッチは、赤色の点灯に変 わります。
 - ぬい始めやぬい終わりの糸の処理は、必要ありませ ん。

■続けて刺しゅうをするときは

もう1度同じ模様をぬいたい場合は 🚥 を押し ます。



- → 縫製画面が表示され、続けて同じ模様をぬうこと ができます。
- 新しい模様を選びたい場合は 📶 を押します。

H I	23.2 mm 36.3 mm	+ +++++++++++++++++++++++++++++++++++++	ı	A

→ 模様選択画面が表示されます。

お知らせ

- ●模様のぬい始めや色替え後のぬい始め、糸 切り時に、自動止めぬいの設定ができます。 (P.114「自動止めぬい設定」参照)
 - ●ぬっている最中でも、縫製スピードを変え ることができます。(P. 119「縫製最高速度 設定」参照)





電源スイッチの "〇" 側を押します。



→ 電源が切れ、画面表示とスタート/ストップス イッチの点灯が消えます。

次に電源スイッチを入れたとき、続きからぬうことができます。ただし、ぬい目を少し戻す必要があります。(詳しくは、P.101「停止後、途中からぬうときは」を参照してください。)

🏹 お知らせ

●縫製中でもミシンはいつでも停止することはできますが、色替え時に停止すると次にぬい始めるときにぬい目を戻す必要はありません。色替え時にミシンを停止するよう設定もできます。(P. 120「縫製前にポーズ位置を指定する」参照)

■ 途中で糸が切れてしまったら

糸切れなどの不具合が発生すると、ミシンは自動 的に止まります。

切れた糸をセットし直し、ぬい目を戻し、続きを ぬいます。(詳しくは、P.97「途中で糸が切れた/ 下糸がなくなったときは」を参照してください。)

12. 刺しゅう枠、布地を 外す

ぬい終わったら、刺しゅう枠を外し、布地を刺しゅ う枠から外します。

刺しゅう枠の外し方



 刺しゅう枠の左右の取付部を両手で持ち上 げ、少し浮かせます。

取付部の穴を台枠のアームのピンから外します。











画面早見一覧

各画面の表示やキーの説明を一覧にしています。

キー表示について

キーの色は、次の意味を表しています。すべてのキーについて共通です。

例:

(通常表示) :選ばれていません。(選ぶことができます。)

🚺 (濃い色の表示) : このキーは選ばれています。

(グレー表示) :このキーは選ぶことができません。

模様選択画面の見方

「模様選択画面」で、模様の種類を選びます。



番	画面表示		=== un	
号	名称		武明	ページ
1			内蔵されている絵柄の刺 しゅう模様が選べます。	P. 127
	刺しゅう 模様キー			
2			○型や□型など 10 種類の 枠型に 14 種類のステッチ	P. 128
	枠模様キー	亊	を組み合わせ(選ふこと ができます。 	
3		力蔵模1	2~3文字の文字模様を組 み合わせたモノグラム模	P. 129
	モノグラム模 様キー			
4	AA		37 書体あり、大文字、小 文字、数字、記号、欧文	P. 131
	文字模様キー		メチをてれてれ人・中・ 小の大きさから選ぶこと ができます。日本語フォ ントは大・小の大きさか	
			ら選ぶことができます。	

番	画面表示	説明		参照
5	名称			<u> ヘーシ</u>
6	\$I		さまざまな飾り模様、ボ タンホール模様が選べま す。ボタンホール模様は、	P. 129
	実用刺しゅう 模様/ ボタンホール 模様キー	蔵模様	大・中・小の大きさから 選ぶことができます。	
6	ME A	R	花アルファベット、アッ プリケアルファベットな ドロゲクンマラクログ	P. 134
	装飾アルファ ベットキー		こ、様々な文子候様が選 べます。	
7		USI 出し	B メディアから模様を呼び →ます。	P. 139
	USB メディア キー			
8		付 同 ン と	付属の USB ケーブルでパソコ ンとミシンを接続し、パソコン	
	パソコン (USB) キー	び出	っ侯塚をミンノに転送して守 当します。	
9		SD ます	カードから模様を呼び出し 「。	P. 139
	SD カードキー			
10		ミシしま	∕ンに記憶した模様を呼び出 ∈す。	P. 138
	ミシンに記憶 した刺しゅう 模様キー			
1	展る 戻るキー	模画めにい	様を追加するために模様選択 町に戻ったときに、追加をや 5場合に押します。編集画面 ≛みます。模様を選んでいな ≤きは、表示されません。	P. 152

模様一覧画面の見方

「模様一覧画面」で、模様(模様データ)を選びます。



番	画面表示	书品	参照
号	名称	武元 47 5	ページ
1	III 73.0mm 66.6mm	模様表示エリアに表示されてい る模様の大きさを示します。上 取が縦、下段が横の長さです	-
	大きさ	複数の模様を組み合わせている 場合は、すべての模様を含む全 体の大きさを示しています。	
2	D I 73.0 mm 66.6 mm	模様キーを押して選んだ模様の 大きさを示します。上段が縦、 下段が横の長さです	-
	大きさ		
3	Ĥ	模様の絵柄がキーに表示されま す。このキーを押して、模様を 選びます	P. 126
	模様キー	また、このエリアを押しながら スライドさせるとページが移動 できます。	
4	戻る	現在選んでいる模様のカテゴ リーをやめて、他のカテゴリー を選び直す場合に押します。横	P. 127
	戻るキー	様選択画面に戻ります。	
5	 イメージキー	模様のイメージ画像が表示さ れ、仕上がりイメージを見るこ とができます。	P. 46

番	画面表示	=24 np	参照
号	名称	武·马	ページ
6	1	模様キーを押して選んだ模様の 色替え数を示します。	-
	色替え数		
0	▲ & C ▲ ► チェックエリ ア	文字模様を入力した際、入力し た文字情報を確認できます。赤 いカーソルの後から文字が入力 されるので、◀ ●を使って入 力位置を変更することができま す。	P. 133
8	大きさキー	模様キーを押して選んだ模様の 大きさを選ぶことができます。	P. 132
9	E 専ヨ 段落揃えキー	1行以上の文字模様の段落を左 揃え・中心揃え・右揃えのいず れかに揃えられます。	P. 134
10	(Lev)ト セットキー	模様を選んだら押します。模様 の選択を確定して、編集画面に 進みます。	P. 127
1	▶ ^B € 配列キー	押すと、編集対象となっている アルファベット模様の配列を変 更することができます。	P. 133
12	サムネール切り替えキー	サムネール表示を大・中・小に 切り替えることができます。	P. 127
13	▲ 前のページへ キー	押すと、前のページが表示され ます。	P. 127
14	▼ 次のページへ キー	押すと、次のページが表示され ます。	P. 127
15	左右反転キー	選択している模様を左右に反転 することができます。	P. 154

* ⑧、⑨、⑪、⑮ は、模様によっては編集できるものとできないものがあります。

編集画面の見方

「編集画面」で、模様を個別に編集します。(ここでは模様全体を編集することはできません。)模様表示 エリアに表示され、選択されている模様の配置、大きさの変更、左右回転、配列の調整、配色の変更等を 編集することができます。また、複数の模様を選択して模様を組み合わせることができます。入力した文 字模様にも、様々な編集をすることができます。



番号	画面表示 名称	説明	参照 ページ
1	暦 103.6mm 94.9mm 大きさ	模様表示エリアに表示されてい る模様の大きさを示します。上 段が縦、下段が横の長さです。 複数の模様を組み合わせている 場合は、すべての模様を含む全	-
		体の大きさを示しています。	D 47
0	+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	模様表示エリアに表示されてい る模様をぬうことができる刺 」ゅうぬをテレます	P. 47
	適応枠表示		
3	46.9 mm 55.2 mm	編集対象となっている模様の大 きさを示します。上段が縦、下 段が横の長さです。	-
	大きさ		
4		ー 模様を削除します。押すと、編 集対象となっている模様が削除 ー さわます	P. 174
	削除キー	C16490	
5	追加	模様を追加します。押すと、模 様選択画面が表示されます。	P. 152
	追加キー		
6	I	模様のイメージ画像が表示さ れ、仕上がりイメージを見るこ	P. 46
	イメージキー	とができます。	
7	\$+ 0.0 mm	編集対象となっている模様を移 動したときの縦の移動距離を示	P. 153
	中心からの距 離(縦)	します。	
8	↔ + 0.0 mm	編集対象となっている模様を移 動したときの横の移動距離を示	P. 153
	中心からの距 離(横)	します。	

番	画面表示	——————————————————————————————————————	
号	名称	L	ページ
9	Ċ 0.0°	編集対象となっている模様を回 転したときの回転角度を示しま	P. 157
	回転角度	<u>ज</u> ्	
10	1	編集対象となっている模様の色 替え数を示します。	_
	色替え数		
1		矢印の方向に編集対象になって いる模様のぬい位置を移動する ことができます。(●●を押す	P. 153
	移動十一	と、 ぬい位直が刺じゆう範囲の 中心に戻ります。)	
12	◀ 模様選択 ▶	複数の模様を組み合わせている 場合に、編集する模様の対象を	P. 152
	模様選択キー	友えることがてきより。	
13	H\$ 87	編集が終了したら押します。次 の縫製設定画面に進みます。	P. 51
	編集終了キー		

使ってみましょう 【チュートリアル】



番号	画面表示 名称	説明	参照 ページ
1	10% Q ① 拡大キー	100%、125%、150%、200% から選択して、編集中の模様を 拡大縮小表示できます。	P. 151
2		編集対象となっている模様を回 転することができます。	P. 157
3		編集対象となっている模様の大 きさを変えることができます。	P. 154
4	1000000000000000000000000000000000000	模様の色を変えることができま す。	P. 162
5	ほう いいちょう そうし いっかい ほうし いっかい ほうし いっかい ほうし おうし おうし おうし おうし おうし おうし おうし ひょう しんしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょ	繰り返し模様(ボーダー模様) を作ったり、編集したりできま す。	P. 167
6	 コピーキー	模様をコピーできます。	P. 174
7	マ ップリケ キー	編集対象となっている模様を アップリケ模様に変えることが できます。	P. 108
8	① 色替えキー	アルファベット模様を1文字ず つ色を変えることができます。 アルファベット模様を選んでい る場合のみ使えます。	P. 160
9	▶ <u>≞</u> € 配列キー	押すと、編集対象となっている アルファベット模様の配列を変 更することができます。	P. 158
0	▲A9 書体切り替え キー	編集対象となっている文字模様 のフォントタイプを再度選択し なおせます。	P. 161
1	▲BC 文字編集キー	編集対象となっている文字模様 の、一文字ずつの大きさやフォ ントタイプを変更できます。	P. 161

番	画面表示	説明	参照
	名称		ページ
12		編集対象となっている模様を左 右に反転することができます。	P. 154
	左右反転キー		
13	///	編集対象となっている模様の密 度を変えることができます。 アルファベットと枠模様を選ん	P. 161
	糸密度キー	でいる場合のみ使えます。	
14		選択した複数模様をグループ化 します。	P. 153
	グループ化 キー		
15	A B C	編集対象となっている文字模様 の間隔を変えることができま す。	P. 158
	文字間キー		
16	_v%c	ノー アルファベット模様の文字間の 渡り糸を、自動的に切る設定が	P. 159
	糸切り設定 キー		
17		1 つ以上の模様を同時に選択で きます。	P. 153
	複数模様選択 キー		
18	ABC	選択した文字模様同士を結合さ せることができます。	P. 160
	文字列結合 キー		
19	ABC	選択した文字模様を分割するこ とができます。	P. 159
	文字列分割 キー		

縫製設定画面の見方

「縫製設定画面」で、模様全体を編集します。(ここでは模様を個別に編集することはできません。)模様 表示エリアに表示されている模様全体の配置、回転角度等を編集することができます。また、模様表示エ リアに表示されているデザインを記憶することができます。設定画面で手動糸色割付を「ON」に設定して いるときは、使用できるキーが異なります。(P.72、110参照)



番 号	名称	説明	参照 ページ
1	単103.6mm 94.9mm 大きさ	模様表示エリアに表示されてい る模様の大きさを示します。と 段が縦、下段が横の長さです。 複数の模様を組み合わせている 場合は、すべての模様を含む全 体の大きさを示しています。	-
2	▲ 適応枠表示	模様表示エリアに表示されてい る模様をぬうことができる刺 しゅう枠を示します。	P. 47
3	\$+ 0.0 mm	枠移動したときの縦の移動距離 を示します。	P. 90
	中心からの距 離(縦)		
4	↔ + 0.0 mm	枠移動したときの横の移動距離 を示します。	P. 90
	中心からの距 離(横)		
5	Ċ 0.0°	編集した模様全体を回転したと きの回転角度を示します。	P. 92 P. 175
	回転角度		
6	ੇ 17	編集した模様全体の色替え数を 示します。	-
	色替え数		
使ってみましょう 【チュートリアル】

PI 103.6mm 94.9mm	()
1 2 + 0.0 mm () 0.0" ++ 0.0 mm 17	
	ר > — 10
	••• (1)
	12 (13) (14)

番号	画面表示 名称	説明	参照 ページ
1	カラーソート キー	複数の模様を組み合わせたと き、縫製順を糸色ごとにまとめ ることができます。	P. 166
2	個別範囲設定 キー	ー旦停止、縫製スキップなど、 個別の糸色に対して設定を変更 するときに使用します。	P. 120 P. 112
3	() しつけぬい キー	布に接着芯が貼られていない場 合、模様の周囲にしつけぬいを して、ぬい目が縮んだり模様が ずれたりするのを防ぐことがで きます。	P. 107
4	<u>し</u> 回転キー	複数の模様を組み合わせている 場合は、模様全体を回転するこ とができます。	P. 92 P. 175
6	「止めぬい (ぬい終わり) キー	糸切り時に、自動止めぬいの設 定ができます。	P. 114
6	レンジャン しんし (ぬい始め) キー	模様のぬい始めと糸替え後のぬ い始めに、自動止めぬいの設定 ができます。	P. 114
7	編集 編集キー	押すと、編集画面に戻ります。	_
8	 記憶キー	模様をミシン本体や USB メ ディア、パソコンに記憶するこ とができます。	P. 136 P. 137
9	イメージキー	押すと、模様のイメージ画像が 表示され、仕上がリイメージを 見ることができます。	P. 46

番号	画面表示 名称	説明	参照 ページ
10	<u> 「 ^ 1 く・ > レ ✓ J 移動キー</u>	ぬう位置を調整できます。押す と、矢印方向に枠が移動しま す。(●●を押すと、枠の中心 が模様の中心に戻ります。)	P. 90
1	▶ ► ► ► ► ► ► ► ► ► ► ► ► ► ► ► ► ► ► ►	 枠の移動の速さを選択できます。 ▶ 移動キーを押すごとに、 0.1mm ずつ移動します。 ▶ 移動キーを押すごとに、 0.5mm ずつ移動します。 ▶ 移動キーを押し続けると、 最高速度で移動します。 	P. 90
12	リック ゆい始め/終 わり位置設定 キー	ぬい始めとぬい終わりの針位置 を設定することができます。	P. 115
13	■ ■ ■ ■ ■	縫製設定画面での操作が終わっ たら、押します。次の縫製画面 に進みます。	P. 52
14	「] ためしキー	押すと、刺しゅう枠が移動し て、ぬう位置を確認することが できます。	P. 52

■ 手動糸色割付モード時



番	画面表示	晋日	参照
号	名称	武 9 7	ページ
1		手動糸色割付モードに設定され ているとき表示されます。	P. 111
	手動糸色 割付モード アイコン		
2		針棒の色設定を変更できます。 設定画面で手動糸色割付を 「ON」に設定しているときに表	P. 111
	手動糸色順 キー	示されます。	

縫製画面の見方

「縫製画面」で、糸色や針数、ぬい順、縫製時間を確認します。また、一時的針棒設定や、ぬい目を戻す /進める設定をすることができます。設定画面で手動糸色割付を「ON」に設定しているときは、使用でき るキーが異なります。 (P. 110 参照)



番	画面表示	当日	参照
号	名称	あたりつ	ページ
1	<u> </u>	下段は模様の総色替え数、上段 は現在ぬっている糸色の順番を テレキオ	-
	ぬい順数	小しより。	
2	C 23	次にミシンが停止するまでの時 間を示します。停止前の最後の 糸色をめっているとき、時間は	P. 95
	次の停止まで の時間	赤色で表示されます。 糸色交換が必要な場合は、糸こ ま交換までの時間を示します。	
3		ぬい順表示の1番上の糸色でぬ われる部分の形が表示されま	-
	部分表示	9.	
4	19-EXC27	糸色のぬい順を示します。縫製 中は自動でスクロールし、現在 総制している糸色が1 来上に表	-
	ぬい順表示	確認している末日が「毎1に衣 示されます。	
5		糸こま交換が必要な場所に赤い 線が表示されます	P. 95
	糸こま交換 マーク	版力な小ですはより。	
6	1	左のぬい順表示の糸色が割り当 てられている針棒番号を示しま	-
	3	9.	
7		下段は模様の針数の総数、上段 は現在ぬい終わった針数を示し ます	-
	針数	σ 7 o	
8	23 min	下段は模様をぬうのに必要な総 所要時間、上段はぬい終わった	-
	縫製時間	時间で小します。(糸質えの時 間は含みません。)	

番号	画面表示 名称	説明	参照 ページ	
9		ぬい順表示は、7番目までの糸 色が表示されています。8番目 以降の糸色を確認したい場合	-	
	スクロール バー	に、 ▲ や ¥ を押すか、スク ロールバーの上を押します。		



番	画面表示	=`` □P	参照
号	名称	あた 9 5	ページ
1	プログレス バー	縫製がどこまで進んだかをゲージに表示される赤い目盛りで確認できます。 定時すと、 がージが縫製中の糸色のみを表示します。	-
2	●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●	縫製中に、次の色をぬう直前で ミシンを停止したいときに押し ます。	P. 120
3	 除こま交換 キー (手動糸色割付 モード時は使 用不可) 	ミシンにセットされている糸こ まの色と合うように、画面の針 棒(糸こま)の色を入れ替える ことができます。	P. 93
4	<u>.</u> 一色ぬいキー	押すと、色替えをせずに同じ色 で模様をぬいます。ぬい順表示 がすべて同じ色で表示されま す。 ①プログレスバーと⑦糸替え表 示は元の色で表示されます。	P. 122
5	度 る 戻るキー	縫製を取り消して、縫製設定画 面に戻りたいときに押します。	-
6	▲ □ック ロック解除 キー	約 10 秒間、ミシンをスタート できる状態にします。押すと、 スタート/ストップスイッチが 緑色の点滅に替わります。	P. 60
7	 ■1 サーモンピンク 針棒キー 	押すと、その番号の針棒が縫製 位置に移動します。 自動針穴糸通し装置で糸を通す ときに使います。	_
	糸替え表示	隣の針棒キーの番号の針棒に セットする糸色、糸色名(糸番 号)を示します。この表示に 従って糸色をかけます。	P. 53
8	■ 2000 - + 縫製最高速度 設定キー	縫製最高速度を設定することが できます。	P. 119

番号	画面表示 名称	説明	参照 ページ
9	<u>り</u> -+・ ぬい目戻る/ 進むキー	ぬい目を戻したり、進めたりす ることができます。次のような 場合に使います。 ● 縫製の途中で糸が切れた り、なくなったとき ● 始めからぬい直したいとき ● 一旦電源を切ってから、続 きをぬうとき	P. 97
10		ー時的に針棒設定を手動で設定 できます。	P. 121
	一時的針棒設 定キー		

🔎 お知らせ

●ぬい順表示と糸替え表示の糸番号は、色名 や他のブランドの糸番号などに切り替える ことができます。(P. 184「糸色表示を切り 替える」参照。)

わからないことがあると きの参考

専門用語

DST

刺しゅう模様のフォーマットの1つ、タジマ フォーマットファイルの拡張子(*.dst)です。タ ジマフォーマットには色情報がないので、模様呼 び出し時にミシンが自動的に色を割り当てます。 (P. 200 参照)

■ 針番号

針は右から左に番号が付いています。1番右の針は1番針です。(P.9参照)

■「縫製位置」の針

針板の針穴上方にある針です。針棒ケースが移動 し、次にぬう糸色の付いた針を「縫製位置」へ配 置します。また、自動針穴糸通し装置を使用する ときは、糸をかける針を「縫製位置」へ移動させ てください。(P.58~P.59 参照)



① 針

② 針板の穴

■ワイパー

糸を引くための装置です。自動針穴糸通し装置を 使用するときに、ワイパーが糸を引きます。ま た、ミシンが糸を切るときも、ワイパーが布から 糸を引きます。これで、刺しゅう後の上糸処理が 不要になります。(P.58 参照)

模様

ミシンでは次の模様を刺しゅうすることができます。

- *.pen、*.pes、*.phc、*.dst フォーマットの刺しゅ うデータを USB メディアや SD カードからミシ ンへ転送できます。また、USB ケーブルでパソ コンからミシンへデータを転送することもでき ます。
- 刺しゅうカード (別売)
- 刺しゅう PRO で作成した刺しゅう模様
- USB メディアまたは SD カードに保存された模様

刺しゅう

■初期設定の色の替わりに、自分が刺しゅうしたい色を設定する

- 編集画面で 64 色パレットあるいはユーザーパ レットから糸色を選べる機能があります。 詳細は P. 171 と P. 172 を参照してください。
- 縫製設定画面で手動糸色割付機能が使えます。 詳細は P. 110 を参照してください。
- 縫製画面で一時的針棒設定機能が使えます。詳細は P. 121 を参照してください。
- 縫製の途中で刺しゅうを中止して電 源を切り、後で刺しゅうを再開する
 - ミシンは電源を切った後でも模様と位置を記憶 します。そして、再び電源を入れると、ミシン は刺しゅうを再開します。(P. 101「停止後、途 中からぬうときは」参照)

■ 糸切れエラーが発生する

- 上糸が糸道上を通っていることを確認します。 (P. 54 参照)
- 上糸が回転調子皿の糸調子ダイヤルに1回巻きついていることを確認します。(P.56参照)
- 回転調子皿に糸くずやほこりがたまっていないかを確認し、たまっていれば取り除いてください。(P. 207「糸調子つまみを分解して掃除する」参照)



- ① 糸道上
- ② 回転調子皿の糸調子ダイヤル

■ 糸調子が突然変わった

- 糸が、上糸こまの端の粗い部分に引っかかった。
- 上糸が糸こまの下に引っかかった。
- 糸のちりや糸くずがボビンケースの調子バネの 下にたまっている。
- 回転調子皿に糸くずやほこりがたまっていない かを確認し、たまっていれば取り除いてくださ い。(P. 207「糸調子つまみを分解して掃除す る」参照)

■ 枠がキャリッジから外れる

ピンが刺しゅう枠の取付部の穴に入っていること を確認します。(P. 49 参照) 刺しゅうする模様の位置を正確に調整したい場合 は、ミシンの電源を一旦切った後で再び入れて、 刺しゅう枠の位置をリセットする方法がありま す。

■ ミシンから刺しゅう枠を外せない

■□□●、□□●を押してキャリッジを移動すると、
刺しゅう枠を外せるようになります。(P. 83 参照)

■ 縫製をリセットし、最初から始める

画面の右上のホームキーを選びます。模様とすべ ての情報が消去されます。 (P. 42 参照)

便利な外部接続機能

ミシンの USB ポートや SD カードスロットを使って 様々な機能を楽しめます。



- ① SD カードスロット
- ② USB メディアポート(USB 2.0)
- ③ パソコン接続用 USB ポート



■ SD カードを使う場合

SD カードを使って模様データを書き込んだり、読み込んだりするときは、SD カードスロットに接続してください。



SD カードスロット
 SD カード

■ USB メディアを使う場合

USB メディアを使って模様データを書き込んだり、 読み込んだりするときは、USB メディアポートに 接続してください。



USB メディアポート
 USB メディア

、 お願い

- ↓ ●データの容量によって、処理速度は異なり ます。
- ●USB メディアポートには、USB メディア以 外のものを接続しないでください。USB メ ディアドライブが故障することがあります。

🖉 お知らせ

- ●USB メディアは広く使用されていますが、 このミシンで使用できない USB メディアも あります。詳しい情報は、ブラザーミシン のウェブサイト(http://s.brother/cpbac)に てご確認ください。
- ●使用するメディアの種類によって、USBメ ディアポートに USB メディアを直接差し込 むか、USB カードリーダー/ライターの ケーブルを接続してください。

■ パソコンにミシンを接続する

付属の USB ケーブルを使用すると、ミシンをパソ コンに接続することができます。



- ① パソコン接続用 USB ポート
- ② USB ケーブル接続コネクタ

、 お願い

- USB ケーブルの接続コネクタは決められた 方向でしか接続できません。コネクタが差 し込みづらいときは、無理やり差し込まず に、コネクタの方向を確認してください。
 - ●パソコンの USB ポートの位置や、USB ハブの 詳細については、それぞれ付属の取扱説明 書をご参照ください。

■USB マウスを使う

ミシンに USB マウスを接続すると、液晶画面の操 作がしやすくなります。 ウマークのある USB ポー トに USB マウスを接続してください。 もうひとつ の USB ポートに USB マウスを接続することも可能 です。



と お願い

- ●指や付属のタッチペンで液晶画面を押しな がら、USB マウスで同時に操作はしないで ください。
- ●USB マウスはいつでも接続/取り外すこと ができます。
- ●USB マウスの左ボタンとホイールの操作の み可能です。他のボタンでミシンを操作す ることはできません。
- ●スクリーンセーバーの起動中は、マウスの ポインターは表示されません。

USB マウスの使い方

■ キーをクリックする

マウスが接続されている間、画面にポインターが 表示されます。操作したいキーの上にマウスのポ インターを動かして、左ボタンをクリックしてく ださい。

お知らせ ●ダブルクリックによる操作はできません。



① ポインター





■ 他のページを表示する

マウスのホイールを回して、模様選択画面のタブ を選ぶと他のページを表示させることができま す。

🔎 お知らせ

ページ番号とスクロールバーが表示されているときは、表示されているページ以外にもページがあります。マウスのホイールを回したり、マウスのポインターを
 ページの上で左クリックしたりして、前後のページを表示させてください。









■ 模様の大きさを変える

P. 154「大きさを変える (通常モード)」参照。

┓ □□を押します。

2 模様の大きさを変えます。

- マウスホイールを奥へ回すと、
 を押したときと
 同じように、模様が小さくなります。
- マウスホイールを手前に回すと、
 を押したときと同じように、
 と同じように、
 模様が大きくなります。







■模様を回転する

P.92「角度を調整する」、P. 157「回転する」参照。

🔒 🕐 を押します。

2 模様を回転させます。

- マウスホイールを奥へ回すと、「
 同じように、模様が 10 度ずつ左へ回転します。
- マウスホイールを手前に回すと、10℃を押したとき と同じように、模様が10度ずつ右へ回転します。



■ 🖾 +II⊂+ 😚

第3章 その他の基本操作

7 色以上の模様をぬう場合など 2 章とは違う想定での操作や、針や糸こまを交換したいときなど状況 に応じた操作を、ケース別に説明します。

針を交換する

曲がったり、針先がつぶれた針は、新しい針と交換 してください。P.32「正しい針の見分け方」で確認 したミシン専用の針、付属の針交換ドライバーと針 交換ツールを用意してください。

針を交換する

❶ 電源スイッチの "O"側を押し、電源を切 ります。



 ● 針の交換は、必ず電源スイッチを切って 行ってください。万一、ミシンが作動す ると、ケガの原因となります。



針の止めネジをゆるめ、針を抜きます。

左手で針を持ちながら、右手で針交換ドライバーを 左に回し、針を下へ抜きます。





 止めネジをゆるめたりしめたりするときに、無理な 力を加えないようにしてください。故障の原因とな ります。



3 新しい針の平らな面を後ろ側に向けて、針 棒のストッパーにあたるまで差し込みま す。

押えの穴の下から針を通し、針交換ツールを使って 持ち上げます。



- ① 針棒のストッパー
- ② 針
- ③ 平らな面
- ④ 針交換ツール

針交換ツールは、図のように① を押すと針つかみ 金具② が出ます。金具を針に引っかけ押していた 部分を離すと、針をつかみます。針を離すときは、 再度① を押します。



① 針交換ツールの端
 ② 針つかみ金具

針を針交換ツールで押さえたまま、止めネ ジを締めます。

針交換ドライバーを右に回します。



▲ 注意

- 針は必ずストッパーに当たるまで針棒室 に差し込み、止めネジを針交換ドライ バーで確実に締めてください。針が十分 に差し込まれていなかったり、ネジの締 め方がゆるいと、針折れや故障の原因と なります。
- 針が正確に取り付けられていないと、自動針穴糸通し装置を使って糸を通すときに、フックが針穴に入ることができず、フックが折れるなどして針に糸を通すことができません。
- 自動針穴糸通し装置のフックが折れたり、壊れたりした場合は、お買い上げの販売店、または「PR/VR専用ダイヤル」にご連絡ください。

刺しゅう枠を上手に使う には

刺しゅう枠の種類や使い方について説明します。こ のミシンでは、様々なタイプの刺しゅう枠を使用す ることができます。

付属の刺しゅう枠に加え、このミシンで使用できる 刺しゅう枠が多数用意されています。(P.23「別売 品」参照)



・必ず画面に表示された使用可能な刺しゅう枠を使用してください。誤った大きさの刺しゅう枠を使用すると、刺しゅう枠が押えに当たり、ケガの原因となります。

台枠について

2種類の台枠(台枠Aと台枠B)が付属されています。 台枠Aは、付属の4つの刺しゅう枠を使うときに 使います。台枠Bは、別売の刺しゅう枠を使用す るときに使います。また、別売の丸枠セット、ク ランプ枠セット、小型枠セットについては、購入 時に指定の台枠C、DまたはEが付属しています。 各台枠へセットできる刺しゅう枠について詳しく は、P.84「刺しゅう枠/台枠の種類と用途」を参照 してください。



刺しゅう枠が取り外しにくいと きは

針棒の位置によっては、刺しゅう枠が交換しにく いことがあります。このようなときは、次の手順 に従って、刺しゅう枠を移動してください。

- - → 刺しゅう枠を取り外しやすい場所に、自動的に キャリッジが移動します。
 - **・** を押すと、針棒移動画面が閉じ、キャリッジが元の位置に戻ります。

刺しゅう枠/台枠の種類と用途

	ᇓᇗᄻᇬᅏᅸᄩ	刺しゅう範囲	4 m
	刺しゆう枠の種類		
	LL 枠	∃⊐ 300mm × タテ 200mm	】 (P.87「布地の張り方」参 照)
		文字や模様をつないで刺しゅうしたり、組み合わせたり、大きな しゅうをするときに使います。	刺
	平枠 (別売)	∃⊐ 300mm × タテ 200mm	お買い上げの販売店、または 「PR/VR 専用ダイヤル」にご
		ジャケットなどの厚地のものを刺しゅうするときに使います。	
台 枠 A	L枠	∃⊐ 180mm × タテ 130mm	(P. 87「布地の張り方」参 照)
		ヨコ 180mm× タテ 130mm 以下の大きさの刺しゅうをするときに 使います。	
	M枠	∃⊐ 100mm × タテ 100mm	(P. 47「6. 刺しゅう枠に布地 を張る」参照)
		標準サイズの模様をぬうときに使います。	_
	S枠	∃⊐ 60mm × タテ 40mm	
		ネーム入れなど小さな刺しゅうをするときに使います。 	
	キルト枠 (別売)	∃⊐ 200mm × タテ 200mm	お買い上げの販売店、または 「PR/VR 専用ダイヤル」にご 相談ください。
		キルト用のピースに刺しゅうするときに使います。	
	ボーダー枠 (別売)	∃⊐ 300mm × タテ 100mm	
枠 B		文字や模様が長くつながった刺しゅうをするときに使います。	
	縦長枠 (別売)	∃コ 70mm × タテ 200mm ⊡	
		シャツの袖など縦長のものに刺しゅうするときに使います。	
台 枠 C	丸枠 (別売)	100mm 径 130mm 径 160mm 径	お買い上げの販売店、または 「PR/VR 専用ダイヤル」にご 相談ください。
		ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー	1

		刺しゅう範囲	6 m
	刺しゆう砕の種類	用途	
	クランプS枠(別売)	∃⊐ 45mm × タテ 24mm	お買い上げの販売店、または 「PR/VR 専用ダイヤル」にご 相談ください
		靴や手袋など、通常の枠では固定できない、特殊な形状の素材にワ ンポイント刺しゅうするときに使用します。	
台枠D<別売>			
	クランプ M 枠 (別売)	∃⊐ 100mm × タテ 100mm	
		細身のバッグなど、特殊な形状の素材にワンポイント刺しゅうする ときに使用します。	
	小型枠 (別売)	70:ヨコ 70mm × タテ 41mm 50:ヨコ 50mm × タテ 50mm 44:ヨコ 44mm × タテ 38mm 縦向き:ヨコ 75mm × タテ 33mm	お買い上げの販売店、または 「PR/VR 専用ダイヤル」にご 相談ください。
台 枠 E ろ 別		小さな素材に刺しゅうするときなどに使用します。	
売 V	マグネット枠 (別売)	∃⊐ 50mm x タテ 50mm	
		布に刺しゅう枠の跡をつけたくないときなどに使用します。	
帽子枠 2	2 <i>(</i> 7)	∃⊐ 130mm × タテ 60mm	お買い上げの販売店、または 「PR/VR 専用ダイヤル」にご
		帽子に刺しゅうをするときに使います。 この枠で刺しゅうできる帽子は、野球(ゴルフ)帽、チューリップ ハット、バケツ帽です。サンバイザーや赤ちゃん用の帽子など、帽 子の正面の高さが 60mm 以下のものには使えません。また、ビサ シが 80mm より大きい帽子にも使えません。	
帽子枠	(A)	∃⊐ 130mm × タテ 50mm	お買い上げの販売店、または 「PR/VR 専用ダイヤル」にご
		帽子に刺しゅうをするときに使います。 この枠で刺しゅうできる帽子は、野球(ゴルフ)帽、チューリップ ハット、バケツ帽です。サンバイザーや赤ちゃん用の帽子など、帽 子の正面の高さが 50mm 以下のものには使えません。また、ヒサ シが 80mm より大きい帽子にも使えません。	- 1日記火 N / こ C い。
シリンダ	ダー枠(別売) <i>州</i> つで	∃⊐ 90mm × タテ 80mm	│ お買い上げの <u>販売店</u> 、または │ PR/VR 専用ダイヤル」にご │ 相談ください
		▼ シャツの袖やタートルネックなど、筒状の布地やカーブのある布 地を刺しゅうするときに使います。	

、 お願い

●ミシンでの使用可能刺しゅう枠表示では、これからぬう刺しゅう模様が入る大きさの刺しゅう枠がすべて使用可能として表示されますが、できるだけ大きさに合った刺しゅう枠を使ってください。大きすぎる刺しゅう枠を使うと、模様くずれやぬい縮みが起きることがあります。

●刺しゅう枠と布地の重さのよる台枠の湾曲を防ぐため、別売のテーブルを使用することをお勧めします。使用しないと、模様くずれが起きたり、ミシンが故障することがあります。

布地に接着芯を貼る

ぬい縮みや模様くずれを防ぐために、刺しゅう用接 着芯の使用をお勧めします。



ſÐ

① 刺しゅう枠の大きさ

2 接着芯

🏹 お知らせ

- ●オーガンジーやローンなど薄手の素材に刺 しゅうをするときは、水に溶ける水溶性 シートをお使いください。洗濯中にシート が溶け、固くならずきれいに仕上がります。
- ●タオル、コーデュロイなど起毛している布 地に刺しゅうをするときは、接着させずに 布地の上に接着芯を重ねて、刺しゅう枠に 張ってください。
- ●その他の接着芯の使い方については、P.201 「接着芯」を参照してください。

布地の張り方

LL 枠、L 枠の布地の張り方

刺しゅう枠の外枠の調節ネジをゆるめます。



調節ネジ

今本の上に、布地をピンッと伸ばしてのせます。



 外枠の表裏はありません。どちらの面が表になって も構いません。

内枠ではさみます。

3

調節ネジのある角 @、その隣の角 ®、その後に対 角の角 ©。最後に調節ネジのない角の対角の角 の順で挟み込んでいきます。



まず、②調節ネジのある角を合わせ、内枠を押し込みます。次に、⑧の矢印の方向に布地を軽く引っ張りながらたるみが出ないようにして、⑧の角に押し込みます。同様に、②の矢印の方向に引っ張りながら③の角に、⑨の矢印の方向に引っ張りながら◎の角に押し込みます。

刺しゅう枠の内側に、はさみしわができないよう注意してください。

4 さらに布地を引っ張りながら、調節ネジを しっかりと締め、布にたるみのない状態に します。



- 布地を張った後、布地を軽くたたくと太鼓のような 音がするくらいが目安です。
- 外枠と内枠の天面の高さがほぼ同じになるように、 しっかりとはめてください。



- ① 外枠
- ②内枠
- ③ 布地の表
- ④ ほぼ同じ高さになる
- 調節ネジは丸型ドライバーを使うと、しっかりと締め付けることができます。



① 丸型ドライバー

🏹 お知らせ

- ◆確実にきれいに布地を刺しゅう枠に張るために、枠張り台を使うことをお勧めします。
 - ●S 枠、M 枠の布地の張り方は、P.48「S 枠に 布地を張る」を参照してください。

刺しゅうシートを使う

布地に対して模様が水平にぬわれるように布地を 刺しゅう枠に張るには、刺しゅうシートの基準線 を目安にして張ると便利です。





内枠に刺しゅうシートを置きます。布に付けたしるしと刺しゅうシートのガイドラインを揃えます。



- ① ガイドライン
- ② 内枠



折り目やしわがなくなるように丁寧に布を 伸ばし、外枠ではさみます。



<mark>7</mark>1 刺しゅうシートを外します。



布地が大きい/小さいときは

枠に対して布地が大きかったり、小さかったりし たときの対処のしかたについて説明します。

■大きな布地や重い衣類の場合

大きな布地やジャンパーなどの重い衣類をぬうと きは、クリップで刺しゅう枠に留めるなどして、 刺しゅう枠から布端が垂れ下がらないようにして ください。垂れ下がった状態でぬうと、刺しゅう 枠の動きが悪くなり、模様くずれの原因となりま す。



クリップなどで刺しゅう枠に留めます。

■小さい布地の場合

布用スプレーのりを使って、刺しゅう枠に張った 芯に小さい布地を貼ります。布用スプレーのりを 使いたくない場合は、しつけします。



① 布地
 ② 芯

■ 布地の隅にぬう場合

布用スプレーのりを使って芯に貼ってから、刺 しゅう枠に張ります。布用スプレーのりを使いた くない場合は、しつけをします。



- ① 布地
- ②芯

■リボンテープのような細いものにぬ う場合

布用スプレーのりを使って芯に貼ってから、刺 しゅう枠に張ります。布用スプレーのりを使いた くない場合は、テープの両端を芯といっしょに刺 しゅうに張ります。



- ① リボン
- ② 芯

刺しゅう枠の位置と動き について

ミシンを操作する上で、刺しゅう枠について知って おいていただきたいことを説明します。

■ 縫製できない刺しゅう枠

P.47 で説明したとおり、画面上の使用可能刺しゅう枠で表示されている刺しゅう枠が、現在選んでいる模様をぬうことができる枠です。 ぬいたい模様より小さい縫製範囲の刺しゅう枠は、使用できません。模様の大きさが縫製範囲より小さい場合でも、縫製位置がその枠の縫製範囲から外れているときもその枠は使うことはできません。

模様より小さい縫製範囲の枠



模様がその枠の縫製範囲から外れている



このような場合は、ミシンは刺しゅう枠を交換するようにメッセージで知らせてくれます。



刺しゅう枠をセットしていない状態でも、枠の交 換が指示されることがあります。

ミシンは、台枠の左アームの位置でどの枠がセッ トされているか感知します。したがって、実際に 刺しゅう枠がセットされていない状態でも、左 アームの位置で判断します。また、台枠がセット されていない状態では、帽子枠(別売)がセット されていると判断します。

■ スタート位置への移動

縫製前の針位置は刺しゅう模様のぬい始め点(ス タート位置)にあります。 刺しゅう枠を交換すると次にセットした枠はス タート位置にありません。 例えば、スタート位置がLL枠の中心であり、S枠 に交換した場合は次のようになります。



- ① LL 枠の中心に針位置
- ② 刺しゅう枠を交換したときの針位置

スタート位置のズレがある場合には、刺しゅう枠 を自動的にスタート位置に移動します。

- ミシンの電源が入ったとき
 刺しゅう枠が移動します。
- 縫製設定画面、縫製画面で刺しゅう枠を交換し、縫 製範囲の確認・枠移動・縫製開始の各キーを押した とき

必ず動きます。

正位置に移動して一旦止まりますので、もう一度目 的のキーを押してください。

移動後、模様がその枠の縫製範囲から外れている場 合は、枠交換メッセージが表示されます。枠を交換 するか、編集画面に戻ってサイズや縫製位置を調整 してください。

思い通りの位置にぬうに は

購入時は、模様の中心からぬい始めるように設定さ れています。したがって、縫製位置にある針の針落 ち位置に模様の中心がくるように、枠を移動してぬ い位置を調整します。また、刺しゅう枠に対して布 地を平行に張ることができず、布地に対して模様が 傾いてしまう場合は、模様全体の角度を調整しま す。





- ① 移動キーを押すごとに、0.1mm ずつ移動します。
- ② 移動キーを押すごとに、0.5mm ずつ移動します。
- ③ 移動キーを押している間、最高速度で移動し続け ます。





針落ち位置に刺しゅうをぬいたい位置の中心がくる ように、刺しゅうを移動します。



- → 模様表示エリアの模様が矢印の方向に移動します。
- → 刺しゅう枠は矢印の逆方向に移動しますので、注 意してください。

🔎 お知らせ

●LED ポインターを点灯させると、針落ち位 置を示すことができます。







変更し終わったら、◎ を押します。

縫製設定画面に戻ります。

🔎 お知らせ

●この機能で微妙な角度調整をすることができますが、袋もの、筒ものなど刺しゅう枠の張り方が限定されるものをぬう場合にもこの機能を使うと便利です。
例:ピローケースにぬう場合 模様を左に90度回転してぬいます。



例:Tシャツにぬう場合 模様を180度回転します。Tシャツの襟ぐり側で はなく胴側からミシンベッドを通し、刺しゅう枠 をミシンにセットします。刺しゅう枠の移動によ り襟ぐりの伸びを防ぎます。



液晶画面上で糸色を交換 する

糸立て台の糸こまが、液晶画面で表示されている糸 と異なる色だった場合、実際の糸立て台にセットさ れている糸こまと色を合わせるために、液晶画面上 で糸色の表示を交換することができます。



 選んだ針棒番号をキャンセルするときは、同じキー をもう一度押してください。

6	- 1 +EFU
5	
キイロ	モスグリーン
4	3
アカ	オレンジ

- 3 交換するもう一つの針棒番号キーを押して ください。二つの針棒番号をつなげる矢印 が表示されます。
 - 選んだ針棒番号をキャンセルするときは、同じキー をもう一度押してください。





糸こま交換が必要かどうかを確認するには

模様を選ぶときに糸替回数は確認できますが、何 色の糸色の模様であるかは確認できません。糸こ ま交換は必要かどうか、必要な場合はいつ必要か、 次の表示で確認できます。

■ミシンが刺しゅうを停止するまでの 時間表示

ミシンが次に刺しゅうを停止するまでの時間が表示されます。ミシンは糸こま交換が必要なときや、その他の停止設定によって停止します。糸こま交換が必要なときは、糸こま交換表示が表れます。時間表示が赤くなったときは、そのときぬっている糸色をぬい終えたらミシンが停止することを表しています。



① ミシンが停止するまでの時間

■ 糸こま交換マーク(―――)

交換回数・時期は、縫製画面の糸こま交換マーク で確認できます。

 縫製画面でぬい順表示の右側のスクロール バーを動かします。



- → ■を1回押すごとに1色ずつ次の色へ、ぬい順表 示がスクロールします。最後の色が糸色順表示の 1番上にきた後は、最初の色に戻ります。
- スクロールバー上を押して表示を送ることもできます。



2

- します。表示 されている色と色の間で、表示回数分交換が必要 です。
- ② 糸色順表示を戻すとき、▲を押します。1回押すごとに1色ずつ前の色へ、糸色順表示がスクロールします。1色目の色が糸色順表示の1番上にきた後は、最後の色に戻ります。

確認し終わったら、国またはスクロール 3 バーの一番上を押して最初の色に戻りま す。

7 色以上の模様で糸こま 交換を指示されたときは

糸こま交換表示の見方と簡単な糸こま交換のしか たについて説明します。

お知らせ ●この機能は、設定画面で手動糸色割付を 「ON」に設定しているときは使用できませ ん。

糸こま交換表示について

7 色以上の模様をぬう場合糸こま交換が必要なとき は、ミシンは自動的に止まり、次の画面が表示さ れます。このほか、新しい模様をぬう場合に糸こ ま交換が必要なときも表示されます。新しい割り 当てに従って、糸こまを交換してくさい。



- 糸こま交換が必要な針棒については、赤枠で囲ま れます。
- 糸こま交換が必要ない針棒については、グレーで 表示されます。
- ③ 押すと、糸こま交換表示が閉じます。

~~ お願い

- ◆新しい糸色で糸通しするには、針棒キーを 押して交換したい針棒を縫製位置に移動し てください。(P.58「糸通しをする針棒を 縫製位置に移動する」参照)
 - ●縫製画面に進むと、現在の糸色の割り当て がミシンに記憶されます。
 - ●針棒設定が記憶され、同じ糸色を含む模様 を選んだときは、前回と同じ針棒に割り当 てられます。
 - ●割り当てられた糸色をすべて消去したいと きは、P.94「針棒設定をクリアして新たに 設定しなおす」を参照してください。

2 お知らせ

- ◆使用中の糸色で代用してしまいたい場合は、 縫製中に一時停止して設定を変えることが できます。(P. 121「一時的針棒設定」参 照)
- ●糸こま交換の手間を減らすため、よく使う 糸色を特定の針棒に決めることもできます。 (P. 122「手動針棒/縫製速度設定」参照)

簡単な糸こま交換のしかた

糸こまを交換するときは上糸のかけ直しが必要に なります。糸が正しくかけられている糸こまを交 換する場合は、簡単に交換できる方法があります。









3 糸の端に、交換後の糸こまの糸を結び付けます。





糸道下の穴の下と針棒糸かけの間で、糸を 引っ張ります。



糸の結び目が来るまで、引っ張ります。 結び目を切ります。



途中で糸が切れた/下糸 がなくなったときは

縫製の途中で糸が切れたり、下糸がなくなったりし たときは、ミシンは自動的に止まります。何針か空 ぬいがされてしまいますので、ぬわれている部分と 少し重なるようにぬい目を戻してから続きをぬい ます。

★ 願い ◆糸センサーが「OFF」になっていると、刺しゅうが終わるまでミシンは止まりません。 通常は、糸センサーを「ON」にしてお使いください。 (P. 181 参照) めい日を戻したり、進めたりするときけ

●ぬい目を戻したり、進めたりするときは、
 枠が動きますので注意してください。

上糸が切れたとき

















調整ができたら、すべての針棒でためしぬ いをして糸調子を確認します。

お知らせ

◆内蔵模様の中に、糸調子確認用の模様があります。この模様をぬって糸調子を確認すると便利です。詳しくは、P. 198を参照してください。



上糸の調子を調整する

上糸のぬい目が布地の裏側から少しのぞく程度に、 糸調子を調整してください。





- ① 糸調子つまみ
- ② 強くします。
- ③ 弱くします。
- (4) ED

→ 糸調子がうまく調整できない場合は、糸道上糸調 子つまみを回します。



- ② 強くします。
- ③ 弱くします。

■正しい糸調子

布地の裏に上糸が少し見える状態です。糸調子が 正しく調整されていなければ、布地にしわが寄っ たり、目とびが起こったりして、刺しゅうがうま く仕上がりません。



1 表
 2 裏

糸調子が正しく調整されていないときは、状況に 応じて次の手順に従ってください。



■ 糸調子が強いとき

上糸が強すぎて、表側に下糸が出ています。

B	8
1	2

① 表 ② 裏

矢印の方向に回して、弱くします。



① 赤い線

赤い線が見えたら、それ以上糸調子を弱めること ができません。下糸の糸調子を強めて、調整して ください。(P. 103「下糸の調子を調整する」参 照)



■ 糸調子が弱いとき

上糸が弱すぎて上糸がたるみ、糸の締まりがゆる くなったり、表側に糸のループができています。



- ① 表
- ② 裏

矢印の方向に回して、強くします。



+	
縫製設定について説明します。知っておくと便利な機能です。

第4章 縫製設定







109

18 アップリケピースを乾かし、必要に応じて アイロンをかけます。

と お願い

アイロンで強い力をかけないでください。
 ぬい目が損傷するおそれがあります。

- お知らせ
 ●輪郭のぬい目は、サテンステッチになります。
 - ●のりが押えや針、針板などに付着することがありますので、縫製後、きれいに拭き取ってください。

各針棒の糸色を選択する /管理する(手動糸色割 付)

各針棒に割り当てられている糸色は、手動で指定したり、管理したりすることができます。さらに用途によっては、糸色の再割り当てを省いたり、通常の設定より効率よく色を割り当てることができます。

手動糸色割付の利便性

次のような刺しゅうをするときは、手動糸色割付 を使用すると便利です。

■ DST ファイルのような糸色情報がな い刺しゅうデータを刺しゅうすると き

糸色情報を持たないデータに使う糸こまを、簡単 に選択できます。(DST ファイルの糸色情報の詳 細については、P.200「タジマフォーマット(.dst) の刺しゅうデータの色について」を参照してくだ さい。)

■同じ糸色の組み合わせを常に使うとき

特定の糸色が特定の針棒に割り当てられている場 合は、模様が変更されたときでも、針棒への糸色 割り当てを維持したまま糸色設定を変更すること ができます。同じ糸色を常に使用する場合、操作 が簡略化されます。

■同じ針棒設定で、連続して刺しゅう する場合

通常設定の場合、ミシンの停止後に縫製設定画面 が表示された時点で、針棒設定は解除されます。 ただし、手動糸色割付で設定した針棒設定は、模 様が削除されるか、またはミシンの電源を切るま で、適用されます。 同じ模様を連続して複数回刺しゅうするときは、 この機能を使うと便利です。



■ 糸色設定を初期化する

手動糸色割付では、新しい模様を選択するとミシンの糸色情報は初期化され、針棒に割り当てられます。前回の模様の糸色情報に関係なく、針棒が割り当てられます。

手動糸色割付の注意点

■7色以上の糸色を含む模様を刺しゅ うするときは

手動糸色割付では、糸こま交換の停止時期を画面 で確認できません。通常の針棒設定のように、ミ シンは自動的に停止せず、糸こま交換時の停止 メッセージは表示されません。P.111の手順3 で設定するか、P.120「次の糸替え時に停止する」、 「縫製前にポーズ位置を指定する」の手順に従っ て、停止時期を設定してください。

縫製スキップ設定

1

模様の特定の糸色部分に縫製スキップ設定(その糸 色だけぬわないようにする設定)をかけることがで きます。これにより、模様自体を編集することなく、 ぬいあがりをアレンジできます。

特定の糸色に縫製スキップ設定 をする

縫製	設定画面で、 💼 を押します。
	\$+ 0.0 mm 0 0.0° ↔+ 0.0 mm
	## 🗂 📶 🕬
	▲ ¤ック 🗈 😰 +11⊂> 💝

→ 針棒番号を選択する画面が表示されます。



 ● 変更したい糸色が隠れている場合は、右横のスク ロールバーで表示させます。



- ① スクロールバー
- → 選択した糸色が青く囲まれます。

 同じ糸色が2回以上使用されている場合に、その糸 色を一括して選択することができます。糸色を選択 してから、 を押します。キーが に変わり、 最初に選択した糸色と同じ糸色がすべて青くハイラ イトされ、操作の対象となります。





∭を押します。



→ WWマークが表示され、この糸色をぬわないことを示します。



- MMマーク
- ② ぬわない部分は、非表示になります。



設定し終わったら、 を押します。

- お知らせ
 - ・文字模様に対して縫製スキップ設定をする
 と、文字列全体に縫製スキップ設定がかか
 ります。
 ・文字ずつ設定したい場合は、文字模様を
 - 分割する(P. 159参照)か、または色替え キー(P. 160参照)を使用します。 色替えキーを使って縫製スキップ設定をし た場合、色替えキーはOFFにできません。
 - ●縫製スキップ設定をかけた部分は、削除されるわけではありません。ぬう設定に戻すこともできます。(P. 114「縫製スキップ設定を解除する」参照。)
 - ●すべての糸色に対して縫製スキップ設定を した場合は、模様の位置に、赤い……が表示 されます。



① 赤い[[]]

- ●一旦電源を切っても、電源を切る前に設定した縫製スキップ設定は解除されません。 新しく同じ模様を選んだ場合は、解除されます。
- ●縫製スキップ設定をした模様を記憶すると、 縫製スキップ設定も記憶されます。
- ●ただし、全ての糸色を縫製スキップ設定している場合は保存できません。

縫製スキップ設定を解除する

設定を解除する糸色を選択して、 // を押します。

- → キーが に変わり、縫製スキップ設定が解除 されます。
- ■ が ON になっている場合は、選択した糸色と同じ糸色すべてについて、同時に設定が解除されます。

自動止めぬい設定

模様のぬい始めと糸替え後のぬい始め、糸切り前に ほつれ止めのための止めぬいを自動でするように 設定できます。

購入時は、模様のぬい始めと糸切り後のぬい始め、 糸切り前ともに、自動止めぬいをするように設定 されています。

■模様のぬい始めと糸切り後のぬい始めに止めぬいをする

┌──を押して、 ━━━ にします。
└ 「 「 「 または
\$+ 0.0 mm () 0.0° ↔+ 0.0 mm () 5
 キーを1回押すごとに、切り替わります。
□ □
 お知らせ ぬい始めの長さが 0.8mm より短いと、止めぬいが不要となるため、自動止めぬいはされません。 設定画面で渡り糸切りを「OFF」に設定した場合は、自動止めぬいはされません。 (P. 186「渡り糸切り/DST 設定」参照)



ぬい始め/終わり位置設 定

刺しゅう模様のぬい始めとぬい終わりの針位置を、 模様の左上、左中央、左下、上中央、中心、下中央、 右上、右中央、右下の9点のいずれかにそれぞれ設 定できます。

この機能を使うと斜めの繰り返しぬいができます。

縫製設定画面で設定します。

購入時は、ぬい始め/終わりとも中心に設定され ています。

|॑॑॑॑॑॑॑॑



→ ぬい始め/終わり位置設定画面が表示されます。



① ぬい始め位置を指定します。

② ぬい終わり位置を指定します。

反転されたキーは現在選択されている設定です。

例



③ 押すと、この画面を閉じます。

■ ぬい始め位置を指定する

▶ 希望のぬい始め位置のキーを押します。

→ ぬい始め位置を指定すると、自動的にぬい終わり 位置も同じ位置に指定されます。

→ 刺しゅう枠がぬい始め位置に移動します。







縫製最高速度設定

縫製最高速度を、1 分間に 400 ~ 1000 回転の間の 100 回転ごと7 段階から設定できます。帽子枠、シ リンダー枠、クランプ枠を使用時は 400 ~ 600 回転 の間の 50 回転ごと5 段階から設定できます。

縫製最高速度表

, 丸村	剋しゅう枠/平枠/ 砕/その他の刺しゅう枠	帽	子枠/シリンダー枠/ クランプ枠
1	1000	1	600
2	900	2	550
3	800	3	500
4	700	4	450
5	600	5	400
6	500	-	_
7	400	-	_

縫製画面で設定します。

購入時は、1000 回転に設定されています(帽子 枠、シリンダー枠、クランプ枠は 600 回転)。

枠の種類については、P.84「刺しゅう枠/台枠の種類と用途」を参照してください。

速くしたいときは
 一を押します。



→ - +の左側にある数字が変わります。

🔎 お知らせ

- ●縫製最高速度は、手動針棒設定で特定の針棒に設定できます(P.122参照)。特定の針棒に遅い縫製速度を設定しているとき、この機能を使用して残りの針棒の縫製速度を設定することはできません。この場合、この機能では手動針棒設定で特定された針棒の縫製速度を設定することができます。
 - ●薄い布地や厚い布地、重い布地は遅い速度 に設定してください。また速度を遅くする ほど、縫製音は静かになります。
 - ●縫製の途中でも、ミシンを停止させずに設 定を変更することができます。
 - ●縫製最高速度設定は、設定を変更するまで 変わりません。電源を切っても、設定内容 は記憶されています。
- ●メタリック糸のように弱い糸をお使いの場 合は、縫製速度を 400 回転に設定してくだ さい。

<u>糸替え時停止設定</u>

ミシンはいつでも止めることができますが、縫製の 途中で止めると次のぬい始めは、ぬい目を少し戻さ なくてはなりません。糸替え時に止めるとぬい目の 調整をしなくてすみます。

次の糸替え時に停止する

次の色をぬう前でミシンを停止することができま す。

● ミシンを停止したい糸替え時の前の色部分 をぬっているときに ■●を押して、 ■● にし ます。



- 現在ぬっている色の部分をぬい終えると、 次の針棒に移動し、ぬい始める前にミシン が止まります。
 - → 100 は 100 に戻ります。
 - ここで一旦電源を切って続きをぬう場合は、次に電 源を入れたときにミシンが続きをぬうか、新しく模 様を選ぶかを選択できます。

○K を選ぶと、続きからぬうことができます。(P. 101「停止後、途中からぬうときは」参照)

縫製前にポーズ位置を指定する

を押して表示されるポーズ指定画面で設定できます。





→ 糸色編集画面が表示されます。



 変更したい糸色が隠れている場合は、右横のスク ロールバーで表示させます。

	J <u>1</u>		
\bigcirc	Ra		
	x1/2		
	オレンジ	(III)	MM
	Þ240		
	77		
	7110		
	20		
	סיבל		
	オレンジ		ок

- ① スクロールバー
- → 選択した糸色が青く囲まれます。
- 同じ糸色が2回以上使用されている場合に、その糸 色を一括して選択することができます。糸色を選択 してから、 を押します。キーが こでという、 最初に選択した糸色と同じ糸色がすべて青くハイラ イトされ、操作の対象となります。





選んだ模様を複数の色ではなく1色でぬうことも できます。色替え時にはミシンの動きが遅くなり ますが、そのまま止まらず、模様が仕上がるまで 刺しゅうが続きます。 連続した刺しゅうに使いたい糸の通った針 棒のキーを押します。 1 P ▶=== 6 **1** キミドリ モスグリーン 2 オレンジ 3 5 お願い アカ 4 +10 モスグリーン 4 3 オレンジ +10 5 アカ T 戻る +11-+ A ロック [?] 1を押します。 ● 刺しゅう中の糸替えが行われず、選んだ模様が1色 で刺しゅうされます。 P 1 ▶==FIJ 6 モスグリーン 1 キミドリ オレンジ 1 5 2 アカ 1 +10 モスグリーン 4 3 キイロ 1 1 オレンジ 戻る → 糸色順表示と模様が、選択している針棒の糸色1 色で表示されます。 ● もう一度 ■ を押すと模様の元々の設定に戻りま す。 A お知らせ ●連続刺しゅうを設定した場合でも、DST糸 切り機能を使用することができます (P. 186 参照)。 ●刺しゅうが終わると、連続刺しゅうがキャ ンセルされます。

連続した刺しゅう(1色の場合)

手動針棒/縫製速度設定

通常、糸色の割り当てはミシンが自動的に行います が、特定の針棒に任意の糸色を自分で設定すること ができます。設定を行うと、その針棒はミシンの自 動割り当ての対象から外れ、常に設定した糸色が割 り当てられます。

よく使う糸色を設定しておくと、糸こま交換の手間 を省くことができ便利です。

また、縫製最高速度を特定の針棒に設定できます。 メタリック糸のような弱い糸を特定の針棒にセッ トするときに便利です。

この機能は、縫製画面では設定できません。
 通常モードでは、糸色割り当てと縫製速度の設定ができる針棒は5本です。設定画面で手動糸色割付を「ON」に設定すると、6本すべての針棒に設定できます。手動糸色割付モードで6本の針棒に設定してから、通常モードにしたときは、6番針棒の設定は自動的に解除されます。
 P. 110「各針棒の糸色を選択する/管

理する (手動糸色割付)」参照

1度糸色割り当てと縫製速度を設定すると、解除するまで有効です。

設定画面の3ページで設定します。



21 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 1] 22				ń
	6		1		-
	5		2		
	4		3		
³⁰	6			- +	42
	6				271-
		3/6			е 🖓 > 2011 СК



1 から ● の設定したい針棒の番号キーを 押します。



① 選択した針棒番号が青色に変わります。

3割り当てる色を選びます。



- ① 大きく表示されている口が選ばれている色です。
- ② 選択した糸の色と、糸色名が表示されます。
- ③ キーを押すと、矢印の方向に選ばれている口が動きます。
- セット を押します。

4



→ 手順 3 で選んだ糸色が設定されます。
 ① 糸こまに糸色と ♀ マークが表示されます。

5 - ±を押して、色を割り当てた針棒の縫 製最高速度を設定します。



① 縫製最高速度の設定値

X

お知らせ ●メタリック糸のように弱い糸を針棒にセットした場合は、縫製速度を 400 回転に設定してください。

●縫製画面で縫製最高速度を速く設定した場合(P. 119参照)でも、常にここで設定した速度が、設定した針棒に有効になります。



- Andrewski Withersen	6	.	1	400spm アカ
≠ 1□	5		2	モスグリーン
ም ክ	4		3	オレンジ

① 糸通し禁止キー





■ 設定を解除したいときは

設定し直したいときは、一旦解除してから設定し 直してください。





① 選択した針棒番号が青色に変わります。



① ��が消えます。

2

→ これで針棒設定が解除されました。





① 糸通し禁止キー

🖉 お知らせ

▲ ●設定を解除した針棒に他の糸色を割り当て る場合は、P. 123の手順3からの手順に 従って設定します。 <u>第5章 模様の選択/編集/記憶</u>

刺しゅう模様の選び方、編集のしかた、記憶のしかたについて説明します。

刺しゅう模様の記憶 い お願い ●処理速度は、保存されているデータ容量に よって異なることがあります。 刺しゅうデータに関する注意 ●USB メディアの種類によっては、このミシ ンで使用できないことがあります。使用可 能な USB メディアについての詳細は、ブラ このミシンで作成・記憶したデータ以外の刺しゅ ザーソリューションセンター うデータを扱うときは、次の点に注意してくださ (http://s.brother/cpbac)でご確認ください。 610 ●USB メディアを差し込むと、アクセスラン プが点滅します。認識するまでに5~6秒 かかります。 (USB メディアの種類によっ ▲ 注意 て、認識するまでの時間は異なります。) ● 当社正規の模様以外の刺しゅうデータを 使用する際は、糸密度が細かすぎる場合 ∦ お知らせ や3回以上の重ねぬいをする場合があり、 ●フォルダーを作成する場合は、パソコンを 糸切れや針折れが発生するおそれがあり 使用してください。 ます。そのような場合は、当社正規の ●フォルダー名、および模様データのファイ データ作成装置(刺しゅうPROなど) ル名には、英数字、またはダッシュ(-)、 アンダーバー(_)を使用することができ で、刺しゅうデータを修正してご使用く ださい。 ます。 ■使用可能な刺しゅうデータの種類 ■ ミシンとパソコンの接続 ● このミシンで扱える刺しゅうデータは、.pen、.pes、 接続するパソコンが、以下の動作環境を満たして .phc、.dst ファイルのみです。当社正規のデータ作 いることを確認してください。 成装置およびミシンで記憶された模様以外のデータ ● 対応機種: を扱うと、ミシンが誤作動するおそれがあります。 USB ポート標準装備の IBM-PC またはその互換機 ■ 使用可能な USB メディアの種類 → 対応 OS: Microsoft Windows 7, Windows 8.1, Windows 10 模様データを USB メディアへ記憶したり、USB メ ■ パソコンでデータを作成・保存する ディアへ記憶した模様データを呼び出したりする ことができます。使用できる USB メディアの種類 ときの注意 は次のとおりです。 ● フォルダー名、および模様データのファイル名に ● USB フラッシュドライブ (USB フラッシュメモリー) は、特殊記号やコンマ(,)、ピリオド(.)を使用し ● USB フロッピーディスクドライブ ないでください。フォルダー、または模様データを 正しく識別できないおそれがあります。フォルダー 呼び出しのみが可能な刺しゅうデータ 名およびファイル名には、英数字、またはダッシュ ● USB CD-ROM、CD-R、CD-RW ドライブ (-)、アンダーバー(_)のみを使用してください。 ヨコ300mm×タテ200mmより大きな刺しゅうデー また、市販の USB メモリーカードリーダー/ライ タは扱うことができません。(デザインはすべて、 ターで、次の USB メディアを使用することもでき デザイン領域ヨコ 300mm× タテ 200mm 内にして ます。 ください。) ● SD カード ● 針数、色数の制限を超えて記憶した.pes ファイルは • コンパクトフラッシュ 模様が表示されません。当社正規のデータ作成装置 で、制限内(針数 50 万針、色替え 127 回まで)の ● メモリースティック ● スマートメディア 模様に修正してご使用ください。 ● マルチメディアカード (MMC) ● USB メディア内に作成されたフォルダーに格納され た模様データは、本機で読み込むことができます。 ● xD ピクチャーカード リムーバブルディスクにはフォルダーを作成しない でください。フォルダーを作成し、フォルダー内に

刺しゅうデータを記憶した場合、ミシンで模様デー

タを表示することはできません。

■ タジマフォーマット(.dst)の刺 しゅうデータについて

- .dst データのファイル名に全角文字を使用すると、
 ミシンが模様データを正しく認識できないおそれが あります。
- タジマフォーマット(.dst)には、模様の色情報がありませんので、どの模様を選択しても当社指定の糸色順で表示されます。画面上で、でき上がりを確認しながら、糸色変更でお好みの色に変更してください。

USB メディア(市販品)につい て

- 分解したり改造しないでください。
- 無理に曲げる、落とす、傷つける、上に重いものを 載せることはしないでください。
- 水・溶剤類・飲み物など、液体でぬらさないでください。
- 強い静電気、電気的ノイズの発生しない環境で使用、保管してください。
- 振動や衝撃が加わる場所、直射日光の当たる場所、 糸くず等のほこりっぽい場所、高温多湿の場所、温 度差の激しい場所、スピーカー等の強い磁気の近く で使用、保管しないでください。
- 刺しゅうデータの呼び出し中は、振動や衝撃を与えたり、ミシンから取り出さないでください。
- USB メディア内のデータは、誤操作や事故などで消失・破損することがあります。重要なデータは、 バックアップをお勧めします。
- USB メディアの種類によっては、このミシンで使用 できないことがあります。使用可能な USB メディ アについての詳細は、ブラザーソリューションセン ター (http://s.brother/cpbac) でご確認ください。
- USB メディアは、必ず USB メディアのアクセスラン プが点滅していない状態で抜いてください。
- USB メディアは、差し込んだ後5秒以上経過してから抜いてください。
- USB メディアについては、お買い求めの USB メディ アに付属の取扱説明書もよく読んで取り扱ってくだ さい。

刺しゅう模様を選ぶ

このミシンには、刺しゅう模様が内蔵されていま す。それらの模様のほか、刺しゅうカード(別売)や USBメディア(市販品)、SDカード(市販品)、パ ソコンから模様を呼び出すことができます。

基本的な模様の選び方

模様の種類によって多少違いがありますが、基本 的には次の手順で選びます。



■ 模様選択画面



- ① 刺しゅう模様
- ② 枠模様
- ③ 文字模様
- ④ モノグラムと枠デザイン
- ⑤ 実用刺しゅう模様/ボタンホール模様
- ⑥ 装飾アルファベット
- ⑦ ミシンに記憶した刺しゅう模様
- ⑧ USB メディアに記憶した刺しゅう模様
- ⑨ パソコン (USB) に記憶した刺しゅう模様
- ⑩ SD カードに記憶した刺しゅう模様







文字を選びます。 1つの文字に対し、まず対応する字形タブを押した 上で、文字を入力します。配置したい文字数分、字 形タブ選択、文字入力を繰り返します。 ABB ABC ABC - 1 1 1 2 戻る セット ı, [?] +11-+ 0 T ABB ABC A & C A & P & H 💕 T I K I K K K A P Ļ 1 - 2 ■ • • **► B C E # B** セット 戻る) III +11-+ \odot 2 1 866 A | 8 | C | D | 8 | P | 8 | H | 💕 I J K L M N O P ┛ O R S P U V N X Y] [2 2 戻る セット ı, 11 ← 11 ← +

- * 文字の形がすべて同じであるため、字形タブを都度選ぶ 必要(選択肢)はありません。
- 字形タブ
- ② 文字のフォントを変更するには、 ■● を押して デザイン選択画面に戻ってください。
- → 選んだ文字が、テキストプレビューエリアと模様 表示エリアに表示されます。



- ① テキストプレビューエリア
- ② 模様表示エリア
- ③ 誤った文字を選んだ場合や、他の文字を選んだ場合は、 を押して文字を削除し、文字を押し直してください。
- ④ 改行キー

お知らせ

- デザインによっては、文字数があらかじめ 設定されていますが、設定された文字数を 超えても文字を入力することができます。
 選んだ文字が多すぎる場合は、 ● を押し て文字を削除します。
- ●モノグラム作成ではない他の文字模様の場合と同様に、お好みで複数の文字を選んで使用することができます。

<u>∧</u> 必要に応じて文字の編集をしてください。

文字の編集について詳しくは、P.131「文字模様」
 を参照してください。



- ① 文字の大きさを変更します。
- ② 文字の配列を調整します。
- ③ 文字揃えを変更します。

■文字の大きさを変更する

最初の文字を選んだ後、その文字が希望の大きさ になるまで このを押します。

- 次に選ぶ文字も、ここで新たに設定した大きさになります。
- 文字を組み合わせた後では、入力したすべての文字の大きさを変えることができなくなります。(模様 全体の大きさは、編集画面で変更することができます。)

■文字を選択する

テキストプレビューエリアと模様表示エリアの両 方で、文字を選択することができます。



- ① 直接文字を選択します。
- ② を押してカーソルを移動し、文字を選択します。



→ 書体選択画面が表示されます。





- この画面で配列を変更すると、より多くの文字を入 力することができます。
- お知らせ
 ●文字の途中で改行している場合、配列の変
 更は選択している文字を含む行のみに適応
 されます。

■ 文字揃えを変更する

 ■■を押すと、文字揃えを変更できます。希望の 文字揃えになるまで、■■■を押してください。
 ■■が表示されている場合は、文字は左揃えで並んでいます。

H I	39.0mm 49.2mm	+ +	÷	
		Luu Col	cky or	
i	20.2 mm \$	+ 12.0 mm	0 0.0° ■ 1	



■■が表示されている場合は、文字は右揃えで並んでいます。



■ 横書き/縦書きを切り替える

日本語フォントを選んだとき、
目を押すと、日本語の文字(ひらがな/カタカナ/漢字)の横書き/縦書きが切り替わります。





模様を選びます。

選びたい模様キーを押します。



→ 模様表示エリアに模様が表示されます。



 ●まちがえて模様を選んだときや模様を選び直したい ときは、選びたい模様キーを押し直します。



① 押すと、模様を反転できます。

n"

[?]

+11_+

厚る

- 5 **を押します。** これで模様の選択が確定されます。
 - → 編集画面が表示されます。

■ アップリケアルファベット ≪▲ を押します。 1 ¥1 106 $\square \bigcirc$ MAR A AA akc ÷ 4 🗈 👔 +11즈+ 😂 → 装飾アルファベットカテゴリー一覧が表示されま す。 ▲Bを押します。 2 13. 2 AB AB A 7142 2 AB AB AB AΔ \mathcal{AB} AΔ AB 戻る IZI +II⊡+ 🔗 1 → アップリケ模様の一覧が表示されます。 下段で模様を選びます。 3 選びたい模様キーを押します。)5 D lL



① 押すと、サイズを変更できます。

→ 模様表示エリアに模様が表されます。 記憶したい模様を表示した状態で、縫製画 1 面ででを押します。 降122.0mm 108.5mm A 23.2mm E. □122.0mm + + 0.0mm ○ 0.0° 108.5mm + + 0.0mm ■ 3 \$+ 0.0 mm ○ 0.0* +++ 0.0 mm 圖 5 12 戻る 121 ## 🗂 🛒 🖽 ●まちがえて模様を選んだときや模様を選び直したい ■21 +11**□**+ ときは、選びたい模様キーを押し直します。 🖉 を押します。 ● を押します。 2 Δ これで模様の選択が確定されます。 ●記憶をやめる場合は キャンセルを押します。 → 編集画面が表示されます。 お知らせ Z ●ぬい方については、P. 193「アップリケ模 ~ • Corà 様のぬい方」参照してださい。 刺しゅう模様をミシンに記憶す キャンセル る → 記憶されると、自動的に元の画面に戻ります。 ■ メモリーがいっぱいの場合 編集した模様やよく使う模様をミシンに記憶して おくことができます。例えば、名前や、回転させ 次の画面が表示された場合は、すでに保存されて たり大きさを変更したりした模様、縫製位置を変 いる模様の数が、保存可能な最大数に達している 更した模様などをミシンに記憶しておくと便利で か、保存しようとしている模様の容量が大きすぎ す。合計で約 10MB の模様を保存することができ るため、保存できません。 ок を押してすでに保 ます。 存されている模様を削除すると、新しい模様が保存できます。詳細は、P. 138「ミシンに記憶した 刺しゅう模様を呼び出す」参照を参照してくださ お願い ●「記憶中」の画面が表示されているときは、 110 絶対に電源スイッチを切らないでください。 記憶されている模様データが消えるおそれ ? があります。 容量が不足しています。 模様を消去しますか? お知らせ ●模様の記憶には数秒かかります。 キャンセル ●記憶した模様の呼び出しかたは、P.138「ミ シンに記憶した刺しゅう模様を呼び出す」 を参照してください。

-

ок



●USB ポートには、USB メディア以外のもの は絶対に差し込まないでください。故障の 原因となります。

●SD カードスロットには、SD カード以外のも のは絶対に差し込まないでください。故障 の原因となります。

キャンセル を押すと、保存せずに元の画面に戻ります。



→「記憶中」の画面が表示されます。記憶されると、 自動的に元の画面に戻ります。



刺しゅう模様をパソコンに記憶

付属の USB ケーブルでミシンとパソコンに接続し、 刺しゅう模様を一時的に呼び出して、パソコンの 「リムーバブルディスク」フォルダーに保存しま す。「リムーバブルディスク」には約 5MB の刺 しゅう模様を保存できます。ただし、ミシンの電 源を切ると保存された刺しゅう模様は削除されま

パソコンとOS について詳細は、P. 125「ミシンと パソコンの接続」参照を参照してください。

> ●「記憶中」の画面が表示されているときは、 絶対に電源スイッチを切らないでください。 記憶されている模様データが消えるおそれ



● USB ケーブルは、パソコンやミシンの電源の ON / OFF に関係なく、それぞれの USB ポートにつなぐこ とができます。



- ① パソコン接続用の USB ポート
- ② USB ケーブルコネクタ
- → パソコンの「コンピューター (マイコンピュー タ)」に「リムーバブルディスク」のアイコンが 表示されます。



- パソコンの電源を入れて「コンピューター (マイコンピュータ)」を選びます。
 - 縫製設定画面で、記憶させたい模様を表示 した状態で

 した状態で

 ・

 ・

 ・

 こ

 ・

 に

 した状態で

 ・

 ・<br

ю.	23.2 mm 36.3 mm	· •••			•
		A			
‡+ ++	0.0 mm (0.0 mm (0.0* 5			
_			-	^	٦.
	0 🖻		· ·	•	>
			L	~	ч
			Þ	+	+++
•			Þ	+	H
1	11.11		Ð		60(S)
	A			-	



● **キャンセル**を押すと、保存せずに元の画面に戻ります。



- → 模様は、「コンピューター (マイコンピュータ)」 の「リムーバブルディスク」に一時的に保存され ます。
- 5 「リムーバブルディスク」内にある模様の .phc ファイルを選び、ファイルをパソコン にコピーしてください。

整理▼ 共有▼ 書き込む 新しいフォルダー	E • 🗍 (
☆ お気に入り 回 ライブラリ	
/● コンピューター 999999465.phc	
θ ₀ ≄γ1·2−2	

ミシンに記憶した刺しゅう模様 を呼び出す



→ ミシンに保存されている模様が表示されます。







■ ヨコ 300mm×タテ 200mmよりも大 きな模様について

ヨコ 300mm× タテ 200mm よりも大きな模様を 選択すると、以下のメッセージが表示されます。



∞ を押して、模様を 90 度回転させてから開いて ください。

90 度回転させてもヨコ 300mm× タテ 200mm よ りも大きな模様のデータの場合は、以下のメッ セージが表示されます。



◎ を押して模様一覧画面に戻ってください。

```
            <sup>お願い</sup>
            ● 300mm×タテ200mmよりも大きな模様については、SDカード、USBメディア、パソコンのいずれから選択した場合でも、同じ操作を行ってください。
```

■ 呼び出したい模様を呼び出せないと きは

パソコンからの模様データの呼び出しは、パソコ ンから直接データを読み込むのではなく、模様 データをミシンに一時的に書き込み、その書き込 まれた模様データを呼び出しています。合計で約 10MBの模様を「リムーバブルディスク」にコ ピーすることができます。そのデータ量を超える と模様データを呼び出すことができません。



 ミシンの USB エリアの空き容量を示します。その 範囲の容量の模様データを追加して呼び出す(一時的に書き込む)ことができます。

空き容量より大きい容量の模様を呼び出したいと きは、現在書き込んでいる模様を削除してから呼 び出したい模様をフォルダーに入れます。

パソコンの「リムーバブルディスク」の中の不要な模様データを削除します。

模様データを選んでゴミ箱に入れるか、クリックを して削除を選びます。

- 「リムーバブルディスク」に呼び出したい 模様をコピーします。
 - → ミシンへの書き込みが終了すると、ミシンの画面 にその模様キーが表示されます。
- 3 模様が書き込めない場合、手順 1 ~ 2 を 繰り返します。


Link 機能~パソコンから ミシンへ刺しゅうデータ を転送する~

このミシンは、Link 機能に対応しています。この機能を使用すると、Link 機能付きの刺しゅう編集ソフトウェア(刺しゅう PRO NEXT およびそれ以降の バージョンなど)で編集した刺しゅう模様を、パソ コンから複数の刺しゅうミシンへ転送することが できます。1台の刺しゅうミシンへ100個の刺しゅ う模様を転送することができます。また、転送中の 模様の刺しゅう状態をパソコンの画面で見ること

付属の USB ケーブルで、ミシンとパソコンを接続 してください。

Link 機能を使ってできる操作

■複数の刺しゅう模様を接続された刺しゅうミシンに送る



■ 刺しゅうミシン (このミシン)の縫 製状態をパソコンからチェックする

(複数のミシンの接続例)



お知らせ 複数のミシンをパソコンに接続する場合は、 市販の USB ハブを使用してください。電源 内蔵タイプの USB ハブを使用することをお 勧めします。USB 延長ケーブルやリピー ターケーブルは使用しないでください。 USB ハブについて詳しくは、USB ハブの操 作説明書を参照してください。

Link 機能を使って刺しゅうする

まず、刺しゅう編集ソフトウェアを使用してパソ コンで刺しゅうミシンに転送する刺しゅう模様を 作ります。

上 お願い

- ●Link 機能を使って刺しゅうできるのは、PES 形式 (.pes) と PEN 形式 (.pen)の刺しゅう データです。
- ●Link 機能は、分割模様(P. 196 参照)には対応していません。
- ●刺しゅうミシンに送信する模様の大きさに 合った刺しゅう枠を取り付けてください。



8 ミシンに刺しゅう模様が転送されると、縫 製画面が表示されます。

→ 刺しゅう模様が、Link 機能のアイコン付きで模様 表示エリアに表示されます。



- ① Link 機能のアイコン
- ② 10 桁のミシン ID
- ③ 処理待ち中の模様の数
- 模様を消すときは、
 の

🖉 お知らせ

- ●刺しゅうミシンをパソコンに接続している 間は、刺しゅう編集ソフトウェアの機能を 使用してミシンの状態が表示されます。複 数の刺しゅうミシンを同時に接続している 場合は、ミシンの画面に表示されている 10 桁のミシンIDを使用してミシンの状態を チェックしてください。パソコンでは、以 下の情報を見ることができます。
 - ミシンの状態
 - ・ ミシンから取得した縫製中の刺しゅう データの情報(次にミシンが停止するま での時間、色替え数、縫製時間、最大縫 製速度、模様の大きさ、ミシンで使用中 の枠サイズ)

刺しゅう模様の刺しゅう設定を変更するに は、
MMBEを押してください。

以下のメッセージが表示されたら、ox を押します。
 キャッセルを押すと、縫製画面に戻ります。

総制た土中、		しいですか	12
種級をキャノ	6110 (949	00109/	۰r

→ 縫製設定画面が表示されます。

必要に応じて設定を変更した後、 を押し、 後製画面に戻ります。



● ▲ ¤ック を押してから、スタート/ストッ プスイッチを押して刺しゅうを開始しま す。

→ 刺しゅうが終わったら、以下のメッセージが表示 されます。

かりの1天1米にしる 9 かい	

> 刺しゅうを停止するか、同じ模様をもう一度刺しゅ うするには キャンセル を押します。

 ◆ 頼しゅうが終わった後、 ● 頼しゅうが終わった後、 ● 頼しゅうが終わった後、 ● を押して縫製 を続けた場合でも、手順 ● で指定した縫 製画面設定が記憶されます。

お知らせ ●刺しゅう中に刺しゅうミシンの電源を切る と、次に電源を入れたとき、続きからぬう ことができます。













刺しゅう模様を個別に編 (編集画面)

「編集画面」では個々の模様の編集を行います。編 集結果は模様表示エリアで確認できます。

画面の模様を拡大表示する

最大で通常表示の2倍で、模様を拡大表示できま





- → 模様表示エリアが拡大表示に切り替わります。
- 🔍を押すたびに、拡大倍率が 125%、 150%、200%と大きくなります。



- 模様表示エリアの ^ く > ∨ を押すと、表示 されていない範囲を表示できます。
 - ●模様のない余白部分をタッチしても、表示 エリアを動かすことができます。
- 通常表示に戻すときは、拡大倍率が 100% になるまで

 にな

模様を組み合わせる

刺しゅう模様と枠模様、内蔵の文字と別売の刺 しゅうカードの模様など、いろいろな模様の組み 合わせが簡単にできます。

- 1
- ■■を押します。



→ 模様選択画面に戻ります。



- 模様選択画面で模様の追加をやめる場合は、
 ▲
 ▲
 ■
 を押します。編集画面に進みます。模様を 選んでいないときは、使用できません。
- 2 模様を選んで、 🔤 を押します。
 - P. 126 ~ 141 の手順で模様を選び、追加します。



- 模様を選ぶと、常に模様表示エリアの中心に配置されます。
- 3 組み合わせたい模様分、手順 1 ~ 2 を繰り返します。

えんしん お知らせ

 ●個々の模様の位置の調整や編集は、編集画 面でできます。模様を選ぶごとに表示され る編集画面でも、組み合わせをしたいすべ ての模様を選び終わってから表示される編 集画面でも、同じようにできます。

編集する模様を選ぶ

複数の模様を組み合わせている場合は、いくつか ある模様パーツのうち、編集対象となる模様を選 びます。

🎦 🚺または 🔽を押します。

赤い枠で囲まれている模様が編集対象となる模様で す。

編集したい模様が赤枠で囲まれるまで、◀または ▶を押します。



→ 模様を選んだ順または逆順で、模様が選ばれてい きます。



① 編集対象を示す赤い枠

る お知らせ

●編集画面では、複数の模様を組み合わせている場合は、●編集する対象となる模様を選んで、②その模様を編集する、が編集の基本手順になります。





移動させたい方向の矢印キーを押します。



→ 矢印の方向に模様が移動します。



🖉 お知らせ

- ● を押して、組み合わせた模様をグルー プ化できます。(P. 153「複数選択した模様 をグループ化する」参照)
- 移動する前の位置(刺しゅう枠の中心)に戻したと
 きは、
 を押します。



模様は、ドラッグして移動することもできます。 USB マウスを接続している場合は、移動したい模様 にマウスポインターを合わせ、左ボタンを押しなが ら、模様をドラッグします。





縮小/拡大率 90 ~ 120% の間で、大きさを変更で きます。針数を変えずに拡大/縮小します。



→ 次の画面が表示されます。

1

● 模様表示画面に、模様回転ハンドルが表示されます。大きさを変えながら、模様を回転することができます。模様の回転について詳しくは、P.157「回転する」を参照してください。







• >

ы

編集終了

• >

1









【または ▶ で模様を選び、 💶 で文字間



文字間で糸を切る

文字間糸切りを設定すると、文字間の渡り糸がな くなり、縫製後の渡り糸の処理を省くことがで きます。ただし、文字ごとに糸切りを行うので 縫製時間が長くなります。











→ 糸色編集画面が表示されます。



- 糸色順表示の青枠でハイライトされた糸色が、色 を変える対象となります。
- ② 色替回数を示します。上段は糸色順表示の1番上 の色の部分の順番、下段が総色替数を示します。
- ③ 同じ糸色をすべて一括して選択したい場合に使用 します。
- ④ カラーシャッフル機能を使います。ミシンが提示する新しい配色からお好みの配色を選び、模様全体の色調を変更します。(P. 163「カラーシャッフル機能を使って、新しい配色を設定する」参照)
- ⑤ 糸色順表示を戻します。
- ⑥ 色パレット この中から色を選びます。
- ⑦ 色パレットの色を選ぶときに使います。
- ⑧ 糸色順表示を進めます。
- ⑨ 色を選んだら、押します。
- ⑩ 押すと、この画面に入ったときの色に戻ります。

2 色を変更したい糸色を、糸色順表示から選んで押します。

 ● 変更したい糸色が隠れている場合は、右横のスク ロールバーで表示させます。



- ① スクロールバー
- → 選択した糸色が青く囲まれます。

 同じ糸色が2回以上使用されている場合に、その糸 色を一括して選択したいときは、糸色を選択してか ら、 を押します。キーが に変わり、最初に 選択した糸色と同じ糸色がすべて青くハイライトさ れ、操作の対象となります。



- 模様を直接押して色を変えたい模様の部分を選択す ることもできます。
- 3 ▲ ▲ ▶ ▼を押すか、希望の色を直接 押して、パレットの中から新しい色を選び ます。



- ① 大きく表示されている口が選ばれている色です。
- ② 選んだ色の糸色名が表示されます。
- → 模様表示エリアでは、糸色が変更された状態で模様を確認することができます。





- → 色の変更が確定されます。
- → 編集画面に戻ります。

▶ お知らせ

●色パレットは、お手持ちの糸色などを自由に組み合わせて作り変えることができます。お手持ちの糸を色パレットに登録し、そのパレットを使って模様の色を変更すると、お手持ちの糸色で糸こまが割り当てられ、画面に、より実際の仕上がりに近い色で模様を表示させることができます。(P. 171「ユーザーパレットを作る」参照)

カラーシャッフル機能を使って、 新しい配色を設定する

■ カラーシャッフル機能について

選択した模様に、ミシンが新しい配色を提示しま す。4つの配色モード(ランダム、ビビッド、グ ラデーション、ソフト)の中からお好みモードを 選ぶと、そのモードの色合いに変更された見本イ メージが表示されます。



→ 糸色編集画面が表示されます。



1

☞ を押します。

64 300 P J 9 Es. ページュ オレンジ シュイロ 77 7110 20 シュイロ ◙ ≫ ок オレンジ

 ● この画面で № を ON にしておくと、オリジナルの 配色において同じ糸色が使われている箇所はすべ て、ミシンが提示する新しい配色においても、同じ 糸色になります。



使用する糸色数を選び、お好みの配色モー ドを選びます。



① 刺しゅう模様に使用する糸色の数

② 配色モード

Δ

●「ランダム」か「グラデーション」を選択する場合は、P.165の「「ランダム」か「グラデーション」を選んだ場合」の手順に従って操作してください。

え お知らせ

- ●手順 ④ で指定する糸色数は、選択した模様 の糸替回数以下に設定してください。
- ●「PES」形式の模様を呼び出して使う場合、 設定画面の PES 糸コード優先が「ON」に設 定されていると、ミシンのパレットに登録 されていない糸色は配色されません。 選択した PES 形式の模様の糸色をすべて 使って配色したい場合は、PES 糸コード優 先を「OFF」に設定してください。(P.185 「「PES」形式データの糸色情報を優先させ る」)





- 🔎 お知らせ
- ____ 配色を確認し、 ੑ ᡂ⊢ を押します。

 - を押すまで、
 5
 で模様を選択したページの 配色見本から、模様を選択できます。
 - ほかの配色見本を表示するには、
 または
 ▶ を 押します。



→ 色編集画面に戻ります。



■「ランダム」か「グラデーション」 を選んだ場合

- - → 使用する糸色を選択しない場合は、「オート」を 選択します。



「ランダム」の場合

6 色までの糸色を選択できます。 選択した糸色を使った、ランダムな配色が生成さ れます。



- ① パレットから糸色を選択します。
- ② 選択した糸色が表示されます。
- ③ 配色に使用されている色にピンマークがつきます。不要な色のピンマークを消したい場合は、ピンマークのついた色を2回タッチします。

「グラデーション」の場合 希望の糸色を一色だけ選択できます。 選択した糸色を使った、グラデーションが生成さ れます。



- ① パレットから糸色を選択します。
- ② 選択した糸色が表示されます。
- ③ 配色に使用されている色にピンマークがつきます。不要な色のピンマークを消したい場合は、ピンマークのついた色を2回タッチします。

○K を押します。
 → 生成された配色の見本イメージが表示されます。
 ● P. 165 5 の手順から操作を続けてください。

糸色並べ替え

糸こま交換の回数を最小限にして刺しゅうするこ とができます。

刺しゅうを始める前に、 IIII を押して縫製順を糸色 で並べ替えます。

縫製画面



縫製設定画面



縫製画面



縫製色順が糸色で並べ替えられました。

糸色並べ替えをキャンセルして、縫製色順に刺 しゅうするには の を押します。

えんしょう お知らせ

















- ▲または▼で、ユーザーパレットをスクロール します。
- ◇ を押すと、元の糸色設定に戻せます。
- 直接画面を押して、糸色(300色の刺しゅう糸)リストから色を選ぶこともできます。



- 糸色変更の数を示します。上の値は糸色順表示の 選択されている色のぬい順を示し、下の値は、糸 色変更の総回数を示しています。
- ② 糸色順表示の青枠でハイライトされた糸色順表示は、色が変更されている部分です。
- ③ 糸色順表示の1つ前の糸色に移動します。
- ④ 糸色リストです。このリストから色を選びます。
- ⑤ これらの矢印を使用して、糸色リスト内の色選択 を進めます。
- ⑥ このキーを押すと元の色に戻ります。
- 糸色順表示の次の糸色に移動します。
- → 画面には変更された色が表示されます。

🔼 📧 を押します。

ユーザーパレットを保存する/ 呼び出す

ユーザーパレットは、データファイルとして USB メディアへ保存することができます。また保存さ れたデータは、USB メディアから呼び出すことがで きます。



■USB メディアにユーザーパレットを 保存する

❶ USB メディアを、ミシンの USB ポートに差 し込みます。

> USB メディアの接続について詳しくは、P.76「USB メディアを使う場合」を参照してください。



① USB ポート
 ② USB メディア

3











→「記憶中」と表示されます。保存が完了すると、 自動的に元の画面に戻ります。





刺しゅう模様全体を編集 する(縫製設定画面)

縫製設定画面では、編集画面で組み合わせをしな かった場合は1つの模様に対して、組み合わせをし た場合は模様全体を1つの模様として編集します。 また矢印キーは、編集画面では模様を移動するため に使いましたが、縫製設定画面では枠を移動するた めに使います。キーを押すと、枠が動きますので注 意してください。



組み合わせの編集

花アルファベット模様に文字を組み合わせてを編 集してみましょう。





→ 模様は刺しゅう範囲の中心にレイアウトされま す。

[?]

1

セット

 Θ

+11-+

戻る







19 すべての編集が終わったら、 3337 と



→ 縫製設定画面が表示されます。



 ・ を押すと編集画面に戻り、編集をし直すこ とができます。
基本設定とヘルプ機能

P.42 で紹介した設定キー、ミシンの使い方キーの使用方法を説明します。ミシンの基本設定の変更をしたり、画面上で操作のしかたなどを調べたりできます。

設定キーの使い方

■■ (設定) キーを押すと、いろいろなミシン本体 の基本設定を変えることができます

設定画面の見方

設定画面は6ページあります。画面下の◀、▶を 押して、目的のページを表示します。 は全 ページで表示されます。

■1ページ

ん う 音

箕



- ① USB メディアに現在の設定画面を画像として保存 できます。
- ② このキーのあるページの設定項目を工場出荷時の 内容に戻します。
- ③ 模様表示エリアのガイド(中心表示(針位置)、 グリッド)表示を設定できます。(P. 182 参照)
- ④ 糸色表示の変更 ぬい順表示や糸替え表示、糸色順表示の色情報 は、糸名、糸ブランドおよび糸番号または縫製時 間に切り替えることができます。(P. 184 参照)
- ⑤ PES 糸コード優先 ミシン設定、あるいは刺しゅう編集ソフトウェア の設定に従い、「PES」形式データの糸色を表示す ることができます。(P. 185 参照)
- ⑥ 縫製エリアの表示色/模様キーの表示色 刺しゅうの色に応じて、縫製エリアおよび模様 キーの表示色を変更すると、より見やすく、選び やすくなる場合があります。(P. 186 参照)





- ⑦ 渡り糸切り/DST 設定 渡り糸の糸切りする/しないを設定できます。タ ジマフォーマット (.dst)の刺しゅうデータを使う 場合は、ジャンプコード数の指定により糸切りす る/しないを設定できます。(P. 186 参照)
- ⑧ 小ピッチ削除
 小ピッチのステッチを削除するときの、ピッチの
 長さを設定できます。(P. 187 参照)
- ③ 糸残り量の設定
 糸切り後に針穴に残る(針穴から出ている)上糸の長さを設定できます。(P. 187 参照)
- ① しつけ設定 模様としつけぬいとの距離を指定します。0.0mm から 12.0mm の間で設定できます。
 購入時は 5.0mm に設定されています。この機能を 使用する場合は、P.107「刺しゅうのしつけぬい」 を参照してください。
- ① 縫い始めスピード
 ミシンが縫い始めてから最高速度に到達するまでの速度を切り替えることができます。

レ お願い

●⑦DST 設定および ⑧ 小ピッチ削除は、新た に設定を変更した場合、それが適用される のは次の刺しゅうからになります。

■3ページ



 ¹

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

特定の針棒に任意の糸色を設定できます。ここで 設定された針棒は、解除するまで設定された糸色 が割り当てられます。また、特定の針棒に縫製最 高速度と、糸通し禁止を設定できます。この機能 は縫製画面からは設定できません。設定のしかた は、P.122「手動針棒/縫製速度設定」を参照して ください。

■4ページ



- ③ エコモードまたは電源オフサポートモードを設定 します。(P. 188 参照)
- ④ スクリーンセーバー
 スクリーンセーバーに切り替わるまでの時間を選び、スクリーンセーバーの画像を変更します。
 (P. 188 参照)
- ③ オープニング画面 ミシンの電源を入れたときにオープニング画面を 表示するかしないか(ON / OFF)を設定すること ができます。 オープニング画面を「ON」に設定すると、ミシン の電源を入れた時にオープニング画面が表示され ます。画面に触れると最初の模様選択画面が表示 されます。
- ⑥ LED ポインター
 LED ポインターを点灯するかしないか(ON / OFF)を設定することができます。
- ⑦ ライト
 針もとライトの明るさを調整することができます。「OFF」(消灯)または、明るさを「1」から「5」の照度で調整できます。購入時は、「5」に設定されています。(P. 19参照)
- 18 スピーカー

操作音(画面のキーや操作パネルのボタンを押したときに鳴る音)やアラーム音(エラーの発生を通知する音)の音量を変更することができます。 スピーカー音量は、「OFF」か「1」~「5」の範囲で設定できます。「OFF」を選択すると、スピーカーから音が聞こえなくなります。購入時は、「3」に設定されています。(P. 20参照)

■5ページ



- ⑩ Link (リンク)
 Link 機能の ON / OFF が設定できます。
 (P. 143 参照)
- ② ネームモード ネームモードの ON ∕ OFF が設定できます。 (P. 146 参照)
- ② 手動糸色割付
 手動糸色割付機能の ON / OFF が設定できます。
 (P. 110 参照)
- ② 糸センサー 糸センサーの ON / OFF を設定します。 糸センサーが「OFF」に設定されていると、糸が 切れるか、ボビンに糸がなくなっても、刺しゅう が終わるまでミシンは停止しません。糸センサー は、「OFF」に設定する必要がある場合を除き、必 ず「入」に設定してください。 購入時は、「ON」に設定されています。

、 より お願い

- 通常は、糸センサーを「ON」に設定します。糸センサーが「OFF」に設定されていると、上糸がからまってもミシンが検出できません。糸がからまったままミシンの使用を続けると、ミシンが破損するおそれがあります。
- ② マウスポインター
 USB マウスを接続しているときに表示されるポインターの形を選択することができます。
 背景の色に応じて、3 種類の形の中から選べます。
 購入時は、

 に設定されています。
- * この設定はミシンの電源を切った後も、保持され ます。
- 単位 長さの単位を、mm、inch から選ぶことができま す。購入時は、「mm」に設定されています。
- 図 画面の明るさ 液晶画面の明るさが調整できます。数字が大きい 方が明るくなります。購入時は、「4」に設定され ています。
- ◎ 言語 画面の表示言語を選ぶことができます。 購入時は、「日本語」に設定されています。

■6ページ



- ⑦ トータル針数カウンターは、ぬわれた針数の総数 を示し、トリップ針数カウンターは、ミシンの前 回のメンテナンス以降にぬわれた針数を示しま す。
- トータル時間カウンターは、ミシンがこれまでに 使用された総時間を示し、トリップ時間カウン ターは、前回のメンテナンス以降にミシンが使用 された時間を示します。
- * ②、20のカウンター数値は、ミシンの定期メンテ ナンスを受けられる時期の目安としてご利用くだ さい。
- ◎「プロダクト No. ##」は、このミシンの番号です。
- ⑦ バージョン
 このミシンにインストールされているソフトウェアのバージョンを示します。(P. 224 参照)

レ お願い

↓●ミシンのアップデートについては、「PR/VR 専用ダイヤル」にお問い合わせいただくか、 「http://s.brother/cpbac」をご覧ください。

次の項から、各設定の説明をします。設定をし終わったら、

で

を押して、設定画面を開く前の画面に戻ってください。

🏹 お知らせ

┛ ●縫製中に変更できない設定もあります。

■ 刺しゅう枠のサイズ ガイド表示を切り替える 設置されている刺しゅう枠を自動で認識して表示 します。 模様表示エリアに表示されるガイドは、表示を切 り替えることができます。台枠と刺しゅう枠の種 A 類は、実際にセットしている台座と刺しゅう枠を 自動で認識して表示します。 LL枠 設定画面の1ページで設定します。 [300mm × 200mm] <u>ک</u> A • 枠表示 2 A 平枠 (別売) 300 mm 3 [300mm × 200mm] 1 Ì◀▶॑ 4 ① 設定するガイドがどのように表示されるか、ここ L枠 で確認します。 [180mm × 130mm] 2 台枠の種類 台枠の種類を表示します。 ③ 枠範囲 実際にセットしている刺しゅう枠の大きさを表示 します。 M枠 ④ 中心表示、グリッド表示 [100mm × 100mm] 中心表示、グリッド表示の種類と表示/非表示を 設定します。 ■ 台枠の種類 設置されている台枠を自動で認識して表示しま S枠 $[60 \text{mm} \times 40 \text{mm}]$ す。 台枠が設定されていない場合、「帽子枠/シリン ダー枠」が表示されます。 ***** A B • 枠表示 A キルト枠(別売) [200mm × 200mm] + 200 mm ボーダー枠(別売) 台枠 A (付属) P Α [300mm × 100mm] В 台枠 B (付属) С 台枠 C (別売) D 台枠 D (別売) 縦長枠 (別売) [70mm × 200mm] E 台枠 E (別売) ð 帽子枠/シリンダー枠(別売) P.84「刺しゅう枠/台枠の種類と用途」を参照し てください。







🎧 お知らせ

- 通常、ぬい順表示や模様表示エリアの模様の糸色は、専用色(ミシン内蔵の色パレットの色)で表示されます。ぬい順表示や色替え表示、糸色順表示の糸番号は、その色に一番近い、ここで設定したブランドの色番号が表示されます。したがって、仕上がりの色とは多少色味が異なっていることがあります。
- ●液晶画面で表現される色と実際の糸色は異なることがあります。

「PES」形式データの糸色情報を 優先させる

ミシン設定、または刺しゅうPRO・ハートステッ チズDL(刺しゅう編集ソフトウェア)の設定に従 い、「PES」形式データの糸色を優先して表示する ことができます。 (糸色のミシン設定については、P.184「糸色表示を 切り替える」を参照してください。) 設定画面の1ページで設定します。 ON:刺しゅうPRO・ハートステッチズDL(刺しゅ う編集ソフトウェア)に従った糸色情報の表示 購入時は、「ON」に設定されています。



◎▶または◎₅₅を押して設定します。







エコモードまたは電源オフサ ポートモードを設定する

エコモードまたは電源オフサポートモードを設定 すると、ミシンの電力を節約することができます。 特定の時間、本機を使用しないでいると、次のい ずれかのモードに入ります。

エコモード:

スリープモードに入ります。刺しゅうを続けるに は、画面に触れるか、スタート/ストップスイッ チを押します。

電源オフサポートモード:

ー定期間後に電源が切れます。刺しゅうを再開す るには、一度電源を切り、再度電源を入れます。

ミシンの状態	エコモード	電源オフサポート モード
設定可能な時間	OFF、10 ~ 120 (分)	OFF、1 ~ 12 (時間)
スタート/ ストップスイッチ	緑色の点滅	緑色のゆっくり した点滅
停止する機能	ライト、画面表示	全機能
復帰後	停止前の動作から再 開します。	電源を切る必要が あります。

これらのモードから復帰するには、スタート/ス トップスイッチを押すか、画面に触れてください。

設定画面の4ページで設定します。







スクリーンセーバーの設定を変 更する

■スクリーンセーバーが表示されるまでの時間を設定する

ミシンを一定時間操作しないと、スクリーンセー バーが起動します。 「切」(0)から「60」分までの間で、1分単位で 指定することができます。 購入時は、「5分」に設定されています。 設定画面の4ページで設定します。

┏ ■または ▶ で、時間を選びます。



■スクリーンセーバーの画像を変更する

ミシンのスクリーンセーバーにお好みの画像を使 用することができます。

スクリーンセーバー画像を変更する前に、パソコンか USB メディアにその画像を保存してください。

購入時は、ミシンにあらかじめ設定されている画 像が使用されます。 設定画面の4ページで設定します。

対応している画像ファイル

ファイル形式	JPEG 形式(.jpg)
ファイルサイズ	1 ファイル最大 2MB
解像度	800 × 1280 ピクセル以下(幅が 800 ピクセルより大きいときは自動 的に 800 ピクセルまで縮小されま す。)
設定できるファイル数	5 ファイルまで

、 お願い

- ◆スクリーンセーバー画像は、著作権に抵触しない範囲でご使用ください。
- ●SD カードに保存された画像は、スクリーン セーバーに選択することはできません。パ ソコンか USB メディアを使用してくださ い。
- ●ファイル選択時、ミシンからはパソコン、 または USB メディアのフォルダー階層を認 識することができます。



ミシンの使い方キーの使 い方

このミシンに、ミシンの基本操作など取扱説明書に 準じた内容が記憶されています。 (ミシンの使い方キー)を押して「使い方」または「動画」を選 ぶと、その内容を確認することができます。

使い方を見る

■各項目の内容

各部の名前とはたらき

ミシンの重要な部品とそれぞれのはたらきを表示 して説明します。



基本操作

基本的な糸かけおよび枠張りの操作方法などを図 示します。



トラブルチェック 問題解決のための基本的なガイドです。

各部の名称とはたらき	基本操作
D-97109289	お手入れ
ミシンが動かない	糸調子が合わない
針が折れる	上糸が切れる
下糸が切れる	ぬい目が飛ぶ
刺しゅう模様がくずれる	上糸のぬい目が浮く (ルーピングの発生)
布に針による傷か穴がある	布にしわが寄っている
自動糸通しができない	刺しゅう枠を着脱できない
ぬっているときの音が高い (ガタガタと音がする)	

お手入れ

ミシンのメンテナンス方法を示します。

Boothiciancose	基本操作
トラブルチェック	8 9 72,93

戻る				
	в	[2]	+11-+	9

例)上糸の通し方を知りたいとき





→ ミシンの使い方画面が表示されます。



操作キー

►	再生
	停止
Ш	一旦停止
×	10 秒戻る
M	10 秒送る
M	はじめに戻る
\odot	繰り返し
	ビデオ削除(ミシン本体から再生し ている場合)
	ミシンに保存 (USB メディアから再 生している場合)

▶ お知らせ

●よく見るビデオは、ミシンの ፪ (お気に入 り) に保存し、そこから再生することがで きます。

5 動画の再生が終わったら、 ■□∞ を押します。

MPEG-4 (MP4) 動画を再生する

ご自分の MP4 動画を、USB メディアから再生でき ます。また、例えば、作品づくりの参考になる MP4 動画をミシンに保存し、見たいときに再生す ることもできます。

再生できる動画

MP4 形式:Video - H.264 / MPEG-4 AVC、Audio - AAC サイズ:450(縦)×800(横)



3 す

動画が保存されているデバイスを選択しま す。



[. 操作説明の動画を再生します。

ミシンに保存した動画(お気に入り)を再生します。

→ : USB ポートに接続した USB メディアから動画 を再生します。

・マウス用 USB ポートに接続した USB メディアから動画を再生します。

こシンに挿入した SD カードから動画を再生します。

* 前の画面に戻るには、 📧 を押します。

4 再生したい動画を選択します。
bPocket
* 前の画面に戻るには、 ■● を押します。
5 動画を再生します。
* 操作キーで操作します。(P. 191「操作説明の動 画を見る」参照)
6 動画の再生が終わったら、 ■● を押します。

応用ぬいのテクニックや、きれいな刺しゅうに仕上げるためのポイント、ミシンのお手入れと困った ときの対処方法などを紹介します。

アップリケぬい

アップリケのぬい方を説明します。

アップリケ模様のぬい方

刺しゅうの中にはアップリケを使用した模様があ ります。糸替え表示に「アップリケピース」、 「アップリケノイチ」、「アップリケ」と表示された 場合は、以下の手順でアップリケをします。「アッ プリケピース」、「アップリケノイチ」、「アップリ ケ」は同じ針棒に割り振られます。

* 糸色表示設定によって または かんしょうに表示されることがあります。



① ミシンが停止する位置に
 ⑦ マークが表示されます。

■ アップリケの手順

- アップリケをしたい布地の裏側に、接着芯を貼ります。
- 手順1のアップリケ布を刺しゅう枠に張り、「アップリケピース」をぬいます。 アップリケピースの切り取り線をぬってミシンは止まります。



引しゅう枠からアップリケ布を外し、ぬい 目の上をていねいに切り取ります。



- このときぬい目よりも内側を切ると、アップリケを するときに布地に糸がかからなくなりますので、ぬ い目の上をていねいに切ってください。この作業を ていねいに行わないと仕上がりが汚くなります。ま た、糸はきれいに取り除いてください。
- 子ップリケの土台布を刺しゅう枠に張り、 「アップリケノイチ」をぬいます。アップ リケの位置をぬって、ミシンは止まりま す。



 5 切り取ったアップリケピースの裏側に、の りまたはスプレーのりを薄く付け、手順
 4 の「アップリケノイチ」に合わせて貼り付けます。



可溶性の布を使ってアップリケピースを土台布に貼り付ける場合は、土台布を刺しゅう枠から外さずにアイロンをかけてください。





分割模様をぬう

刺しゅう PRO バージョン 7 以降で作成した分割模様をぬうことがきます。大型の刺しゅう模様の場合は、刺しゅう枠よりも大きな刺しゅうデザインが複数のセクションに分割され、それぞれのセクションをぬい終わった後にそれを組み合わせて1つの模様を作ることになります。

分割模様の作成およびより詳しいぬい方について は、刺しゅう PRO に付属している取扱説明書を参 照してください。

以下の手順は、USB メディアから下図の分割模様を 呼び出し、刺しゅうする方法を説明しています。



- 1 作成した分割模様が保存されたメディアを ミシンに接続し、刺しゅうしたい分割模様 を選びます。
 - 模様の呼び出しについて詳しくは、P.139「USB メ ディア/ SD カードから刺しゅう模様を呼び出す」、 P.140「パソコンから刺しゅう模様を呼び出す」を 参照してください。



→ 分割模様の場所を選択するための画面が表示されます。



● 部位をアルファベット順に選びます。

 通常の模様キーの大きさでは、最大で 10 の部位を 1 つのページに表示できます。模様の部位数が 11 以 上の場合は、▲または マページを切り替えてくだ さい。模様キー(大)では、最大で 4 つの部位を 1 つのページに表示できます。模様キー(小)では、 21 の部位を 1 つのページに表示できます。



3 必要に応じて、模様を編集し、

・

を押し

ます。



- 詳しくは、P.151「刺しゅう模様を個別に編集する (編集画面)」を参照してください。
- 4 模様の大きさを確認した上で、適切な布地 と刺しゅう枠を選びます。
 - 組み合わされた模様の大きさに合った布地を選ぶようにしてください。
- 5 布地の適切な部分に刺しゅう枠をセットし ます。この場合は、布地の左上の部分に刺 しゅう枠をセットします。



 ① 布地の中央







色パレットについて

ミシン内蔵の色パレットとユーザーパレットについて補足説明します。

通常、ぬい順表示や糸替え表示、糸色順表示の糸 こま、模様表示エリアの模様の糸色は、専用色 (ミシン内蔵の色パレットの色)で表示されます。 ぬい順表示や糸替え表示、糸色順表示の糸番号は、 その色に一番近い、設定画面の1ページで設定し たブランドの色番号が表示されています。した がって、仕上がりの色とは多少色味が異なってい ることがあります。

それに対し、お手持ちの糸を任意に設定するユー ザーパレットは、ミシンに内蔵されている色ライ ブラリーから1色ずつブランド名とその糸番号で 糸色を指定して作る色パレットですので、その糸 色オリジナルの色で表示されます。

ユーザーパレットを設定した上で、このパレット から糸色を選んで模様の色を変更すると、より仕 上がりに近い色で模様を確認できます。

お手持ちの糸色を登録し、是非、ご活用ください。 (P.171「ユーザーパレットを作る」および、P.172 「ユーザーパレットから色を選ぶ」参照)

通常色表示 (購入時) の色パレット



ユーザーパレット



タジマフォーマット(.dst)の 刺しゅうデータの色について

タジマフォーマット(.dst)には、模様の色情報 がありません。形だけの部分の集合で作られてい ます。

例えば、次の刺しゅうデータは、タジマフォー マット(.dst)では、



となっています。

そこで、模様の部分を分かりやすくするため、こ のミシンでタジマフォーマットデータを扱うとき は、自動的に当社指定の糸色順で色が付けられて 表示されます。この糸色は、模様のデザインに関 係なく、適当な色が部分のぬい順に従って付けら れていますので、例えば、果物のオレンジの色が 青になっていたり、模様のデザインによっては違 和感のある色付けになってしまうこともあります。 タジマフォーマットデータを扱うときは、画面上 ででき上がりイメージを確認しながら、糸色編集 画面で色を変更してお使いください。

タジマフォーマットデータを頻繁に扱う場合は、 手動糸色割付を使うことをお勧めします。糸こま に設定した色に従って、直接、糸色設定を変更で きます。設定画面で手動糸色割り当てを「ON」に 設定します。(P.110「各針棒の糸色を選択する/ 管理する(手動糸色割付)」参照)

きれいな刺しゅうに仕上 げるために

よりきれいな刺しゅうに仕上げるために、糸、刺 しゅう枠、接着芯について、注意していただきたい ことを説明します。

糸

刺しゅう糸は高価なものですので、取り扱いには 万全の注意を払ってください。どんなに良い糸で も、きちんと縫製するためには正しく保管する必 要があります。特に、糸がお客様のもとへ届いて から実際にミシンでご使用になるまでの期間は注 意してください。刺しゅう糸は、過度の熱や光、 または湿気のように、損傷を与えるようなものが ない環境で保管してください。

刺しゅう糸は、できるだけ清潔でほこりのない場 所に保管してください。また、煙や蒸気、ガスの 出る場所も避けてください。ガスヒーターのよう な家庭用の器具、またはディーゼルエンジンから 出るガスによって、糸が黄色くなることがありま す。

直射日光は、刺しゅう糸にとって有害となります。 糸の入った箱は、開けたままにして直射日光にさ らされないようにしてください。直射日光に長期 間さらしておくと、刺しゅう糸が色あせするおそ れがあります。

温度や湿度もまた、刺しゅう糸にとって有害とな ることがあります。温度は 15 ~ 25 ℃、湿度は 40 ~ 60% が理想的な保存条件です。カビを防ぐため に、これらの条件をできるだけ一定に保つように してください。高温すぎる場所に保存すると、糸 が弱くなり最終的には糸が切れるおそれがありま す。湿気が多いと、糸の品質に悪影響を及ぼすこ とがあります。確実に糸が傷まないよう保管する には、保存している未使用の糸を頻繁にチェック して、保存状態・条件が良好かどうかを確認して ください。

保存状態の良い糸を使用すると、制作時間を向上 させることができます。(糸の強度、密度や重量 は、縫製のしやすさと縫製中の糸切れ回数、なら びに作品の仕上がりにも影響します。)

糸切れの回数は、生産量に影響します。糸が切れ てから通し直す時間が約20秒かかると仮定すると、 糸切れ1回につき1日(7.5時間)最低でも0.07% の生産減になります。1日につき糸切れ回数を14 回削減すると、生産を1%以上向上させることがき ます。

接着芯

接着芯は、刺しゅうする布を固定させるために使 用します。誤った種類の接着芯を使用すると、布 が刺しゅう枠内で動いてしまい、刺しゅうがずれ るおそれがあります。接着芯は、タオル地やコー デュロイ、ピケニットのような毛羽のある布を刺 しゅうするときには、必ず使用してください。縫 製する布の種類に応じて、種類別の接着芯を使用 します。

刺しゅうに使える接着芯は、切るタイプ、はがす タイプ、溶けるタイプ、粘着タイプの4種類があ ります。この4種類は、それぞれ重さとサイズ、 生地が異なります。特定の布に使用する接着芯を 選ぶときは、デザインのぬい目数、ぬい方とサイ ズを考慮してください。

また、接着芯が伸びないことを確認してください。 種類によっては、垂直方向や水平方向には伸びな くても、対角線方向に伸びるものがあります。<u>こ</u> のような種類の接着芯は使用しないでください。縫 製中に伸びて、デザインがずれることがあります。

1. ポリエステル製メッシュの切るタイプの接 着芯

接着芯がぬった表面に透けないため、薄い色の布 に使用します。仕上がったものを軽くてやわらか いタッチで安定させたい場合、例えば、赤ちゃん の衣服などにこの種類の接着芯が適しています。

2. 切るタイプの接着芯

普通~重いニットに適しており、織物にも使用で きます。ぬい目数が多くても耐えることができ、2 ~3枚重ねて使用することで、さらに膨大なぬい 目数にも耐えることができます。また、衣服の内 側を外側と同じように見栄え良くしたい場合は、 切るタイプの黒い接着芯が適しています。黒い接 着芯は、白い接着芯に比べて透けにくいため、あ わい色や薄い色の衣服に使用することをお勧めし ます。

3. **粘着タイプ(はがして貼る)の接着芯** 曲げにくい(固め)布に使用します。この接着芯 は粘着面を上にして枠の下側に付け、縫製する部 分の外側の表面に布を接着できるようにします。 刺しゅうが終わったら、布を外し余分な部分は捨 ててください。これを繰り返します。

4. はがすタイプの接着芯

キャンバス地やポプリン、デニムのような普通の 重さの織物と、丈夫な布に使用します。この接着 芯は、2枚以上重ねて使用することで、多くのぬい 目数に耐えることができます。この種類の接着芯 は織り込まれていないので、縫製が終わった後に、 刺しゅうデザインの端から簡単にはがすことがで きます。はがすタイプの接着芯にも黒色がありま す。

5. 水に溶けるタイプの接着芯

タオルのような素材を刺しゅうするときに、毛羽 が縫製のじゃまにならないようにするために使用 します。毛羽のあるタイプで刺しゅうできる布は、 タオル地やコーデュロイ、ベルベット、フェイク ファー等があります。これらの布は、毛羽の繊維 が刺しゅうデザインのぬい目からはみ出て、仕上 がりが悪く見えることがあります。それを防ぐた めに、水に溶けるタイプの接着芯を使うことに よって、表のぬい目をきれいに仕上げます。この タイプの接着芯は、レースや他のモチーフを刺 しゅうするときに、仕上がり部分のみの接着芯と して使用することもできます。刺しゅうが完成し た後に簡単に布からはがして取ることができ、 残った部分も水で洗い流すことができます。

枠張りのテクニック

「よい仕事にはよい道具を使いなさい」というの は、私たちが常に耳にする言葉です。これは、刺 しゅう業界にも言えることです。間違った種類の 刺しゅう枠を使用すると、縫製時にデザインが揃 わなかったり、制作したものが破れたりすること があります。完璧なデザインでも、それに合うよ うに設計された枠のサイズや種類、手法を誤って 使ったために、結果が台なしになることがありま す。

■ 枠の基本

筒枠-この種類の枠を使用すると、筒状の布や筒 状に縫製した衣類を刺しゅうすることができま す。布の裏側まで糸を通すことなく、布の表面に 刺しゅうすることができます。

帽子枠 - これらは、帽子を固定するための特別な 刺しゅう枠です。帽子に刺しゅうする場合は、こ の刺しゅう枠を使用してください。

刺しゅう枠と接着芯-刺しゅう枠に張った布と接 着芯は、完全に平らで、しわやすき間が入らない ように注意してください。しわやすき間を取り除 くときは、布と接着芯を一緒に伸ばしてくださ い。布と接着芯を伸ばすときに、強く引っ張りす ぎないよう注意してください。伸ばしすぎると、 枠を取り外したときに、完成したデザインにしわ が入ることがあります。また、デザインとデザイ ンの間に割れ目ができることがあります。

内枠と外枠の調節-外枠は調節ネジで調節することができます。布を張った後、内枠をはめたときにたるみを感じたら、調節ネジを締めてください。ただし、きつく締めすぎると布にしわが入ったり、調節ネジのネジ山がすり減ったりするおそれがありますので、注意してください。

■ 厚手の布地に刺しゅうするときは

布地が外枠と内枠の間ですべり、正しく刺しゅう 枠に張れないときは、マスキングテープやバイア ステープを外枠に巻いてください。テープの摩擦 で、布地がすべりにくくなります。



布/接着芯の適合表

布/衣服	裏張りの枚数	表張りの枚数	詳細
タオル地	はがすタイプ 1枚	水に溶ける タイプ 1枚	密度または縦ぬい幅を大きくしてください。細かい模 様や小さな文字は、毛羽の輪に引っかかりやすくなり ます。
サテンのジャ ケット	厚い裏地 なし 薄い裏地 または裏地 なし はがすタイプ 1枚 はがすタイプ 1枚	なし	布が枠の中ですべるとまっすぐぬえなくなりますの で、マスキングテープや布のバイアステープを内枠に 巻いてください。こうすると表面が粗くなるため布が つかみやすく、また、枠が焼けるのを最小限にするこ ともできます。
綿の敷布	はがすタイプ 1枚	なし	密度の濃いものや、細かいデザインの場合は、裏張り を増やしてください。この場合は、厚い裏張り1枚で はなく、薄い裏張りを2枚使ってください。
デニム	はがすタイプ 1枚	なし	針が熱くなったり糸が切れたりするときは、縫製速度 を遅くしてください。
帽子	任意	任意	バックラムの裏張りを使用すると針が鈍くなりやすい ので、通常よりも頻繁に針を交換するようにしてくだ さい。軽い裏張りを使用すると、糸切れが減り、糸調 子を整えられます。コーデュロイや帽子の前面には表 張りを使ってください。
ドレスシャツ (織物)	はがすタイプ 1枚	なし	密度の高いものや、細かいデザインの場合は、裏張り を増やしてください。この場合は、厚い裏張り1枚で はなく、薄い裏張りを2枚使ってください。
ゴルフシャツ	切るタイプ 1枚	任意	細かい模様や小さな文字の多いデザイン、またピケ ニットには表張りを使用してください。
カントンフリー ス	はがすタイプ 1枚	任意	かご織りや、はっきりしたあや織りのような織物には 表張りを使用してください。
キャンバス地	はがすタイプ 1枚	なし	枠をきつく取り付けてください。
コーデュロイ	はがすタイプ 1枚	水に溶ける タイプ 1枚	ぬい目の密度が高いものやぬい目数が多い場合は、表 張り同様に、ぬい目が布の中に沈まないようにしてく ださい。
肌着やシルク	はがすタイプ(軽) 1 枚または2枚	任意	縫製速度を遅くしてください。糸調子をゆるめてください。細かい模様や小さな文字のあるデザインには、 表張りを使用してください。織り目の細かい布には細い糸を使用してください。細かい模様や文字には極端に狭い縦ぬいを避け、ぬい幅を広げるか、さやぬいをしてください。布からやさしく裏張りと表張りを取り除いてください。(無理に引きはがさないでください。)
ニット	切るタイプまたは粘着性の はがすタイプ 1枚	水に溶ける タイプ 1枚	かさばるものや穴の多いニットには裏張りに色の合っ た、織り目の詰まったオーガンジーまたはカーテンの 布を使ってください。
スウェットシャ ツ	切るタイプ(軽)または粘 着性のはがすタイプ 1枚	任意	細かいデザインには切るタイプ(軽)の接着芯を2枚 重ねてください。極端に厚い、また細かいデザインの 付いた布には表張りを使ってください。
Tシャツ	切るタイプ (軽) または粘 着性のはがすタイプ 1枚	任意	細かい模様や小さな文字のあるデザインには、表張り を使用してください。糸調子が弱すぎます。ぬい目の 密度が高いデザインは避けてください。

、 よ願い

●布/接着芯の適合表は、布地と接着芯の多くの組み合わせの中から、最適な組み合わせを選ぶための 目安としてご利用ください。布地と接着芯の組み合わせが不確かである場合は、実際の衣類で本ぬい する前に、ためしぬいをしてください。 7

お手入れ

簡単なミシンのお手入れ方法を説明します。故障の 原因となる場合がありますので、いつも清潔にして おきましょう。

画面の汚れの掃除

液晶画面が汚れた場合は、乾いたやわらかい布地 等で軽くふき取ってください。有機溶剤や洗剤は 使用しないでください。

本体表面の掃除

軽い汚れは、やわらかい乾いた布でふき取ります。 ひどい汚れは、中性洗剤を薄めて布に浸して固く しぼり、ふき取ります。洗剤でふいた後は、乾い た布でふき取ります。



☆ <mark>お願い</mark> ●ベンジン、シンナーなどは絶対に使わない でください。

釜の掃除

釜には糸くずやほこりがたまりやすく、縫製不良 になる場合があります。定期的に掃除をしてくだ さい。

付属のミシンブラシを用意します。





2 釜カバーを開け、ボビンケースを取り出し ます。(P. 35 参照)





]

付属のミシンブラシで、釜周辺の糸くずや ほこりを取り除きます。











付属のミシンブラシで、ボビンケース内側 3 ボビンケースの掃除 の糸くずやほこりを取り除きます。 ボビンケースの調子バネの糸穴の周囲は、糸の ワックスやゴミがたまりやすく、糸調子不良の原 因となります。そのため、ボビンを交換するとき は毎回掃除してください。 名刺と同等の厚さの紙を用意します。 釜カバーを開け、ボビンケースを取り出 し、ボビンを取り出します。(P. 35 参照) 掃除が終わったら、ボビンをボビンケース 4 に入れ、ボビンケースをセットし、釜力 バーを閉めます。(P.40参照) 調子バネの下に紙を差し込み、ゴミをかき 2 出します。 糸穴の周辺は、紙の角でこするようにしてゴミをか き出します。 上糸の糸道の掃除 上糸の糸道の糸案内や糸調子つまみにほこりや糸 くずがたまると、刺しゅう中に糸が切れるおそれ があります。糸道を定期的に掃除してください。 ■糸案内を掃除する 付属の掃除ブラシを使用し、糸案内プレー 1 2 トの下から糸くずやほこりを取り除きま す。 3 上糸案内と中糸案内の両方の糸案内プレートを掃除 してください。 -(1) 調子バネ 2 糸穴 -2 ③ 紙 ① 上糸案内 お願い 1 ① 中糸案内 ●調子バネを曲げないように注意してくださ い。また、厚紙や、定規など紙以外のもの で掃除をしないでください。





(P.91「位置を合わせるコツ」参照)図のように、 針棒のフェルト上に一滴注油してください。



① フェルト

 油をさしすぎないでください。ぬうときに油が布に 垂れる場合があります。



部に注油してください。





このメッセージが表示されたら、ミシンを正規販 売店かお近くの正規サービスセンターに持ち込み、 定期メンテナンスチェックを受けることをお勧め します。 します。 の ミシンを使い続けることができますが、適切なメ ンテナンスが実行されるまで、このメッセージは 繰り返し表示されます。

適切なメンテナンスで、継続して快適にミシンを ご使用いただけるようになります。



トラブルチェック

ミシンが思いどおりに動かないときは、修理を依 頼する前に以下の項目を確認してください。 それでも改善されない場合は、お買い上げの販売 店、または「PR/VR 専用ダイヤル」にご相談ください。

参照ページが「※」のときは、お買い上げの販売 店、または「PR/VR 専用ダイヤル」にご相談くださ い。

こんなとき	_		
原因・対処のしかた	参照		
ミシンが動かない			
電源が入っていない。 電源を入れます。 	P. 40		
ミシンロックが解除されていない。ロック解除キーを押します。	P. 60		
 スタート/ストップスイッチを押していない。 ロック解除状態でスタート/ストップスイッチを 押します。 	P. 60		
刺しゅう枠をセットできない			
取り付ける刺しゅう枠に適した台枠でない。 • 使用する刺しゅう枠用の台枠を取り付ける。	P. 82		
刺しゅう枠の取り付け、取り外しができない			
 刺しゅう枠の取り付け、取り外しが難しい位置で、 キャリッジが止まった。 ・ 針棒 / 枠移動キーを押して、取り付け、取り外しがしやすい位置にキャリッジを移動します。 	P. 83		
針が折れる			
針が正しく取り付けられていない。 針を正しく取り付けます。 	P. 81		
 針の止めネジがゆるんでいる。 	P. 81		
針が曲がっている。 針先がつぶれている。 • 新しい針に交換します。	P. 32 P. 81		



ī	んなとき				
	原因・対処のしかた	参照			
針	が折れる				
	 上糸が正しくかけられていない。 上糸がどこかに引っかかっている。 ・上糸を押えの下から手で引いてスムーズに糸が出るか確認します。スムーズに糸が出ない場合は、 糸が正しくかかっていません。上糸を正しくかけ直します。糸が針棒糸案内にかかっていることを確認します。 	P. 54			
	上糸調子が強すぎる。 • 上糸調子を弱くします。	P. 104			
	このミシン専用のボビンを使用していない。 • このミシン専用のボビンを使用します。	P. 32			
	針と釜の出合が正しくない。 • 釜の調整が狂っています。	*			
	針棒ケースにガタつき(前後・左右)がある。	Ж			
	 刺しゅうデータの糸密度が細かすぎる。 3回以上の重ねぬいをしている。 当社正規データ作成装置(刺しゅう PRO など)で、刺しゅうデータの糸密度や重ねぬい設定を修正します。 	P. 125			
自	動糸切りで糸が切れない				
	 針板まわり(移動刃、固定刃、糸保持板)に糸くず やほこりなどがたまっている。 針板まわりの糸くずやほこりを取り除いてくださ い。 	P. 205			
	 このミシン専用のボビンケースを使用していない。 このミシン専用のボビンケースを使用してください。 	_			
	 回転調子皿に糸くずやほこりがたまっている。 糸調子ダイヤルのつまみを外し、中のフェルトに 付着している糸くずやほこりを取り除いてください。 	P. 207			
自	動糸切り後、上糸が短く切れて針から抜けてしまう				
	針板まわり(移動刃、固定刃、糸保持板)に糸くず やほこりなどがたまっている。 • 針板まわりの糸くずやほこりを取り除いてください。	P. 205			
F	 上糸が切れる				
	針が正しく取り付けられていない。 • 針を正しく取り付けます。	P. 81			
	 針の止めネジがゆるんでいる。 針交換ドライバーを使って止めネジをしっかり締めます。 	P. 81			
	針が曲がっている。 針先がつぶれている。 • 新しい針に交換します。	P. 32 P. 81			



ت	こんなとき		Ę	んなとき		
Γ	原因・対処のしかた	参照		原因・対処のしかた	参照	
Ł			上糸が切れる			
	 釜止めと釜のすき間が正しく調整されていない。 上糸が正しくかけられていない。 ///// 	*		刺しゅうデータの糸密度が細かすぎる。 3回以上の重ねぬいをしている。 ・ 当社正規のデータ作成装置(刺しゅう PRO など) で、刺しゅうデータの糸密度や重ねぬい設定を修 正する。	P. 125	
				 回転調子皿に糸くずやほこりがたまっている。 糸調子ダイヤルのつまみを外し、中のフェルトに 付着している糸くずやほこりを取り除いてください。 	P. 207	
		P. 54	۲	下糸が切れる		
				下糸のセットのしかたがまちがっている。 • 下糸を正しくセットします。	P. 39	
	 上糸を押えの下から引いて、スムーズに糸が出る か点検します。スムーズに糸が出ない場合は、糸 			ボビンに傷があり、回転がなめらかでない。 • ボビンを交換します。	P. 35	
	か正しくがかっていません。工糸を正しくがり直 します。糸が糸案内の正し位置を通っていること を確認します。			ボビンケースに傷がある。 • ボビンケースを交換します。	P. 35	
	上糸が糸道上または糸道中の糸案内を通っていない。 • 糸が正しく糸道上または糸道中の糸案内を通って	P. 55	1	糸がからまっている。からんだ糸を取り除き、釜を掃除します。	P. 204	
	いることを確認します。 <u></u> 糸に結び目やこぶがある。			このミシン専用のボビンを使用していない。 • このミシン専用のボビンを使用してください。	P. 32	
	 その部分を取り除きます。 上糸調子が強すぎる。 上糸調子を弱くします。 	P. 104		 回転調子皿に糸くずやほこりがたまっている。 糸調子ダイヤルのつまみを外し、中のフェルトに 付着している糸くずやほこりを取り除いてください。 	P. 207	
	糸調子が適当でない。 ボビンケースから糸がスムーズに出ていない。	P 103	ぬ	」	1	
	 ・ 正しい下糸調子にします。 ・ ボビッケーフに傷がちる 	1.100		上糸の通し方がまちがっている。 • 上糸を正しく通します。	P. 54	
	▲ 新しいボビンケースと交換します。	P. 35		針が曲がっている。	P. 32	
	 下糸が正しく巻かれていない。 ・ボビンの径に対して 80% の巻き量で、糸が平均に 	P. 36		▲ 新しい針と交換します。	P. 81	
	巻かれているか点検します。正しく巻かれている ボビンと交換するか、糸を巻き直します。			針の取り付け方がまちがっている。 針を正しく取り付けます。 	P. 81	
	このミシン専用のボビンを使用していない。 • このミシン専用のボビンを使用します。	P. 32		針板の下や釜にほこりなどがたまっている。 ・ 針板の下や釜を掃除します。	P. 204 P. 205	
	自動針穴糸通し装置が破損している。	*		針と釜の出合が正しくない。	*	
	針に粘着剤などが付着している。 • 針を交換します。	P. 81		糸のねじれが強すぎる、またはゆるすぎる。 • ねじれが適切でないと、正しいループの形ができ	-	
	 布地の張りが弱い。 たるみのないようにしっかり布地を刺しゅう枠に 張り直します。 	P. 47 P. 87		ません。新しい糸こまを使用します。		
	 糸の品質が悪い。 撚りが甘い糸や古く弱い糸を、品質の良い糸と交換します。 	_				
	刺しゅうデータにゼロステッチが含まれている。 • ゼロステッチを削除します。	P. 187]			
	刺しゅうデータが非常に細かいぬいピッチが連続し て作られている。 • 小ピッチステッチを削除します。	P. 187				

7

こんなとき			
原因・対処のしかた	参照		
刺しゅう模様がくずれる。			
 糸がからまっている。 ・ 釜などにからんだ糸をピンセットなどで取り除ます。 	<i>е</i> –		
 刺しゅう枠に布地がきちんと張られていない。(布の張り方がゆるいなど) 布地の張り方がゆるいと、模様くずれやぬい縮の原因となります。刺しゅう枠に布地を正しくります。 	5地 み 張 P. 47 P. 87		
刺しゅうのサイズに対して大きい刺しゅう枠を使 している。 • 刺しゅうの大きさに合った刺しゅう枠を使用し す。	用 ま P. 82		
 台枠のつまみボルトがゆるんでいる。 ・ 付属の丸型ドライバーで、2本のつまみボルト³ しっかりと締め直してください。 	を P. 29		
 接着芯を貼っていない。 特に伸びる布地、薄い布地、目の粗い布地、ぬ縮みしやすい布地には、必ず刺しゅう用接着芯貼ります。 <帽子枠使用時> やわらかい素材の帽子の場合は固めの芯を使用ます。 	い を P. 86 し		
刺しゅう枠が正しくキャリッジにセットされていい。 ・ 刺しゅう枠を正しくキャリッジにセットします 台枠の左右のアームのピンが、刺しゅう枠の取 部の穴にきちんと入っているか確認します。	な 。 P. 49 付		
キャリッジや刺しゅう枠が周辺に置いてある物に たっている。 • キャリッジや刺しゅう枠が物にぶつかると模様 ずれの原因になります。	当 < -		
 布地が引っかかっている、またははさみ込まれてる。 シシンを止めて布地を正しい位置に直します。 	L1 _		
 刺しゅう枠を取り外している途中でキャリッジがいた。 ぬっている途中で押えに物がぶつかったり、キリッジが動いたりすると模様くずれの原因になます。 ぬっている途中で刺しゅう枠を外したり、セッしたりするときには注意してください。キャリジが動いてしまった場合は、電源を入れ直しまミシンを止めたときの状態をミシンが記憶してり、正しい位置に戻ります。 	動 ヤリ トッす。 お		
 デザインが正しく作成されていない。 伸縮性のある布や毛羽立った布を使用するとき 同様に、デザインを伸ばして補正したり下張り 使用する必要があります。 	と _ を		
セットした刺しゅう枠のサイズを正しく認識しない			
 台枠のつまみボルトがゆるんでいる。 ・ 付属の丸型ドライバーで、2本のつまみボルト³ しっかりと締め直してください。 	を P. 29		
刺しゅう枠の原点位置が横にずれる			
 台枠のつまみボルトがゆるんでいる。 ・ 付属の丸型ドライバーで、2本のつまみボルト³ しっかりと締め直してください。 	を P. 29		

こんなとき			
	原因・対処のしかた	参照	
上糸のぬい目が浮く(ルーピングの発生)			
	上糸調子が弱い。		
		_	
	 押えの穴に上糸を通した後、手で糸を引いて糸調 子を確認します。迷う場合は浮き目が発生してな い他の針棒と比較してみましょう。 		
	糸調子つまみの締め込み量に見合った糸調子になっ ていない		
	 糸調子が出ていない場合は、糸調子つまみの前後 にあるサブテンションの糸調子皿に、糸のワック スやゴミが入って糸調子皿が浮いている場合があ りますので、掃除します。 	P. 206	
	 糸調子皿付近で糸が正しく通されていない。 糸調子皿を掃除してください。 上糸を通し直し、糸を引いてみて糸調子皿が回転 することを確認してください。 	P. 207	
	 糸の品質が悪い。 ほかの糸に替えてぬってみましょう。糸を替えて 問題なければ、糸品質に原因があります。品質の 良い糸と交換します。 	-	
ぬっているときの音が高いガタガタと音がする			
	釜の部分に糸くずが巻きこまれている。 • 釜の掃除をします。	P. 204	
	上糸の通し方がまちがっている。 • 糸を通す順序を調べて通し直します。	P. 54	
	釜に傷がある。 • 釜を交換します。	*	
	注油が不足している。 • 注油します。	P. 208	
自動糸通しができない			
	 針が正しい位置にない。 ・ 針棒移動キーを押して、糸通しをしたい針棒を縫 製位置に移動します。	P. 59	
	このミシン専用の針を使っていない。 • このミシン専用の針と交換します。	P. 32 P. 81	
	針の取り付け方がまちがっている。 • 針を正しく取り付けます。	P. 32 P. 81	
	自動針穴糸通し装置の糸通し用のフックが曲がって いる。	*	
付録

こんなとき

原因・対処のしかた	参照		
糸調子が合わない			
 上糸の通し方がまちがっている。 上糸を通す順序を調べて通し直します。 	P. 54		
下糸セットのしかたがまちがっている。 • 下糸を正しくセットします。	P. 39		
下糸の糸調子が合っていない。 • 下糸の糸調子を調節します。	P. 103		
 回転調子皿に糸くずやほこりがたまっている。 糸調子ダイヤルのつまみを外し、中のフェルトに 付着している糸くずやほこりを取り除いてください。 	P. 207		
刺しゅうを始めたとき、上糸が針から外れる			
 糸切り後に針穴に残る上糸の長さが短い。 設定画面の2ページで、糸切り後に残る上糸の長さを「糸切り長く」に設定します。 	Ē P. 187		
刺しゅうを始めたとき、上糸が下糸に届かない			
 下糸がない、ボビンから下糸が送られない、または 送られた糸が短すぎる。 ・ボビンを正しくセットします。 	t P. 39		
糸が切れていないのに、糸切れエラーになりミシンが	停止する		
 回転調子皿にかかっている糸が外れ、回転調子皿にある糸センサーが糸送りを感知できず、糸切れエラーが起きてミシンが停止した。 ・回転調子皿に正しく糸をかけます。再度糸をかけ直しても糸切れエラーが起きる場合は、センサーが破損している可能性があります。お買い上げの販売店、または「PR/VR専用ダイヤル」にご相談ください。 	- P. 56 - P. 206 淡		
糸が擦り切れる			
 回転調子皿に糸くずやほこりがたまっている。 糸調子ダイヤルのつまみを外し、中のフェルトに 付着している糸くずやほこりを取り除いてください。 	P. 207		
渡り糸が長い			
 回転調子皿に糸くずやほこりがたまっている。 糸調子ダイヤルのつまみを外し、中のフェルトに 付着している糸くずやほこりを取り除いてください。 	P. 207		
布に針による傷か穴がある			
 針がとがってない。 針を交換します。針がとがっていないと布を押し上げ、布に傷がつきます。 	P. 32 P. 81		
 布が弱すぎる。 弱い布は、針が通るだけで破損することがあります。布の表面に接着芯を使用します。 	E P. 203		

۲	んなとき	
	原因・対処のしかた	参照
布	にしわが寄っている	
	 朱調子が強すぎる。 布の種類と使用する糸に応じて、糸調子を調節します。特にポリエステル製の糸は、糸調子を強くすると伸びやすくなります。縫製が終わると、糸が元に戻りぬいしわの原因となります。 	P. 104
	 枠の取り付け方が正しくない。 伸縮性のない織物などは、枠をきつめに取り付けます。取り付け方が弱いと布にこぶができることがあります。やわらかいニット地には、安定した裏張りを使ってしっかりと伸ばし、枠を取り付けます。布を伸ばしすぎると、枠を外したときにしわが入ることがあります。 	P. 202
	 縦ぬいが長すぎる。 全体ぬい、または多数列の縦ぬいでデザインし直します。 	_
	針がとがっていない。 • 針を交換します。針がとがっていないと布を押し 下げ、布に傷がつきます。	P. 32 P. 81
	デザインが細かすぎる。 • 特定部分のぬい目が多くなりすぎると、布にしわ が入ることがあります。5 ~ 10% 程度ぬい目の数 を減らします。	P. 187
液	晶画面が見にくい	
	液晶が明るすぎる、または暗すぎる。 • 画面の明るさを調整をします。	P. 181
厚な	手の布地に刺しゅうするとき、正しく布地を刺しゅう い	枠に張れ
	 布の厚みで、布地が外枠と内枠の間ですべってしまう。 マスキングテープやバイアステープを外枠に巻いてください。テープの摩擦で、布地がすべりにくくなります。 	P. 202
	▲ 注意 ● このミシンには、糸切れ確認装置	が付い

ています。上糸が通されていない状態

で、ミシンロック解除後スタート/ス トップスイッチを押しても、ミシンは正

・ 電源スイッチを切って電源プラグを抜

・ 再度、運転する場合は、運転の手順に 従って正しく行ってください。(P.40

常に作動しません。

いてください。

参照)

● 運転中に停電が発生した場合

215

エラーメッセージ

ミシンが正しく準備できていない状態でスタート/ストップスイッチを押したときや、まちがった操作を したときは、ミシンは停止し、ブザーとエラーメッセージでお知らせします。エラーメッセージが表示さ れたときは、メッセージの内容に従って対処してください。

表示中のメッセージは、 CM を押すか、対処をしてから CM を押すと消えます。エラーメッセージが再度表示される場合は、お買い上げの販売店、または「PR/VR 専用ダイヤル」にご相談ください。





USB通信中	

Linkモードでパソコンからのデータを 呼び出せない ミシンの電源を切り、USB接続を確認 してください。USBコードを確実に接 続して、電源を入れ直します。 (P. 143参照) Linkモードでパソコンと通信できな かった 一旦電源を切り、再度入れてください。

USBに接続している

USBメディア:	エラー	U	

USB メディアエラー

● を押して、もう一度操作してく ださい。または、USBメディアが破損 している可能性があります。



し USBメディアが入っていません。 USBメディアを入れてください。 OK

USB メディアが差し込まれていない 状態で、 🔶 を押した

USB メディアを差し込んでください。



USB メディアがライトプロテクトさ れている状態で、模様を記憶しようと した ライトプロテクトを解除して記憶して ください。 中に、USBメディアを抜いて、また は入れ替えて模様を選んだ 元のUSBメディアを差し込んで模様を 選ぶか、新しいUSBメディアの模様一 覧画面を表示させて模様を選んでくだ さい。

USB メディアの模様一覧画面を表示



USB メディアがライトプロテクトさ れている状態で、模様を消去しようと した ライトプロテクトを解除して消去して ください。



模様が赤い枠の外にある状態で編集しようとした 赤い枠が縫製範囲に収まるように模様 を移動させてください。

安全装置が働きました。 糸がからんでいませんか? 針が曲がっていませんか?	条切りエラー	し 総製画面に進んで、ロック解除キーを押してください。
べ 糸がからむ、針が曲がるなどの異常が 発生した ミシンが異常を検知して止まりました。糸が正しくかかっているか(P.54 参照)、針が曲がっていないかを確認してください。	ox 針板まわり(移動刃、固定刃、糸保持 板)に糸くずやほこりなどがたまって いる 針板まわりの掃除をしてください。 (P. 205参照)	
し ロック解除キーを押してミシンロックを解除して下さい。 のK	余立てアンテナを立てて下さい。 のK	その変更が元に戻ります。 よろしいですか?
ロック解除をせずに糸切りスイッチを 押した を押してから、糸切りして ください。	糸案内支持棒が折りたたまれたままで ある 糸案内を準備してください。 (P. 28参 照)	
上糸または、下糸が切れて キャンセル	り いないか確認して下さい。 り-/+	
上糸が切れたり、糸が糸調子つまみや 糸案内から外れたりして、上糸が正し く通っていない 上糸の通し方を確認して正しくセット し直してください。	下糸が切れた、またはなくなった 下糸があること、ボビンから下糸が約 50mm 出ていることを確認してくださ い。なくなっていれば新しい下糸を セットしてください。 (P. 39参照)	
回転調子皿に糸くずやほこりがたまっている 糸調子ダイヤルのつまみを外し、中の フェルトに付着している糸くずやほこ りを取り除いてください。(P. 206参 照)	糸調子が強い 上糸調子、下糸調子を確認し、調整し てください。 (P. 103参照)	
* その他複数の原因が考えられるため、 上糸が切れる(P. 212参照) 下糸が切れる(P. 213参照) * リー を押すと、ぬい目を戻したり、	トラブルチェック一覧表も参照してくださ 進めたりすることができます。 (P. 97参照	さい (?)







押してください。電源が切られる前の 縫製画面が表示されたら、ぬい目を戻 して刺しゅうを再開してください。 (P. 101参照)



糸が、糸切り糸かけの溝を正しく通っ ていない 糸を溝に正しく通してください。 **針板まわり(移動刃、固定刃、糸保持 板)に糸くずやほこりなどがたまって いる** 針板まわりの掃除をしてください。 (P. 205参照)

ワイパーに糸がからんでいる 糸を取り除いてください。 次の画面が表示されたときは、お買い上げの販売店、または「PR/VR 専用ダイヤル」にご相談ください。



キーを押しても反応しないとき は

画面上のキーを押しても変化がない(入力できな い)場合や、キーがずれている場合は、次の手順 で画面の調整をしてください。





- 次の画面が表示されるまでずっと画面を押し続けて ください。
- スタート/ストップスイッチは点灯しません。
- → 次の画面が表示されます。

画面の四隅と中央に表示されている13の十 2 字ポイントを、付属のタッチペンを使って 1から13の順で軽く押していきます。





● 必ず付属のタッチペンを使用して調整し てください。シャープペンシル、ドライ バーなどの先のとがったものや硬いもの で押さないでください。また、画面に無 理な力をかけないでください。故障の原 因となります。

- 調整が成功すると、画面に「SUCCESS」 3 と表示されます。これを確認して調整は完 了です。
 - ポイントのいずれかが正しく押されずに調整に失敗 すると、最後の13を押したときチャイム音が鳴っ て、画面に「ERROR」と表示されます。もう一度、 画面に表示された数字から順に丁寧にポイントを押 し直してください。

お願い

●調整をしてもキー入力ができない場合、ま たは調整ができない場合は、お買い上げの 販売店、または「PR/VR 専用ダイヤル」に ご相談ください。



調整が終わったら、電源スイッチを入れ直 します。

仕様

本体仕様

項目	仕様
製品質量	38 kg
本体寸法	幅512mm×奥行587mm×高さ762mm
ぬい速度	最大/筒:毎分1000針、帽子:毎分600 針 速度/最大:毎分1000針、最小:毎分 400針
定格電圧/ 消費電力	100V (50/60Hz) /116W
釜型	垂直回転釜
釜寸法	標準サイズ
針	HA130EBBR / #11
針数	6本
糸調子	手動
帽子ぬい	(別売り)ヨコ 130mm×タテ 60mm
筒ぬい	(4種類の刺しゅう枠が使用できます) ヨコ300mm×タテ200mm ヨコ180mm×タテ130mm ヨコ100mm×タテ100mm ヨコ60mm×タテ40mm
糸切り	あり/上糸・下糸
糸センサー	あり/上糸・下糸
自動針穴糸 通し	あり
パソコン 通信	USB ポート
使用可能 メディア	USBメディア/SDカード(SD、SDHC)

ミシンのソフトウェアを アップグレードする

USB メディアを使用して、ミシンにインストールさ れているソフトウェアをアップグレードすること ができます。アップグレード情報については、お近 くの販売店または「PRVR 専用ダイヤル」にお問い 合わせいただくか、ブラザーソリューションセン ター(http://s.brother/cpbac)で今後掲載される情報 を参照してください。

ウェブサイトまたは次の手順に従って、ファイルを ダウンロードしてください。USB を使用して、アッ プグレード/更新ソフトウェア(*********.upf)をダ ウンロードできます。



アップグレード手順



1

自動針穴糸通しスイッチを押しながら、電 源を入れます。



→ 以下の画面が液晶画面に表示されます。





ミシンのUSBポートにUSBメディアを差し 込みます。メディアには、アップグレード ファイル以外のデータが入っていない状態 にしてください。



USB ポート
 USB メディア





- → アップグレードファイルがダウンロードされます。
- お知らせ
 ●エラーが発生すると、赤い文字のエラー メッセージが表示されます。ダウンロード が成功すると、以下のメッセージが表示されます。
 - アップグレードが完了しました。

5 USB メディアを取り外し、ミシンの電源を 一旦切ってから再び入れます。

索引

	数字
6本針ミシン	/9
	•
$\mathbf{A}\mathbf{C} \rightarrow \mathbf{E} \mathbf{C}$	A
AC Y Y J Y	
	D
DST	
DST 設定	
	y —
	, ,
	Р
PES 糸コー	۲ٌ
	0
	S
SD カート	
	т
Τシャツ	203
	U
USB ボート	
バソコン	ノをつなく、
	r つなく
058 入	テイアをフはく
	あ
アッフリケ	アルファベット135
アッフリケン アップリケ権	アルファベット135 莫様193
アッフリケ アップリケ植	アルファベット135 莫様193
アップリケ、アップリケ根	アルファベット135 莫様193 い
アッフリケン アップリケ植 一時停止	アルファベット135 莫様193 い
アッフリケ, アップリケ相 一時停止 糸替え、	Pルファベット135 莫様193 い
アッフリケ、 アップリケ相 一時停止 糸替え . ポーズ(一時的針棒	Pルファベット135 莫様
 アップリケノ アップリケ格 一時停止 糸替え ポーズ位 一時的針棒 糸 	Pルファベット135 莫様
アッフリケ アップリケ相 一時停止 糸替え ポーズ位 一時的針棒 糸 案内	Pルファベット
アッフリケ アップリケ ー時停止 糸替え、 ポーズ位 一時的針棒 糸案内ピン	Pルファベット
アッフリケ アップ 時 時 市 市 市 大付 米 * <	Pルファベット
アップリケ根 一時 一時 小けケ根 一時 小けケ根 一時 小けケ根 一時 小けケ根 小けケ根 小けケ根 小けケ根 小けケ根 小けケ根 小けケ根 小けケ根 小けケ根 小けケー 小けケー	Pルファベット
アア一ー一ト一ト一ト二<	Pルファベット
アア ー ー ー 糸 米 か い 小 の 内 内 内 内 内 内 内 内 内 内 内 内 内	アルファベット
アア 一 一糸糸糸糸移糸糸糸 ッッ 時 案案案動替切切 フプ 停糸ポ的 内内内キえりりり し替 一針 こんてき いえて棒 いとしていた こんてき	Pルファベット
アア ー 一糸糸糸糸移糸糸糸糸 ッツ 時	アルファベット
アア ー 一糸糸糸糸糸移糸糸糸糸 ッツプ 停糸ポ的…内内内キえりりま簡 リクケ 止替ー針ン組ン組 え て に して た で し た で し た の の の の の の に た 、 常 の の の の の に の の の の の の の の の の の の の	Pルファベット
アア ー 一糸糸糸糸移糸糸糸糸糸 グッッ 時 時 案案案動替切切こ リノプ 停糸ポ的 内内内キえりりま簡交けり 止替ー針 どとー表ス設 単換 ケケ こえて棒 しょう	Pルファベット
アア ー 一糸糸糸糸移糸糸糸糸糸 糸 糸 シッツ 時 時 案案案動替切切こ こり 一 一糸糸糸 (1)りま簡交ま つりり 止替 - 針 ピを - 表ス設 単換交 かん こう しょう (1) した (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	アルファベット
アア ー ー糸糸糸糸移糸糸糸糸 糸糸糸 シッツ 時 時 案案案動替切切こ こ印セフプ 停糸ポ的 内内内キえりりま簡交ま リリリ 止替ー針 ピをー表ス設 単換交 サケケ …えズ棒 ン組 マミ 換 マロ	アルファベット
アア ー 一糸糸糸糸移糸糸糸糸 糸糸糸糸 ッッ 時 時 案案案動替切切こ こ印セウフプ 停糸ポ的 内内内キえりりま簡交ま ンムリリ 止替ー針 ピをー表ス設 単換交 サケケ ええ棒 えば棒 えん しょう	アルファベット
アア ー 一糸糸糸糸移糸糸糸糸 糸糸糸糸糸糸 ッッ 時 時 案案案動替切切こ こ印セ立調 フプ 停糸ポ的 内内内キえりりま簡交ま ン台子 リリ 止替ー針 ピをー表ス設 単換交 サ ケケ えて棒 いれん ピをー表ス しょう しんせい	アルファベット
アア ー 一糸糸糸糸移糸糸糸糸 糸糸糸糸糸糸糸糸、糸、糸、、、、、、、、、、、、、、、、	アルファベット
アア ー 一糸糸糸糸移糸糸糸糸 糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸、糸、糸、、、、、、、、、、、、、、	アルファベット
アア ー 一糸糸糸糸移糸糸糸糸 糸糸糸糸糸糸糸糸糸、りつ 時 に 案案案動替切切こ こ印セ立調調通フプ 停糸ポ的 小内内キえりりま簡交ま い台子子しトリリ 止替ー針 ピを一表ス設 単換交 サ つ 糸ケケ ふえズ棒 と 組 示イ定 交 換 ー ま 設った たい	アルファベット
アア ー 一糸糸糸糸移糸糸糸糸 糸糸糸糸糸糸糸糸 いいいちょう いっぽう いっぽう こいせつ 認識 しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん し	アルファベット

糸通しをする 59 糸残り量187 糸残り量の設定179 糸道上糸調子つまみ104 糸道下19 糸道中19 色パレット171、200

う

え	
液晶画面 (タッチパネル)	
エコモード	188
エラーメッセージ	

お

オープニング画面	180
大きさキー	
大きさ (縦)	
大きさ (横)	
お手入れ	

か

68、70
、71、157、175
56
151
53
19、190
204
19
33、66
181
42
66
163
20
203

ð

記憶キー.		137
基本手順.		
キャンバス	、地	

繰り返し模様	(ボーダー模様)	
グループ化 …		153

け

言語	
z	
コーデュロイ	
ゴルフシャツ	
コンピューター	
ポート	77

削除

小ピッチのステッチ	. 187
模様	. 174
削除キー	132
サテンジャケット	. 203
左右反転キー	154

さ

し

仕	上がり	イメー	ジ		 		46
冞	しゆう	操作					60
삐	金平	休居			 		00
 不」	しゅう	应直 幺			 		90 54
 不」	しゅう	×			 		
がり	しゅう	ノー			 		00
٣J	しゅう	ッる	ーカう				00
	小と		反す		 		00
	赤切		区 9 ゆう		 		0011
	小心	の内に	いして ギス		 		09
	メナ	とうな シテー	ーンシー・ コール >	·····	 		00
山	リホ	ノノ データ			 		125
がり	しゅう	ノノ			 		120
٣J	じゆう 浮7 い	候你… 古			 		120
	返し	/J			 		44
山	「「一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	 抗			 		40
٣J	しゆう 新新	1+					01
	旧たり				 		04 40
	取り 左枷	1317月 の進い:			 		49
	加止	い _{派り。} 古	/」		 		47
市山	ットU 1 ゅう	刀 枕主子			 		03
ボリ	しゆう	什衣小	オス		 		47
ボリ	しゆう	を円囲	90		 		101
がリ	しゆう	~~~~~			 		00
ין ד	不 幺た淮	備する			 		32 26
1	不を午 つけめ	三 三 二 1 1			 		107
		い	 1 主		 		107
天白	用別し	ゆう侯	你不可能		 		129
日白	動性の	のいい			 		. 1 14
日白	到亚 /\ 動会	水通し	スインス 壮実	,	 	20	、 57 57
ヨジ	町町 八	ホ迪し	衣旦		 		
シチ	ヤノノ 動幺石	니 _ ` 割付			 		180
ナチ	<u></u> 劉尔巴	· 刮11) :::::::::::::::::::::::::::::::::::			 	 400	110
ナル	判业I俚 ↓ 主	或止			 	122、	180
<u>ار</u>	1冰 レペッッエ	出収令			 	9、 170	224
小 い	Lツナ II カ	时时			 	179,	187
ン	ルク				 		203

す

スウェットシャツ	
スクリーンセーバー	
スタート/ストップスイッチ	
ステッチシミュレーター画面	
スピーカー	
· 古星	180

せ

設置		25
接着芯)1、	203
設定キー		.179
セットキー		67
選択		
刺しゅう模様4	4、	152
前面		19

そ

操作音		.180
操作画面の流れ		42
操作パネル	19、20	、27
掃除する		
糸道		.206
釜		.204
画面		.204
注油		.208
針板まわり		.205
ボビンケース		.206
本体表面		.204
メンテナンスメッセージ		.209
装飾アルファベット		.134

た

台枠	82
取り付け方	29
タオル地	
タジマフォーマット	126、186、200
タッチペンホルダー	20
ためしキー	

5

5	
中心からの距離(縦)	
中心からの距離(横)	
中心表示	
注油する	
調整する	
位置	
糸調子	
角度	
画面	
刺しゅう位置	90
操作パネル	27
縫製速度	
調節する	
脚	

次のページヘキー	
	τ
停止予約キー	74、120、121
適応枠表示	47、68、70
デニム	
電源オフサポートモード	
電源コード	
電源スイッチ	20、40、64
電源プラグ	20
	4

っ

トラブルチェック	190、	210
ドレスシャツ(織物)		.203
な		
内蔵ソフトのアップグレード		.224
長さの単位		.181
IT.		
日時設定	41	42
		、 4 2
ニット		.203

ぬ

ぬい順数	73
ぬい始め/終わり位置設定キー	71、115、116
縫い始めスピード	
ぬい目戻る/進むキー	
ぬい目を戻してぬう	
ぬう	
アップリケぬい	
ベースラインを決めてぬう	
布地	
大きい/小さいとき	
刺しゅう枠から外す	64
注意事項	
布地を張る	
布/接着芯の適合表	

ね

	104
ネーム刺しゅう	
ネームモード	

は

バージョン	181、	224
配色キー	162、	163
背面		20
配列キー69、	133、	158
始めからぬい直す		.100
パソコン		
接続		.125
肌着やシルク		.203
針		32
糸通し		57
交換		81
針数		73
針数再計算モード		.156
針棒		54
針棒/枠移動キー		42
針棒キー	53	、74
針棒ケース		19
針棒をロックする		91
針もとライト	19、	180

ふ

プーリー		20	
付属品		21	
部分表示			
分割模様			

~	
別売品	23
変更する	
糸色表示	
糸こま	

糸密度161
ガイド表示182
言語
刺しゅう位置90
しつけ距離179
長さの単位181
文字間隔158
文字のサイズ161
文字の配列158
文字フォント161
模様の色162
模様の大きさ154、156
編集
組み合わせ175
編集画面45、68、151
編集キー
編集終了キー68

ほ

10			
ボーダー枠			169
帽子			203
縫製エリアの表示色			186
縫製画面		.53、	73
縫製キー			. 71
縫製最高速度			119
縫製最高速度設定キー			. 74
縫製時間			. 73
縫製スキップ設定			112
縫製設定画面	51、7	70、	175
縫製速度			119
ボタンホール模様			129
ボビン			. 32
取り出し方			. 35
ボビンケース	3	35、	206

ま

マウスポインター	
前のページへキー	

み

右側面	
ミシンの使い方キー	
ミシンを使いこなす	

め

綿の敷布

も

文字間キー	158
文字模様	131
文字模様を分割する	159
文字をつなげる	117
戻るキー	66、67、74
モノグラムと枠デザイン	129
模様一覧画面	44、67
模様選択画面	44、66
模様選択キー	152
模様と文字を組み合わせる	175
模様の移動	153
模様の色を変える	162
模様の大きさ	68、70
模様の回転	、157、175
模様の反転	

持持の指制	
侯 惊 () 復 袋	4
USB メティア/ SD カート13	9
バソコン14	0
ミシンのメモリー13	8
模様表示エリア7	0
模様を選ぶ12	26
模様を組み合わせる15	52
模様を保存する	
USB メディア/ SD カード13	37
パソコン13	37
ミシンのメモリー13	6
Ø	
ユーザーパレット171、17	2
()	
リンク (Link 機能) 14	เว
	0
h	
レベル座1	9
連続刺しゅう(1 色)12	22
3	
ロック解除キー	'4
ロック機能	60
わ	
枠模様12	28
渡り糸切り18	6







アフターサービス

修理を依頼するときや部品を購入するときは、お買い上げの販売店、または「PR/VR専用ダイ ヤル」にお問い合わせください。

- ■保証書について
 - ご購入の際、保証書にお買い上げ日、販売店名などが記入してあるかご確認の上、販売店で受け取ってください。保証書の内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。
 - 当社はこのミシンの補修用性能部品を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
 - 修理については、お買い上げの販売店、または下記の「PR/VR専用ダイヤル」にご相談く ださい。

■ PR/VR専用ダイヤル

本製品の使い方やアフターサービスについてご不明の場合は お買い上げの販売店または「PR/VR専用ダイヤル」までお問い合わせください。

〒467-8577 愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15-1

PR/VR専用ダイヤル

Tel:<u>050</u>-3786-3125 050(ゼロゴー ゼロ)で始まる電話番号です。

Fax:052-824-3031

受付時間:月曜日~金曜日 9:00~12:00 13:00~17:30 休業日:土曜日、日曜日、祝日およびブラザー販売株式会社の休日

- ●「PR/VR専用ダイヤル」は、ブラザー販売株式会社が運営しています。
- 機能および操作方法が機種によって異なるため、お問い合わせの際に「機種名」と「機 械番号」をご連絡いただきますと、スムーズにお答えすることができます。
- ミシン背面の定格ハリマーク(銀色シール)の下記部分をご確認ください。



- ブラザー製品についてのご意見、ご要望は、お買い上げの販売店、または上記「PR/VR 専用ダイヤル」にご連絡ください。
- 上記の電話番号、住所および受付時間は、都合により変更する場合がありますので、ご了 承ください。

■ ホームページ

ブラザーのホームページでは、製品に関する様々な情報を掲載しております。 http://www.brother.co.jp/

ブラザーソリューションセンターでは、製品に関するサポート情報を掲載しております。 http://s.brother/cpbac



ブラザー工業株式会社

愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15-1 〒467-8561

884-T20 Printed in Taiwan

